SoftBank X02NK 取扱説明書

9206380
第 1 版

CE0434 ⓘ

適合宣言

NOKIA CORPORATION は、本製品 RM-159 が Directive1999/5/EC に含まれる必須要件その他の規定に準拠することを、本書をもって宣言します。適合宣言書の写しは、http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/ にあります。

Nokia、Nokia Connecting People、Nseries、N95、Visual Radio は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

本書を如何なる形式のものであっても、Nokia からの事前の書面による承諾を得ることなく、その内容の一部および全てを複製、譲渡、配布、保管することを禁じます。

symbian 本機には、Symbian Software Ltd © 1998-2008 よりライセンスされたソフトウェアが含まれています。Symbian および Symbian OS は、Symbian Ltd の商標です。



Java およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許は出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 (c) は Tegic Communications, Inc. が所有しています (1997-2008 年)。

Maps ソフトウェアの著作権の一部は The FreeType Project が所有しています (© 2008 年)。

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用、(ii) ライセンス許可を得たビデオプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。

http://www.mpegla.com を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションやサービスは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

輸出規制

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

FCC / INDUSTRY CANADA の通告

本機は、TV またはラジオに電波障害を引き起こす可能性があります (たとえば電話機を受信機器の近くで使用した場合)。FCC またはカナダ産業省は、そのような電波障害が除去されない場合は、電話機の使用の中止を要求することができます。必要な場合は、地域のサービス機関にお問い合わせください。本機は、FCC 規則の第 15 条に適合しています。操作は、次の 2 つの条件に従って行う必要があります。(1) 本機は、有害な干渉 (妨害) を引き起こしてはならない。(2) 本機は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。Nokia によって明示的に承認されていない変更

9206380
第 1 版

本機用の追加アプリケーションについて

本機のメモリカードと同梱されている DVD-ROM は、Nokia や第三者が開発した追加アプリケーションが格納されています。

非保証の表示

本機と共に提供される第三者製のアプリケーションは、Nokia とは関連のない個人または法人によって作成され、所有されています。Nokia は、これらの第三者製アプリケーションについての著作権や知的所有権を有していません。したがいまして、Nokia はこれらの第三者製アプリケーションのエンドユーザサポートや機能、またはアプリケーションに含まれる情報や素材について責任を負いません。Nokia はこれらアプリケーションに関するいかなる保証も行いません。

ソフトウェアやアプリケーション (総称「ソフトウェア」) は、現状有姿で提供され、適用ある法律によって認められる最大限の範囲で、いかなる明示的および黙示的な保証も行わないものとします。Nokia およびその関連会社は、明示または黙示の如何を問わず、権限や商業性の保証、特定目的への適合性に関する保証、またはソフトウェアが第三者の特許、著作権、商標などの権利を侵害しないことの保証を含めて (ただしこれらに限定されない)、いかなる表明や保証もするものではありません。

Nokia、Nokia Connecting People、Nseries、N95 は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションやサービスは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

操作や機能よっては、SIM カードまたはネットワーク (あるいはその両方)、MMS、またはデバイスの互換性やコンテンツ形式の対応性に依存するものがあります。サービスによっては別に料金が発生するものもあります。

目 次

電話............67

TV コール 75

オプションサービス 78

メール 84

ギャラリー 130

音の設定 198

その他の設定 201

Nokia N95 アプリケーション 213

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載されています。



安全を確認して電源をお入れください
携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。



交通安全を最優先に
ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。



電波干渉
携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。



病院では電源をお切りください
規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。



航空機内では電源をお切りください
規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。



給油時には電源をお切りください
ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは 携帯電話を使用しないでください。



爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください
規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。



正しくご使用ください
製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。



正規サービス
資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。



アクセサリと電池
指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。



水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。



データのバックアップ
本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。



他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。



緊急通報
本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。 を必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。緊急通報の電話番号を入力し、 を押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

本機について

本機は、(E)GSM 850/900/1800/1900 および WCDMA 2100 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されている携帯電話事業者にご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

著作権保護のため、一部の画像や音楽 (着信音を含む)、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、伝送はできないことがあります。

本機は、インターネット接続およびその他の接続方法をサポートしています。コンピュータ同様、本機は、ウイルス、悪質なメッセージやアプリケーション、およびその他の有害コンテンツにさらされる場合があります。メッセージを開いたり、接続要求を受け入れたり、コンテンツをダウンロードしたりするときには注意が必要です。これらの行為は、信頼できるソースからの場合のみ実行してください。本機および接続するすべてのコンピュータに、ウィルス対策ソフトウェアおよびその他のセキュリティソフトウェアをインストールすることを検討してください。



警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

Office アプリケーションに関しては、Microsoft Word、PowerPoint、および Excel (Microsoft Office 2000、XP、および 2003) の一般的な機能をサポートしています。ただし、すべてのファイル形式を参照または変更できるわけではありません。

本機は、高速データ通信など、負荷のかかる操作を行うと、熱を持つ場合があります。ほとんどの場合、この状態は正常です。本機が正常に動作していないと感じられた場合には、最寄りの有資格サービス施設にご相談ください。

本機には、第三者のインターネットサイトのブックマークやリンクが事前にインストールされている場合があります。また、本機からその他の第三者のサイトにアクセスできる場合があります。Nokia はそれらのサイトとは関係がなく、それらのサイトに対して保証したり法的責任を負うことはありません。このようなサイトにアクセスする場合は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、携帯電話事業者のサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されている携帯電話事業者のサービスに加入するなどの手続きが必要になります。ご契約されている携帯電話事業者から、サービスをご利用になる際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。本書では、ネットワークを利用する機能に対して、（ネットワークサービス）と表記しています。

ご契約されている携帯電話事業者が、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能は本機のメニューに表示されません。また本機は、メニュー名、メニューの順序、およびアイコンの変更など、特別な設定が行われている可能性があります。詳細につきましては、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル (HTTP と SSL) に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-mail などの機能には、この

ような技術に対応したネットワークが必要になります。

本書に示されている画像は、本機に表示される画像とは異なる場合があります。

アクセサリ、電池、充電器

電池を取り外す際には、必ず本機の電源を切り、充電器を外した状態で行ってください。

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認してください。本機は、DC-4、AC-4、AC-5 充電器、また、充電器アダプタ CA-44 は、AC-1、ACP-8、ACP-9、ACP-12、LCH-12 充電器に対応しています。

本機に対応している電池は、BL-5F です。



警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

認定アクセサリの在庫状況については、製品取り扱い店まで直接お問い合わせください。アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

本機のデータをプリンタを使用して印刷する場合、印字対応言語や印刷の性能などはプリンタに依存されます。

はじめに

本書の見かた

本書には次のマークが使用されています。

	注意：	本機を操作する上で必要な注意点を記載しています。
	重要：	セキュリティに関する記述です。
	警告：	操作中などに身体に影響を及ぼす可能性が想定される場合、注意事項を記載しています。
	補足：	操作の補足的な説明になります。
	用語：	特殊な用語の説明になります。

キーの表記について

各キーの位置については、「各部の名称」(P.28) を参照してください。

本書ではダイヤルキーを簡略化して表記しています。

実際のキー	本書での表記
例）1 あ ﾛﾛ @	1

ナビゲーションキーの表記は次のようになります。

	操作を決定するときにナビゲーションキーの中央を押します。(決定キー)
	ナビゲーションキーの左を押します。
	ナビゲーションキーの右を押します。
	ナビゲーションキーの上を押します。
	ナビゲーションキーの下を押します。

お買い上げ品の確認

- SoftBank X02NK 本体
- 電池パック BL-5F
- 急速充電器 AC-5U
- SoftBank X02NK 取扱説明書
- SoftBank X02NK らくらくスタートブック
- Nokia N95 Get Started
- microSD カード 2GB(試供品)
- microSD カードアダプタ (試供品)
- マイク付オーディオリモコン＆ステレオイヤホン HS-45/AD-43(試供品)
- ミニ USB 接続ケーブル DKE-2
- ビデオ出力ケーブル CA-75U(試供品)
- Nseries PC Suite 用 DVD-ROM(試供品)
- 保護フィルム (試供品)
- 保証書

別の電話機からデータを転送する

別の電話機からデータを転送するには、次の 2 つの方法があります。

- データ転送アプリケーションを使用します。
  「データ転送」(P.188) を参照してください。
- Nokia Nseries PC Suite の Content Copier を使用して、互換性のある Nokia 電話機からコンテンツをコピーします。Nokia Nseries PC Suite は本機付属の DVD-ROM からインストールしてください。Nokia Content Copier は複数機種の Nokia 電話機に対応しています。

機能制限について

次の状態では、本機のすべての機能がロックされますのでご注意ください。

- 機種変更または解約後、長期間本端末をお使いにならなかった場合
- USIM カードが未挿入の場合
- 不正な USIM カードが挿入された場合
- 長期間、オフラインモードに設定していた場合

ロックを解除するには、有効な USIM カードを挿入して電源を入れ直してください。
USIM カードが挿入されていない状態で電源を入れても、日本国内では緊急電話番号に電話をかけることはできません。

商標について

SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。

TV コール、S！メール、PC サイトダイレクト、S！ GPS ナビ、3G HighSpeed はソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

本書に記載されている「携帯電話事業者」へのお問い合わせについては、「お問い合わせ先一覧」(P.262) を参照してください。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM(ユーシム)カード(以下USIMカード)は電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。有効なUSIMカードが取り付けられていない場合、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続を含む本機の機能はすべてご使用になれません。

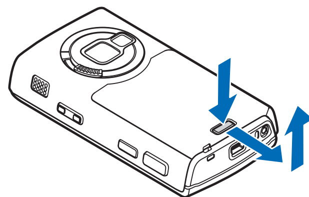
- USIMカードには電話帳を保存できます。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードに使用する機器はソフトバンクの指定品以外のものは使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、データの消失や故障の原因となる場合があります。
- 電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、USIMカードを入れないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがの原因となる場合があります。
- USIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないでください。(USIMカードの取り外し、および挿入時に過剰な力を加えると故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つける可能性がありますのでご注意ください。)
- 他社製品のICカードリーダなどに、USIMカードを挿入し故障した場合、お客様ご自身の責任となりソフトバンクでは責任を負いかねます。
- ご利用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。(USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不必要なIC部分への接触はなるべく避けるようにしてください。)
- USIMカードにラベル等を貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

USIM カードについてのその他のご注意

- USIM カードの所有権は、ソフトバンクに帰属します。
- 紛失、破損などによる USIM カードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIM カードをソフトバンクにご返却ください。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- お客様自身で USIM カードに登録された情報内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、データの消失または変化した場合の損害につきましては、ソフトバンクでは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 国内外問わず USIM カードならびにソフトバンク携帯電話（USIM カード挿入済み）を盗難・紛失した場合は必ず緊急利用停止の手続きをおこなってください。緊急利用停止の手続きは「お問い合わせ先一覧」(P.262) までご連絡ください。
- X02NK の修理、USIM カードの交換や機種変更をした場合、本体やメモリカードに保存してあるコンテンツの一部がご利用できなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- USIM カードを交換するとお気に入りなどの情報が利用できなくなります。

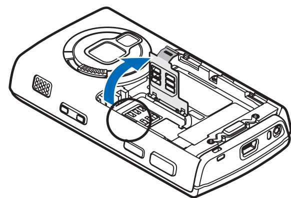
USIM カードと電池を取り付ける

1 本機を裏返して、解除ボタンを押し、バックカバーを矢印の方向へスライドし、カバーを取り外す

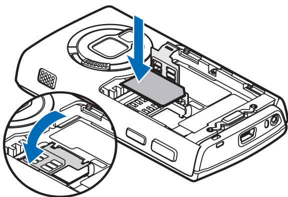


2 USIM カードホルダーを開く

USIM カードホルダーを開くには、ホルダーの取っ手部分を持ち上げます。

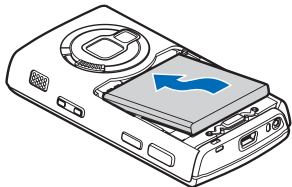


3 USIM カードを挿入し、USIM カードホルダーを閉じる



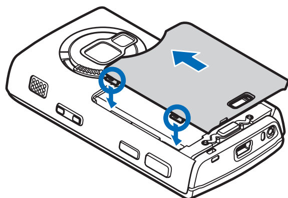
USIM カードの角が欠けた部分が本機の下方向に位置し、USIM カードの接続端子部分が本体の接続端子と向かい合っていることを確認します。

4 電池を挿入



電池の金属部分が、電話機本体の接続端子に接するように矢印の方向に電池を差し込みます。

5 バックカバーを元に戻す



バックカバーのつめの部分を本体に合わせ、矢印の方向にスライドさせ、元に戻します。

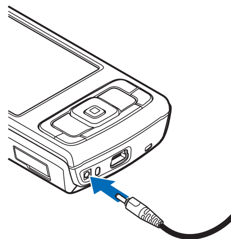
電池パックと充電

電池パックとアクセサリについての情報は、「電池について」(P.254)、「Nokia 純正アクセサリ」(P.265) を参照してください。

■ 電池パックを充電する

1 充電器のプラグをコンセントに差し込む

2 電源コードを本機に接続する



- 画面右上の電池残量表示が点滅を開始します。
- 充電中も本機を使用できます。
- 電池残量がまったく無い状態で充電を開始すると、充電表示が出るまでに数分かかる場合があります。
- 電池の充電が終了すると、電池残量表示の点滅が止まります。

3 充電器を本機から外し、次に充電器のプラグをコンセントから抜く

メモリカード

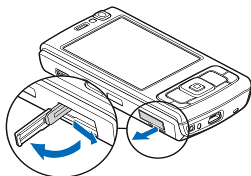
メモリカード (microSD カード) には、電話機本体にあるデータを保存することができます。

メモリカードは製品パッケージに同梱されています。

メモリカードを取り付ける

1 メモリカードスロットのカバーを開く

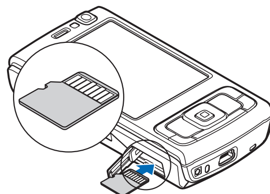
カバーの下側にあるくぼみに爪を入れて、カバーを開けます。本機とカバーをつないでいるゴム製の接続部分を十分引き出して、カバーを開きます。





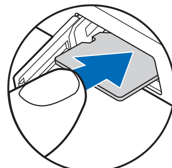
2 スロットにメモリカードを挿入する

右図のように角が欠けた部分を左上に、カードの接続端子部分が上向きになっていることを確認してください。



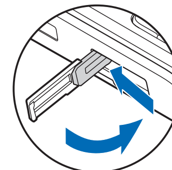
3 カードを押し込む

所定の場所におさまると、カチッと音がします。



4 カバーを閉じる

ゴム製の接続部分を中に押し入れ、カバーを閉じます。カバーが開いていると、メモリカードを使用できません。



メモリカードを取り出す

重要：メモリカードへのアクセスが実行されているときに、メモリカードを取り外さないでください。これらの操作中にカードを取り外すと、本機だけでなくメモリカードにも損傷が生じ、メモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

1 電源キーを短く押し、リストから メモリカード取り外し を選択

- メモリカードを取り外す前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了する必要があります。

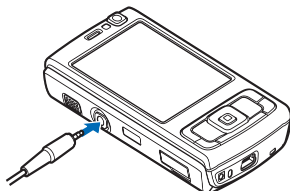
2 **ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞを取り外すと、開いているすべてのｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝが終了します。取り外しますか？ のメッセージが表示されるので、はい を選択**

3 **メモリカードを取り外して「OK」を押してください が表示されるので、カバーを開きメモリカードを押して、スロットから取り出す**

4 **OK を選択**

ヘッドセットを取り付ける

本機対応ヘッドセットやヘッドホンを本機の Nokia AV コネクタ (3.5mm) に接続することができます。ケーブルモードの選択画面が表示される場合があります。



本機には、出力信号を送出する製品を接続しないでください。接続すると破損する可能性があります。Nokia AV コネクタには、いかなる電源も接続しないでください。

Nokia AV コネクタに、本機で使用が認められているもの以外の外部機器やヘッドセットを接続する場合、音量に注意してください。



警告：ヘッドセットを使用すると、周囲の音が聞こえにくくなります。お客様の安全を脅かすおそれがある状況では、ヘッドセットの使用をお控えください。

ヘッドセットやヘッドホンを、Nokia Audio Controller AD-43 などのリモートコントローラユニットと一緒に使用する場合、最初に本機のコネクタとユニットを接続し、次にヘッドセットやヘッドホンとユニットを接続します。

マイクが付いていないヘッドセットで電話をかける場合は、リモートコントロールユニットか、本機のマイクをご使用ください。

ヘッドセットによっては、音楽やビデオを再生する場合の音量調節にのみ音量調節キーを使用することができます。その場合、通話中の音量調節は本機の音量調節キーを使用してください。

各部の名称

■ 本体

本機は上下にスライドする 2 方向スライド形式です。本機の前面部を上方向にスライドさせると画面はポートレートモード（縦長表示）に、下方向にスライドさせるとランドスケープモード（横長表示）になります。

本体 (正面)



1 電源キー [⏻]

長く（約 2 秒）押して、電源の ON/OFF をおこないます。

2 （左・右）ソフトキー [╭ ・ ╮]

画面に表示されるコマンドを選択できます。

3 メニューキー [ ]

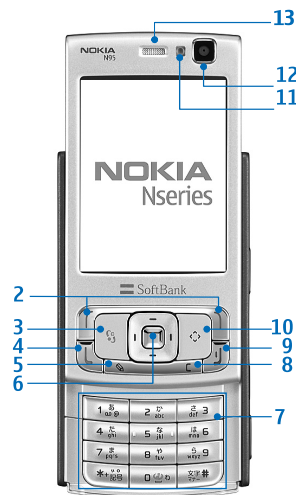
メインメニューを表示します。

4 開始キー [ ]

電話をかけるときや受けるときに使用します。

5 編集キー [✎]

テキストの編集に使用するコマンドリストが表示されます。



6 ナビゲーションキー [、 、 、]

項目の選択やカーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

7 ダイヤルキー

電話番号や数字、文字の入力などに使用します。

8 クリアキー [C]

入力した文字を削除します。また、画像やサウンドなどのファイルを選択しているときに押すと削除できます。

9 終了キー [ ]

通話やアプリケーションを終了するときなどに使用します。長く押すとパケットデータ接続を終了することができます。

10 マルチメディアキー [ ]

マルチメディア アプリケーションへのショートカットです。

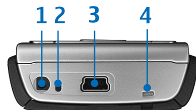
11 光センサー

12 第2カメラ（低解像度）

13 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

本体 (背面 / 側面 / 底面)



1 充電器の外部接続端子

2 マイク (送話口)

3 ミニ USB コネクタ

USB データケーブルを接続します。

4 ストラップホール



5 ステレオスピーカー

ステレオスピーカー (3D サウンド効果)

6 カメラ起動スイッチ (レンズカバー)

カバーを開くとメインカメラが起動します。

7 メインカメラ

高解像度の画像撮影やビデオ録画に使用します。

8 カメラフラッシュ

9 3.5mm AV コネクタ

ヘッドセットやビデオ出力ケーブルを接続します。

10 赤外線ポート

11 メモリカードスロット

本体 (メディアモード)

メディアキーは音楽ファイルやビデオファイルを再生する場合に使用します。

1 メディアキー

▶▶|(早送り)、▶ ||(再生／一時停止)、■ (停止)、|◀◀(巻き戻し)



2 ズーム / 音量調節キー

3 レビューキー [ ]

最後に保存された画像やビデオファイルを確認します。

4 シャッターキー [ ]

メインカメラでオートフォーカスをしたり、静止画やビデオの撮影をしたりするときに使用します。

画面の見かた

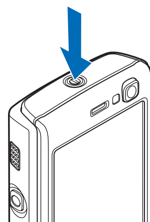
■ アイコン

	GSM ネットワーク使用中
3G	WCDMA ネットワーク使用中
	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり
	受信メールフォルダに未読メールが 1 件以上あり。アイコンが点滅している場合は、受信メールフォルダがいっぱいで、メモリ不足の状態を示します。不要なデータを削除してください。
@	リモートメールボックスに新着 E-mail あり
	未送信メールフォルダに送信待ちメールあり
	不在着信あり
	マナーモード設定中
	キー操作ロック中
	アラーム設定中
	通話着信を別の電話番号へ転送
	ヘッドセット接続中
	テレビ出力ケーブル接続中
	カーキット接続中
D	データ通信使用中

	GPRS パケットデータ接続利用可能
	GPRS パケットデータ接続使用中
	GPRS パケットデータ接続保留中
	EDGE パケットデータ接続利用可能
	EDGE をサポートするネットワークの一部でパケットデータ接続使用中
	EDGE パケットデータ接続保留中
	WCDMA パケットデータ接続利用可能
	WCDMA パケットデータ接続使用中
	WCDMA パケットデータ接続保留中
	無線 LAN を検出し、無線 LAN 利用可能 (「無線 LAN」P.179)
	暗号化されたネットワークで無線 LAN 接続使用中
	暗号化されていないネットワークで無線 LAN 接続使用中
	Bluetooth 接続設定中
	Bluetooth 接続でデータ転送中
	USB 接続使用中
	赤外線通信使用中 アイコンが点滅している場合は、他の機器へ接続中であるか、接続が切断されている状態です。

	アプリケーション起動中 メニュー画面のアプリケーションアイコンの右上に表示されます。

電源 On/Off



1 電源キーを長く(約 2 秒)押す

•有効な USIM カードが挿入されている状態で電源を入れてください。

•PIN コード、またはロックコードの入力を求められた場合、コードを入力し (**** と表示)、 (**OK**) を押します。

- PIN コードは通常、USIM カードと一緒に提供されます。
- お買い上げ時には、ロックコードは「12345」に設定されています。
- 各コードの詳細については、「セキュリティ」(P.174) を参照してください。

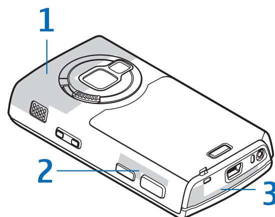
内蔵アンテナ

本機には、内蔵アンテナがあります。

1 セルラーアンテナ

2 Bluetooth / 無線 LAN アンテナ

3 GPS 受信機





注意：他の無線送信機器と同様、本機の電源が入っているときには不用意にアンテナに触れないでください。アンテナに触れると、通話の音質に影響を及ぼしたり、本機が必要以上に高い電力レベルで動作したりする可能性があります。本機の動作時にアンテナ領域に触れないようにすると、アンテナの性能や電池の寿命が最適な状態になります。

ディスプレイについて

正面のディスプレイ用に、透明の保護用プラスチックフィルムが同梱されています。必要に応じてご使用ください。

画面上の少数のドットが表示されなかったり、変色したり、明るく光ったりすることがあります。これは、このタイプのディスプレイに特有のことです。一部のディスプレイでは、ピクセルやドットがオンまたはオフのままになることがありますが、正常なことであり不具合ではありません。

初回設定

はじめて本機の電源を入れたときに、都市、日付 / 時刻を設定する画面になります。



都市を設定する

1 都市の最初の文字を入力検索し、設定する

- 漢字の都市名の場合は、都市名の最初の文字を入力して漢字に変換します。
  例えば、日本 (東京) を検索する場合、最初の文字の「日」を入力して検索します。日本を選択し、次に東京を選択します。
- 都市を選択すると、時計のタイムゾーンも指定されます。(「世界時計」P.196)

日付 / 時刻を設定する

1 現在の日付 / 時刻を入力
(「日付時刻設定」P.194)

キー操作ロック

キー操作ロックを使用すると、キーの誤操作を防ぐことができます。この機能を設定すると、待受画面上部に が表示されます。

キー操作ロックを設定する

1 本機前面部のスライドを閉じた状態で、 を短く押す
リストが表示されます。

2 リストから キー操作ロック を選択
- **キー操作ロックを設定しました** が表示されます。
- 待受画面上部に が表示されます。
- キー操作ロック設定時に画面のバックライトを点灯する場合は、 を押します。

待受画面で を押し、すぐに を押すことで設定することもできます。

本体前面部のスライドを閉じたときや、タイムアウト時間が過ぎた場合に、自動的にキー操作ロックを設定することができます。(「キー操作自動ロック設定」P.33)



注意：キー操作ロックを設定していても、本機にプログラムされた海外の緊急電話番号には発信できることがあります。緊急電話番号を入力して、 を押します。本機では、キー操作ロックが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。設定を解除し、「緊急通報」(P.260) を参照して電話をかけてください。

キー操作ロックを解除する

1 本機前面部のスライドを開くか、または 解除 ( ) を選択し、すぐに OK ( ) を押す
キー操作ロックを解除しました が表示されます。

キー操作自動ロック設定

 > **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

キー操作自動ロックまでの時間を設定する

キー操作ロックを設定するまでの時間を設定することができます。

1 ｷｰ操作自動ﾛｯｸ時間 を選択

2 ユーザ定義 を選択

3 自動的にキー操作ロックを設定するまでの時間を入力

スライドを閉じた場合の自動キーロック設定

本機前面部のスライドを閉じたときに、自動的にキー操作のロックをかけるように設定することができます。

1 ｽﾗｲﾄﾞｸﾛｰｽﾞ時のｷｰﾛｯｸ を選択

2 オン を選択

- スライドを閉じた時に、キー操作ロックを設定するかどうか確認する場合は、**常に確認** を選択します。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないよう気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中では、社内のアナウンスや指示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードでは、次の場合は無音になりません。

- Real Player、ミュージックプレーヤーでのコンテンツ再生音
- 時計のアラーム音
- 通話時のスピーカーからの音声
- ブラウザのプラグインからの音声
- カメラのシャッター音
- ビデオの録音開始・終了音

マナーモード設定

マナーモードを設定 / 解除する

マナーモードにする

1 待受画面で、[#] を約 1 秒以上押す

マナーモード に変更され、画面上部に表示されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード設定中に待受画面で、[#] を約 1 秒以上押す

- **通常モード** に変更されます。
- 他のモードに変更する場合は、(電源キー)を短く押し、リストからモードを選択します。(「使用するモードを変更する」P.198)

マナーモードの設定内容を変更する

1 > ツール > モード > マナーモード > オプション > カスタマイズ の順に選択

2 項目を選択し、設定をする

「着信パターンの設定」(P.199)、「効果音 - キー確認音の設定」(P.200) を参照してください。

■ 電波の送受信を停止する

オフラインモード

有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。オフラインモード を使用すると、ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。オフラインモード を開始するとネットワーク接続が切断され、電波強度インジケータに ✖ が表示されます。本機ですべての RF 無線通信ができなくなります。オフラインモードでメールを送信する場合、メールは未送信メールフォルダに保存され、オフラインモードを解除し、ネットワーク接続が可能になったときに送信されます。



警告：オフラインモード では、特定の緊急電話番号以外に電話をかけたり、ネットワーク接続が必要な機能を使用したりできません。電話をかけるには、モードを変更して電話機能を有効にします。本機がロックされている場合は、ロック解除コードを入力してから、モードを変更して電話をかける必要があります。

オフラインモード に設定しても、無線 LAN を使用することができます。例えば、E-mail を読んだり、インターネットで検索したりすることができます。無線 LAN 接続を確立して使用する場合、適用されるすべての安全要求事項に従ってください。(「無線 LAN」P.179) また、オフラインモード で Bluetooth 接続を使用することもできます。(「Bluetooth を設定する」P.183)

オフラインモードを終了する

1 待受画面で、⏻（電源キー）を短く押す

モードリストが表示されます。

2 リストから オフラインモード 以外のモードを選択

- 通話が可能になります。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号 (ロックコード)」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

■ PIN コードについて

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」という 2 種類の暗証番号があります。

PIN コード

第三者によるソフトバンク携帯電話や USIM カードの無断使用を防ぐための 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

・ お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

- PIN コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.174)
- 「PIN コード要求」を「オン」に設定すると、電源を入れるたびに PIN コードを入力する必要があります。(「PIN コード要求を設定する」P.175)

PIN2 コード

本機の一部の機能を利用する場合に使用する 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PIN2 コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.174)

■ PIN ロック解除コード (PUK)

PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN コードがロックされます。PIN ロックは、「PIN ロック解除コード (PUK)」を入力すると解除できます。

- PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先までご連絡ください。(「お問い合わせ先一覧」P.262)
- PIN ロック解除コード (PUK) の入力を 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされます。USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先までご連絡ください。(「お問い合わせ先一覧」P.262)

■ 操作用暗証番号 (ロックコード)

5 桁の暗証番号で、「12345」が初期設定です。

「通話時間記録を消去」(P.72)、「電話機ロック」(P.175)、「ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定に戻す」(P.177) などの機能を操作するときに使用します。

ロックコードは変更できます。(「操作用暗証番号 (ロックコード) の変更」P.174)

■ 交換機用暗証番号

ご契約時の 4 桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

■ 発着信規制用暗証番号

ご契約時の 4 桁の暗証番号で、発着信規制の設定を行う場合に必要な番号です。

入力を 3 回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先 (「お問い合わせ先一覧」P.262) までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号は変更できます。(「発着信規制暗証番号を変更する」P.83)

アクセスポイントについて

機能	アクセスポイント
インターネット、その他 X02NK 搭載アプリケーション (地図、シェアオンライン、Podcasting、検索、ダウンロード、ビデオセンタ など)	Application Connection BB Mobile Point*1) 新規作成 WLAN アクセスポイント *2)
インターネット (ウェブ利用制限、災害伝言板ご利用の場合)	Browser Connection
メール (MMS)	Mail Connection
E-mail クライアント	Application Connection BB Mobile Point*1) 新規作成 WLAN アクセスポイント *2)
PC でのダイアルアップ接続 *3)	該当なし

- *1) BB Mobile Point をご利用の場合は、ISP との別途契約が必要になります。また、E-mail、その他 X02NK 搭載アプリケーションからご利用になる場合は、いったんインターネット等にてユーザ認証後にご利用ください。
- *2) 新規にアクセスポイントを作成する方法については、「アクセスポイント」(P.206) を参照してください。
- *3) 携帯電話と PC や PDA を接続してインターネットをご利用いただく場合 (モバイルデータ通信) は、「アクセスインターネット」での接続となります。短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。
- 海外渡航先でのご利用については通信料が国内とは異なります。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。
- Application Connection と Browser Connection を同時に使用することはできません。Application Connection でインターネット接続中に Browser Connection を使うアプリケーションを起動するときは(またはその逆の場合は)、最初の接続をいったん切断してください。
- ウェブ利用制限、災害伝言板は Browser Connection のみでご利用になれます。インターネットの接続の初期設定は Application Connection になっています。ウェブ利用制限、災害伝言板ご利用の際は、現在の接続を切断した上で、Browser Connection に切り替えてご利用ください。

緊急通報発信

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

- 緊急電話番号 - 110、118、119

本機で次の設定をしている場合は、緊急電話発信は不可となります。

- 有効な USIM カードが本機に挿入されていない場合
- 電話機ロック - (「本機の操作を禁止する (電話機ロック)」P.175)
- キー操作ロック - (「キー操作ロックを設定する」P.33)
- 発信規制 - (「発着信規制を設定する」P.82)

緊急電話発信をかける場合は、「緊急通報」(P.260) を参照してください。

共通機能 / 操作

機能の呼び出しかた

■ 簡単な操作で機能を呼び出す

- 待受画面のショートカット - よく使う機能をショートカットに登録しておけば、簡単な操作で利用できます。(「カスタム待受画面」P.196)
- **カメラ** - 背面にあるカメラレンズカバーを開くと起動します。
- **留守番電話** (ネットワークサービス) - 待受画面で［1］を長く押すと留守番電話に電話します。(「伝言メッセージを聞く」P.80)
- マルチメディアアプリケーション - ◇を短く押すとマルチメディアメニューが開きます。(「マルチメディアメニュー」P.40)
- **モード** - ⏻を短く押してリストからモードを選択します。
- **通常モード** / **マナーモード** - 待受画面で［#］を長く押すとモードが切り替わります。
- **発信履歴** - 待受画面で ⌊ を押すと最近の発信記録が表示されます。
- ボイスコマンド - 待受画面で ⌉ を長く押します。(「ボイスキー」P.210)
- **インターネット**（ネットワークサービス）- 待受画面で［0］を長く押すと接続します。

■ マルチタスキング機能

本機では、複数のアプリケーションを同時に開くことができますが、電池の消耗が早くなる場合があります。使用していないアプリケーションは次の方法で終了することができます。



1 待受画面、またはアプリケーションを開いた状態で、 を長く押す

- 起動中のアプリケーションが画面左上に表示されます。
- メモリ残量が少なくなると、本機によって一部のアプリケーションが閉じられる場合があります。未保存のデータは、アプリケーションが閉じられる前に保存されますが、すべてのケースにおいて保存されるとは限りません。

2 または を押し、アプリケーションを選択

選択したアプリケーションの画面になります。

- アプリケーションを終了する場合は、C を押します。

便利な使い方

マークをつける

電話帳やギャラリーのファイルなどを複数同時に選択し、削除や送信などの操作をするときに使用します。

1つの項目にマークを付ける

・ 項目を選択して、✎ と ■ を同時に押します。選択した項目の横にチェックマークが表示されます。

複数の項目にマークを付ける

・ ✎ を長く押し、同時に ◎ または ◎ を押します。
選択を終了するには、ナビゲーションキーを押すのをやめて、✎ から指を離します。必要な項目をすべて選択したら、移動したり削除したりできます。

状況によっては、■ を押すと、オプションリストが表示され、その表示で利用できる主要なコマンドが表示されます。

高速ダウンロード

本機の設定で、HSDPA(high-speed downlink packet access、3G ハイスピードとも呼ばれる) のサポートを有効にしたり無効にしたりすることができます。(「パケット接続」P.209)

HSDPA は WCDMA ネットワーク上でのネットワークサービスで、高速でデータのダウンロードをおこなうことができます。本機で > **ツール** > **設定** > **接続** > **パケット接続** > **高速パケットアクセス** で **有効** を選択し、HSDPA をサポートする WCDMA ネットワークに接続した場合、セルラーネットワークを利用してのメールや E-mail、ウェブページなどデータのダウンロードが速くなる場合があります。

データ接続サービスのご利用方法とお申し込みについては、携帯電話事業者にお問い合わせください。

マルチメディアメニュー

マルチメディアキーに各アプリケーションを登録して、ショートカットとして利用することができます。

マルチメディアキーを長く押すと、ミュージックプレーヤーが起動します。(「ミュージックプレーヤー」P.146)

マルチメディアキーの利用方法

ミュージックプレーヤーを起動する

1 を長く押す

マルチメディアメニューを表示する

1 を短く押す

マルチメディアアプリケーションのショートカットが表示されます。



2 ナビゲーションキーを使ってアプリケーションをスクロールする

- ナビゲーションキーを長く押すと、早くスクロールすることができます。

3 を押す

アプリケーションが開きます。

ショートカットを変更する

アプリケーションやブックマーク、**Radio** で登録したラジオステーションへのショートカットを追加 / 削除 / 並べ替えることができます。

> **オプション** > **メニューアイテム**

ショートカットを追加する

1 オプション > 追加 を選択

2 アプリケーション、ブックマーク、または ラジオステーション を選択

3 追加するアプリケーション、ブックマーク、またはラジオステーションを選択し、 > OK を選択

ショートカットを削除する

1 削除するショートカット > オプション > 削除 を選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

ショートカットを並べ替える

1 移動するショートカット > オプション > 移動 を選択

選択したショートカットにマークがつきます。

2 または で移動先を選択、OK を選択

マルチメディアメニューのカスタマイズ

オプション を選択してマルチメディアメニューの設定を変更することができます。

- **背景画像** - 壁紙を設定します。
- **画像効果** - **オン** を選択すると、壁紙の画像がズームやパンされます。

- **メニューサウンド** - サウンドのオン / オフを設定します。
- **起動アニメーション** - マルチメディアメニューを起動した時のアイコンの表示方法を設定します。

ヘルプ

本機にはヘルプ機能があります。アプリケーションからヘルプにアクセスするには、**オプション** > **ヘルプ** を選択します。

例：電話帳の作成方法に関する説明を表示するには、電話帳の作成を開始して、**オプション** > **ヘルプ** を選択します。または、**ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ヘルプ** の順に選択して、**電話帳** に関する説明を表示します。説明を読んでいるときに、**ヘルプ** とバックグラウンドで開いているアプリケーションを切り替えるには を長く押します。

Nokia 製品に関するその他の情報、およびダウンロードサービスについては、「サポート情報」(P.252) をご確認ください。

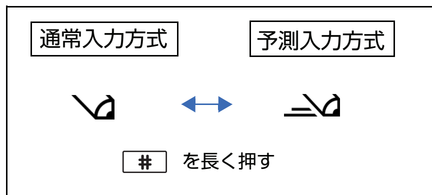
文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)、英数字 (全角 / 半角)、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。文字の入力方式には、「予測入力方式」と「通常入力方式」の 2 種類があります。

■ 文字入力方式

文字の入力方式は、「予測入力方式」と「通常入力方式」の 2 種類から選択します。



予測入力方式

- **日本語予測の場合：**入力された文字に続く語句を予測して候補を表示します。目的の語句が候補に表示されている限り、語句を選択するだけで文字を次々と入力できます。
- **英語予測の場合：**ダイヤルキー (2 ～ 9) を 1 回ずつ押し、表示された候補から目的の単語を選択して入力する方式です。押されたキーから語句を予測するため、少ないキー操作で文字を入力できます。

通常入力方式

- 目的の文字が表示されるまで、文字が割り当てられているキー (1 ～ 9) を繰り返し押す方式です。

文字入力方式を変更する

1 ひらがな / 漢字、または英字モードで、 # を長く押す

- 予測入力方式の場合は と表示
- 通常入力方式の場合は と表示

補足：文字入力画面で を押して、文字入力方式を変更することもできます。

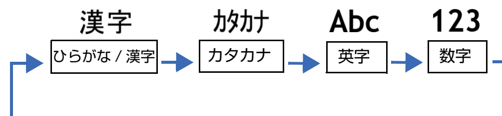
■ 入力言語 / 表示言語について

電話機で使用する言語の設定については、「言語の設定」(P.202) を参照してください。表示言語を英語に設定した場合、デフォルトの文字入力モードは英語になり、日本語に設定した場合は日本語になりますが、ここで設定した言語にかかわらず、文字入力

モードを切り替えることで日本語と英語の入力が可能です。

■ 文字入力モード

文字入力画面で、[#] を連続して短く押すと、入力モードは次のように切り替わります。



英字モードで、約 1 秒待って [#] を短く押すと、英字モードの種類が変わります。

数字は、数字モードに切り替えずに、入力したい番号のキーを長く押すだけで入力できます。

全角 / 半角の切り替えは ✎ を押して、**全角** または **半角**を選択します。

アイコン	文字入力モード
漢字	ひらがな / 漢字モード (全角)
ｶﾀｶﾅ カナ	カタカナモード (半角 / 全角)
Abc 全Ab	英字 文頭大文字モード (半角 / 全角) 文頭の文字だけ大文字で入力され、あとの文字は小文字に変わります。ピリオド [1] > スペース [0] を入力し、引き続き文字を入力する場合は、自動的にこのモードに切り替わります。
abc 全ab	英字 小文字モード (半角 / 全角) 文頭の文字を入力したあと、自動的に小文字モードに切り替わります。
ABC 全AB	英字 大文字モード (半角 / 全角) 文頭大文字モード、または小文字モードで文字を入力した直後 (スペースを空けず) に、[#] を短く 1 回押すと切り替わります。大文字モードから、ピリオド [1] > スペース [0] を入力すると文頭大文字モードに自動的に切り替わります。
123 全12	数字モード (半角 / 全角)

ダイヤルキーの割り当て

キー	ひらがな／漢字モード（全角）	カタカナモード（半角／全角）
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0	わをんー、。！？ 改行、スペース	ﾜｦﾝｰ､｡!? 改行、スペース
*	゛゜（濁点と半濁点）、 小さなひらがな、 記号、絵文字リスト	゛゜（濁点と半濁点）、 小さなカタカナ、 記号、絵文字リスト
#	入力モードの 切り替え	入力モードの 切り替え

キー	英字モード（半角／全角）	数字モード（半角／全角）
1	記号	1
2	ABCabc	2
3	DEFdef	3
4	GHIghi	4
5	JKLjkl	5
6	MNOmno	6
7	PQRSpqrs	7
8	TUVtuv	8
9	WXYZwxyz	9
0	スペース、 改行	0
*	記号、絵文字リスト	記号、絵文字リスト
#	入力モードの 切り替え	入力モードの 切り替え

文字の入力方法

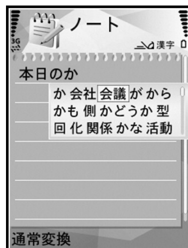
■ 漢字 / ひらがな / カタカナを入力する

予測入力方式で入力する

1 [#] を長く押して を表示

2 ダイヤルキーを押して、文字を入力

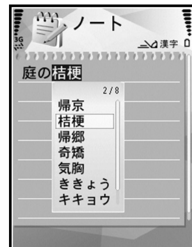
- 予測変換候補リストが表示されます。文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。
- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。



補足：文字確定後に を押して、**日本語予測オン** または **英語予測オン** を選択することもできます。

3 予測変換候補リストから確定したい語句を選択し、[■] を押す

- 入力された内容に基づき、次の語句が予測され、予測変換候補リストが表示されます。変換が確定された語句に引き続いて文字を入力すると、別の予測変換候補リストが表示されます。
- 予測変換候補リストを画面から消去するには、C または**キャンセル** を選択します。
- 確定したい語句が予測変換候補リストにない場合は、**通常変換** を選択してから [◎] を押し、漢字変換候補リストを表示します。リストの右上にあるカウンタは、漢字変換候補の数です。



- 頻繁に使用する語句やユーザ辞書に登録した語句は、予測変換候補リストの上位に表示されます。リストを初期値に戻す場合は、「予測辞書リセット」(P.202) を参照してください。

通常入力方式で入力する

1 [#] を長く押して を表示

2 ダイヤルキーを押して、文字を入力

- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。
- 変換が不要な場合は、[■] を押して、語句を確定します。

3 範囲選択された状態で [◎] を 1 回押し、目的の文字に変換されなかった場合は [◎] をもう 1 回押す

漢字変換候補リストが表示されます。



補足 : 目的の漢字に変換されない場合は、変換する語句の選択範囲を またはで変更します。

4 漢字変換候補リストから確定したい語句を選択し、を押す

- 範囲選択された語句が変換され、範囲選択が解除されます。

カタカナで入力する

1 文字入力画面で を押し、カタカナ を選択

- 文字入力画面で # を連続して短く押して(ひらがな / 漢字モードからカタカナモードにする場合は、1 回短く押す)、変更することもできます。(「文字入力モード」P.44)
- 全角 / 半角を切り替える場合は、 > **全角**(または**半角**)を選択します。

小文字 (っ、ッなど) を入力する

ひらがなやカタカナの「あいうえおつやゆよ」を小文字に変換します。

1 文字入力画面で、文字を入力し、* を押す

- 「つ」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は、* を 1 回押すと小文字、2 回押すと濁点の入力となります。
- 小文字にできない文字は、* を押しても小文字に変換されません。

濁点 (゛)/ 半濁点 (゜) を入力する

1 文字入力画面で、文字を入力し、* を押す

- ひらがな / 漢字モードやカタカナモードの場合、「か行」、「さ行」、「た行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと元に戻ります。また、「は行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと半濁点が付き、3 回押すと元に戻ります。
- 半角カタカナモードの場合、濁点や半濁点は半角 1 文字分で入力されます。 を押して文字を確定した後に C を押すと、濁点または半濁点のみが削除されます。
- 濁点や半濁点を付けられない文字は、* を押しても変換されません。

英数字を入力する

予測入力方式で「nokia」と入力する場合

1 # を長く押して を表示

2 文字入力画面で、6 (n) → 6 (o) → 5 (k) → 4 (i) → 2 (a) を 1 回ずつ押す

- 「nokia」と入力されます。
- 単語の候補は、キー入力ごとに変化します。

abc
0
abc
0n
abc
0nl
abc
0nli
abc
Nokia

3 入力した単語を確定する場合は、を押す

- [0] を押し、スペースを入力して確定することもできます。
- 入力した単語が正しくない場合は、[*] を押して他の候補を表示します。✎ > **英語予測** > **一致した単語** の順に選択し、予測変換候補リストを表示することもできます。

英語予測辞書に単語を登録する

英字モードでの予測入力方式は、内蔵の英語予測辞書に基づいています。辞書に登録されていない単語を予測入力方式で入力した場合、単語の末尾に文字「**?**」が表示されます。
ひらがな / 漢字モードの語句の登録については、ユーザ辞書を使用します。「よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)」(P.50) を参照してください。

1 (単語の末尾に文字「?」が表示された単語が選択されている状態で) スペル入力 を選択

2 登録する単語を入力し、OK を選択

- 32 文字まで入力することができます。
- 英語予測辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、新しい単語で上書きされます。

使用できるオプション

1 文字入力画面で予測変換対象の単語 (下線付き) を選択

2 ✎ > 英語予測 > ◎ の順に選択

次のオプションが選択できます。

一致した単語 - キー入力に応じた単語のリストを表示します。
語句挿入 - 辞書に単語 (32 文字まで) を追加します。
単語の編集 - 通常入力方式で単語を編集します。このオプションは、その単語が有効 (下線付き) の場合に使用できます。

通常入力方式で「nokia」と入力する場合

1 [#] を長く押して ↘ を表示

2 [6] (2 回)(n) → [6] (3 回)(o) → [5] (2 回)(k) → [4] (3 回)(i) → [2] (1 回)(a) を押す

- 「nokia」と入力されます。
- 同じダイヤルキーにある文字を続けて入力する場合は、カーソルが表示されてから (または ◎ を押してから) 次の文字を入力します。
- 全角 / 半角を切り替える場合は、✎ > **全角** (または**半角**) を選択します。予測入力方式がオンとなっている場合は、切り替えることができません。

数字モードで入力する

1 文字入力画面で、✎ > 数字 を選択

- 数字モードに切り替えずに、入力したい番号のキーを長く押すだけで入力することもできます。

- 文字入力画面で # を連続して短く押して、変更することもできます。(「文字入力モード」P.44)
- 全角 / 半角を切り替える場合は、 ✎ > **全角**（または**半角**）を選択します。

記号 / 絵文字 / 顔文字などを入力する

記号を入力する

1 文字入力画面で、 ＊ を 1 回押す

- ✎ > **記号挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから記号を選択し、 ◉ を押して挿入

- 英字モードの通常入力方式では、文字入力中に 1 を連続して押すと、リストにある記号が順番に表示されます。
- 英字モードの予測入力方式では、 1 を押すと、予測された句読点や記号が表示されます。

絵文字を入力する

1 文字入力画面で、 ＊ を 2 回押す

- ✎ > **絵文字挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから絵文字を選択し、 ◉ を押して挿入

顔文字を入力する

1 予測入力方式で「かお」と入力し、通常変換 > ◎ を押す

顔文字のリストが表示されます。

- 通常入力方式の場合は、「かお」と入力し、 ◎ または ◎ を2回以上押します。

2 リストから顔文字を選択し、 ◉ を押して挿入

スペースを入力する

1 文字入力画面で、 ◎ を押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で ◎ を押します。
- 英字モードの場合は、 0 を 1 回押し、スペースを入力することもできます。

改行する

1 文字入力画面で、 ◎ を 1 回押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で ◎ を押します。
- 英字モードの通常入力方式では、 0 を 2 回押し、改行することもできます。

区点コードを利用する

「区点コード一覧表」の 4 桁のコードを使用して、文字、記号、数字を入力できます。区点コード一覧表

は http://www.nokia.co.jp/N95/support からダウンロードすることができます。

1 ✎ > 区点コード挿入 を選択

2 コードを入力し、OK を選択

文字の変換機能

■ よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)

ユーザ辞書とは、特殊な読みかたをする漢字やよく使う語句を登録しておく機能です。
英字モードの新しい単語登録については、(「英語予測辞書に単語を登録する」P.48) を参照してください。

1 ⚙ > アプリ > ﾕｰｻﾞ 辞書 の順に選択

2 オプション > 新規単語登録 を選択

3 単語 に登録する語句を入力

4 読み にひらがなで読みを入力し、完了 を選択

- ユーザ辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザ辞書に登録した読み仮名を入力して変換します。
- 小さなひらがななど、読みの最初の文字として入力できない文字があります。
- 文字入力画面から、✎ > 単語登録 を選択し、単語を登録することもできます。

文字の編集

■ 文字を削除する

1 文字入力画面で、修正する文字の右側にカーソルを移動

2 C を押し、文字を削除

C を長く (1 秒以上) 押すと、カーソルの左側にある文字がすべて削除されます。

■ コピー / 貼り付けをする

範囲選択した文字や絵文字をコピーしてクリップボードに記憶し、その内容を文字の入力画面でカーソル位置に貼り付けることができます。

1 文字入力画面で ✎ を押しながらナビゲーションキーを使用してカーソルを移動させ、コピーする語句を選択

2 ✎ を押したまま、コピー を選択
または、✎ を一回押して コピー を選択

範囲選択された語句がクリップボードに記憶されます。

3 コピーした語句を挿入する位置へカーソルを移動

4 ✎ を押したまま、貼り付け を選択
または、✎ を一回押して 貼り付け を選択

コピーした語句が貼り付けられます。

電話帳

電話帳 では、次の操作ができます。

- 電話番号や住所、E-mail アドレスなどの情報を登録、更新することができます。
- 個人用の着信音や電話帳にサムネイル画像を追加することができます。
- 電話帳グループを作成し、複数の宛先へ SMS や E-mail を同時に送信することができます。
- 受信した連絡先情報（ビジネスカード）を、電話帳に登録することができます。連絡先情報の送受信は、本機と互換性のある機器との間でのみ可能です。

電話帳の登録

> 電話帳

1 オプション > 新規電話帳登録 を選択

2 必要な項目を入力し、完了 を選択

新規電話帳登録で設定できる項目は、次のとおりです。名前 (姓)、フリガナ (姓)、名前 (名)、フリガナ (名)、携帯、電話番号、E-mail、テレビ電話、ポケットベル、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話、Push to talk (本機では PTT 機能は未対応です)、会社、役職、同期

電話帳検索には、登録したフリガナが使用されます。

■ 発信履歴 / 着信履歴の電話番号を登録する

発信履歴 / 着信履歴に記録された電話番号を電話帳に登録できます。

1 > ツール > 通信履歴 > 発着信履歴 > 発着信履歴の電話番号を選択

2 オプション > 電話帳へ登録 を選択

新規登録 または **既存電話帳へ追加** を選択します。

3 情報選択 から登録する電話番号の種類を選択

4 その他必要な項目を入力し、完了 を選択

- ボイスタグが自動的に登録されます。詳細は、「声で電話をかける」(P.67) を参照してください。

■ 電話帳の登録状況を確認する

1 オプション > 電話帳情報 を選択

電話帳やグループ、使用メモリ、空きメモリの確認ができます。

■ 基本番号と基本アドレス

電話帳に、基本電話番号や基本アドレスを登録することができます。これにより、電話帳に複数の電話

番号やアドレスがある場合、基本となる番号やアドレスを指定して電話をかけたり、メールを送信することができます。ボイスダイヤルには、基本電話番号が使用されます。

1 電話帳を選択し、[■] を押す

2 オプション > デフォルト値設定 を選択

3 基本番号や基本アドレスとして登録するタイプを選択し、登録 を選択

4 基本番号や基本アドレスとして登録する番号やアドレス > 選択 > 戻る を選択

登録した番号の項目に下線が表示されます。

電話帳の名前のリスト画面で、基本番号を設定した電話帳の左横にアイコンが表示されます。

グループ設定

[メニュー] > **電話帳** > [■]

■ グループを作成する

1 オプション > 新規グループ を選択

2 グループ名を入力し、OK を選択

■ メンバをグループに追加する

1 グループを選択し、[■] を押す

2 オプション > メンバ追加 を選択

- メンバを一度に複数追加する場合は、[■] を押してマークをつけます。

3 OK を選択

グループがあらかじめ作成してある場合は、電話帳リスト > **オプション** > **グループへ追加** の順に選択します。

■ グループからメンバを削除する

1 グループを選択し、[■] を押す

2 メンバを選択し、オプション > グループから削除 を選択

3 はい を選択

■ グループ名を変更する

1 名前を変更するグループ > オプション > 名前変更 の順に選択

2 新しいグループ名を入力し、OK を選択

■ 所属グループを確認する

[メニュー] > **電話帳**

1 電話帳を選択し、オプション > 所属グループ を選択

電話帳の利用

> 電話帳

電話帳から電話をかける

1 電話をかける相手の電話帳を選択

検索フィールドに名前の最初の文字を入力すると、合致する名前リストが表示されます。

2 ⌊ を押す

ボイスタグを確認する

1 ボイスタグが設定されている番号を選択

2 オプション > ボイスタグ再生 を選択

ボイスタグが再生します。

電話帳（ビジネスカード）を送信する

1 電話帳を選択し、オプション > ビジネスカード送信 を選択

2 送信方法を選択

SMS、MMS、E-mail（設定してある場合）、Bluetooth、赤外線通信 から選択します。



受信する機器により送信方法が限られる場合があります。

電話帳の編集

> 電話帳

電話帳を編集する

編集する電話帳 > オプション > 編集

情報を追加して編集する

1 オプション > 情報追加 を選択

2 追加する項目を選択し、OK を選択

3 情報を入力し、完了 を選択

サムネイル画像を追加する

1 オプション > 画像追加 を選択

2 追加する画像を選択

画像を追加した電話帳の相手から電話がかかってくると、サムネイル画像が表示されます。

着信音を設定する

電話帳に登録されている相手やグループから着信すると、設定された着信音が再生されます。

1 電話帳またはグループを選択

2 オプション > 着信音 を選択

3 着信音リストから着信音を選択

- 設定した着信音を解除する場合は、リストから **デフォルト音** を選択します。
- 電話帳グループに一度着信音を設定し、その後にそのグループへ電話帳を追加した場合、追加された電話帳にはグループの着信音が反映されません。
- ギャラリーに保存されているビデオクリップも着信音として設定することができます。

■ 電話帳を削除する

1 電話帳を選択し、C を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

- 一度に複数の電話帳を削除する場合は、 を押しながら を押し、マークをつけてから C を押します。
- 電話帳を全件削除するには、 > **電話帳** > **オプション** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** > **オプション** > **削除** の順に選択します。

2 はい を選択

■ 電話帳の登録内容をコピーする

本機と USIM カード間で、電話帳をコピーできます。

USIM カードの電話帳を本機にコピーする

1 オプション > SIM 電話帳 > SIM フォルダ の順に選択

2 電話帳を選択し、オプション > 電話帳にコピー を選択

本機の電話帳を USIM カードにコピーする

1 電話帳を選択し、 を押す

2 オプション > SIM ﾌｫﾙﾀﾞにｺﾋﾟｰ を選択

- 電話帳のコピーされる内容は、USIM カードで対応している項目のみとなります。



補足： Nokia Nseries PC Suite を使用して、互換性のある PC との間で同期をとることができます。製品パッケージに同梱されている DVD-ROM を参照してください。

SIM フォルダ

USIM カードに保存されている情報を表示します。

> 電話帳 > オプション > SIM 電話帳

■ USIM カードに保存されている電話帳を表示する

1 SIM フォルダ を選択

SIM フォルダでは、電話番号などの情報の追加や変更、電話帳へコピーすることができます。また、SIM フォルダから直接、電話をかけることもできます。

サービス番号

1 サービス番号 を選択

USIM カードが対応している場合、電話番号案内や技術的なトラブルシューティングなど、ネットワークサービス用の電話番号にアクセスします。USIM カードにサービス番号が含まれていない場合は、この機能を利用できないことがあります。

データ管理

ギャラリーの構成

カメラで撮影した静止画やビデオ、ダウンロードした音楽ファイルや音声クリップ、ストリーミングリンクなどはギャラリーに保存されます。

ギャラリーは、次のフォルダで構成されています。



- **画像とビデオ** ( ) - 静止画ファイルやビデオファイルを保存します。
- **ミュージック** ( ) - **ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｰﾔｰ** が起動します。
- **Lifeblog** ( ) - **Lifeblog** が起動します。
- **ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ** ( ) - 音声クリップを保存します。
- **ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸ** ( ) - 保存したインターネットページの URL を登録します。
- **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ** ( ) - ファイル形式が SVG などのプレゼンテーションファイルを保存します。
- **すべてのﾌｧｲﾙ** ( ) - 電話機やメモリカードに保存されている、すべてのメディアファイルをリストします。

ギャラリーファイルの管理

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 各フォルダ

ミュージック、**Lifeblog** フォルダの編集については、「ミュージックライブラリを利用する」(P.148)、「Nokia Lifeblog」(P.224) を参照してください。

■ ファイルを削除する

1 削除するファイルを選択し、C を押す

- **オプション > 削除 を選択しても削除することができます。**

2 はい を選択

■ ファイルを検索する

1 オプション > 検索 を選択

ファイル名を入力するフィールドが表示されます。

2 検索するファイル名を入力する

画像とビデオフォルダにはこのメニューはありません。

■ 複数のファイルを選択する

ファイルにチェックマークを付けると、一度に複数のファイルを選択することができます。複数のファイルをコピーしたり、移動する場合に利用すると便利です。(「マークをつける」P.40)

■ ファイルをコピー / 移動する

ギャラリーのファイルを、電話機メモリやメモリカードにコピーしたり、移動したりすることができます。

1 コピー / 移動するファイル > オプション > 移動およびコピー の順に選択

電話機メモリにファイルが保存されている場合:

- **ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにｺﾋﾟｰ**、および **メモリカードへ移動** が表示されます。

メモリカードにファイルが保存されている場合:

- **電話機ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ**、および **電話機メモリへ移動** が表示されます。

ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ を設定している場合、**画像とビデオ** フォルダでは **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸにｺﾋﾟｰ**、**ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸに移動** が表示されますが、この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

2 コピー / 移動先を選択 > ◉ を押す

補足 : Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを使用して、互換性のある PC にファイルをコピーしたり、移動したりすることができます。

■ ファイルを並べ替える

フォルダ内のファイルを情報ごとに並べ替えることができます。並べ替えられる情報はフォルダによって異なります。

1 オプション > 並べ替え を選択

画像とビデオ、ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸフォルダには、このメニューはありません。

■ ファイル名を変更する

ファイルによってはファイル名が変更できないことがあります。

1 ファイル名を変更するファイル > オプション > 名前変更 の順に選択

入力画面が表示されます。

2 ファイル名を入力 > ◉ を押す

ファイル名が確定されます。

3 OK を選択

ファイル名が変更されます。

ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸフォルダでは、**オプション** > **編集** から名前の変更をおこないます。

■ 詳細情報を表示する

ファイル名、ファイル形式、サイズなど、ファイルの詳細を表示します。表示される詳細は、ファイルの内容によって異なります。

1 詳細情報を表示するファイル > オプション > 詳細表示 の順に選択

ファイルの詳細情報が表示されます。
- 詳細内容はファイル形式によって異なります。

■ ファイルを送信する

画像ファイルや映像ファイルを MMS や E-mail に添付したり、Bluetooth 接続、赤外線通信を利用して送信することができます。

1 送信するファイル > オプション > 送信 を選択

送信方法の選択画面が表示されます。

2 送信方法を選択 > 選択 を選択

それぞれの送信方法については、「MMS を作成 / 送信する」(P.86)、「Bluetooth 接続」(P.182)、「赤外線通信」(P.186) を参照してください。
E-mail を利用したファイルの送信方法については、「E-mail を作成 / 送信する」(P.87) を参照してください。

ファイルマネージャ

ファイルマネージャを利用して、電話機メモリや、メモリカード（本機に挿入されている場合）に保存されているファイルをフォルダで管理したり、メモリの空き容量を確認し、電話機メモリやメモリカード間でファイルをコピーしたり、移動したりすることができます。

ファイルマネージャは、電話機メモリ表示と、メモリカード表示で構成されています。各メモリには、あらかじめ登録されているフォルダのほかに、保存したファイルのタイプによってフォルダが自動的に作成されます。

アイコン

- - 電話機メモリ
- - メモリカード

1 > ツール > ファイル

2 または を押して、画面上部に表示されるタブを変更し、電話機メモリ表示、またはメモリカード表示を選択

3 フォルダ > > ファイル > を押す

ファイルが開きます。

フォルダ / ファイルの利用と編集

ファイルマネージャのオプションメニューから、画像ファイルを開き、そのファイルを送信したり、壁紙に設定したりすることができます。また、サウンドファイルを着信音に設定することなどができます。各ファイルの操作については、「ギャラリー」(P.130) を参照してください。

■ 新規フォルダを作成する

1 ![] > **ツール** > **ファイル** **を選択**

2 **電話機メモリ、またはメモリカードを選択**

3 **オプション** > **新規フォルダ** **を選択**

4 **フォルダ名を入力し、OK を選択**

- フォルダやファイルを別のフォルダに移動 / コピーするには、移動するフォルダやファイルを選択し、**オプション** > **フォルダへ移動**、または **フォルダへコピー** を選択します。

保存されているファイルの確認

ファイルマネージャから、電話機メモリやメモリカード (本機に挿入されている場合) に保存されているフォルダや、ファイルの情報を確認することができます。ファイルが利用可能であっても、？アイコンで表示される場合があります。ファイル名の拡張子、または **オプション** > **詳細表示** にて確認できます。

> **ツール** > **ファイル**

■ ファイルの詳細情報を確認する

ファイルマネージャの詳細表示を選択すると、ファイルの名前、タイプ、日付、時刻、サイズを確認することができます。

1 **確認するフォルダ** > **を押す**

フォルダが開きます。

2 **情報を確認するファイル** > **オプション** > **詳細表示** **の順に選択**

ファイルの詳細が表示されます。

■ ファイルを受信する

赤外線通信を利用して、ファイルをフォルダに直接受信することができます。

1 **ファイルを受信するフォルダを選択** > **オプション** > **赤外線通信で受信** **を選択**

- 「赤外線通信をご利用になる前に」(P.186) を参照してください。

アプリケーションマネージャ

インストールについて

アプリケーションマネージャを利用して、本機に次の２種類のソフトウェアやアプリケーションをインストールすることができます。本機ではソフトウェアのインストールに制限があります。

- Java™ ベースで作成されている J2ME™ アプリケーション：（拡張子 ; .jad または .jar）PersonalJava アプリケーションは本機にはインストールすることができません。
- Symbian オペレーティングシステムに対応しているソフトウェア：(拡張子 ; .sis または .sisx)
本機用に作成されているソフトウェアのみインストールしてください。

インストールファイルは、互換性のある PC から本機へ転送したり、インターネットからダウンロードしたり、マルチメディアメッセージ、E-mail の添付ファイルとして受信することができます。Bluetooth や赤外線通信を使用して受信することもできます。本機にアプリケーションをインストールするには、Nokia Nseries PC Suite に搭載されている Nokia Application Installer が使用できます。ファイルの転送に Microsoft Windows Explorer を利用する場合には、カードリーダなどを使用して互換性のあるメモリカードへファイルを保存してください。

アイコン

- .sis アプリケーション

- Java アプリケーション

- 完全にインストールされなかったアプリケーション

- メモリカードにインストールされているアプリケーション

アプリケーションをインストールする前に、次の情報を確認してください。

ソフトウェアの種類、バージョン番号、製造元を確認する

1 > アプリ > アプリ の順に選択

2 インストールファイルを選択 > オプション > 詳細表示 を選択

詳細リストが表示されます。

- 既存のソフトウェアに対する修正ファイルや、更新ファイルをインストールする場合、そのソフトウェアのオリジナルインストールファイルや、バックアップファイルがある場合に限り、インストールが可能です。オリジナルのアプリケーションを復元する場合には、アプリケーションを削除し、オリジナルのインストールファイル、あるい

は、バックアップコピーをインストールする必要があります。

- Java アプリケーションをインストールするには .jar ファイルが必要です。.jar ファイルが本機にない場合、ダウンロードを要求されます。アプリケーションに定義されているアクセスポイントがない場合は、新たに選択する必要があります。.jar ファイルのダウンロードでは、サーバアクセス用のユーザ名とパスワードを聞かれる場合があります。その場合は、アプリケーションの製造元やサプライヤーから取得してください。



重要 : 信頼できる提供元からのアプリケーションおよびソフトウェア (例 : Symbian Signed の認証を受けている、あるいは Java Verified™ テストをパスしたアプリケーションなど) のみをインストールし、使用してください。

アプリケーションをインストールする

デジタル署名や証明書のないアプリケーションをインストールする場合は、警告が表示されます。ソフトウェアの内容や供給元の情報が確かな場合に限り、インストールを開始してください。

1 **> アプリ > アプリ の順に選択**
   - インストールが済んでいないアプリケーションは、ファイル名の下に「未インストール」と表示される場合があります。

2 **インストールするファイルを選択 > オプション > インストール を選択**
   確認メッセージが表示されます。
   ソフトウェアによっては、証明書の詳細が表示されます。

3 **OK または はい を選択**
   インストール中には、インストールの進捗情報が表示されます。

その他のインストール方法

- ファイルマネージャから、電話機メモリ、あるいはメモリカード（挿入されている場合）にあるインストールファイルを選択し、 を押してインストールを開始する。
- メール > 受信メール にあるインストールファイルが添付されているメッセージを開き、インストールを開始する。

インストールした後に

表示されるオプションはアプリケーションによって異なります。

インストールしたアプリケーションを開く

1 **> アプリ を選択**

2 **アプリケーションを選択 > を押す**
   アプリケーションが起動します。

インターネットから詳細情報を確認する

インターネットに接続して、インストールしたアプリケーションの情報を取得します。アプリケーションによって表示されない場合があります。

1 > **アプリ** > **アプリ** を選択
2 情報を表示するアプリケーションを選択 > **オプション** > **URL を開く** を選択
   URL の入力画面が表示されます。
3 URL を入力し、 を押す

インストールログを表示する

1 > **アプリ** > **アプリ** の順に選択
2 **オプション** > **ログ表示** を選択

アプリケーションを削除する

1 > **アプリ** > **アプリ** の順に選択
2 削除するアプリケーションを選択 > **オプション** > **削除** を選択
   メッセージが表示されます。
3 **はい** を選択

削除したアプリケーションを再インストールするには、オリジナルのバックアップがある場合に限り可能です。ソフトウェアパッケージを削除すると、そのソフトウェアで作成した文書を開くことができなくなります。



注意：本機の他のソフトウェアが、削除したソフトウェアに依存していた場合、そのソフトウェアが動作しなくなる可能性があります。詳細については、インストールしたソフトウェアパッケージのマニュアルを参照してください。

電話機メモリに保存されたインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar) は、互換性のあるメモリカードにアプリケーションをインストールした後も、電話機メモリに残っています。保存されているインストールファイルに使用されるメモリ容量は多く、新規アプリケーション、ファイル、メールデータを保存するための十分なメモリ容量の確保を妨げる場合があります。Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC にインストールファイルを保存し、その後ファイルマネージャを利用して電話機メモリからインストールファイルを削除することをおすすめします。インストールファイルがメールに添付されている場合は、メールを削除してください。

アプリケーションの設定

1 > **アプリ** > **アプリ** の順に選択
2 **オプション** > **設定** を選択
   次のオプションを設定することができます。
   - **ソフトウェアのインストール** - デジタル署名のない Symbian ソフトウェアをインストールできるようにする

かどうかを設定します。**すべて** または **署名済みのみ** を選択します。

- **オンライン証明書確認** - ソフトウェアをインストールする前に、オンライン証明書を確認するかどうか選択します。
  - **有効な証明書必須** - オンライン証明書に正当性がある場合にのみ、ソフトウェアをインストールします。
  - **オン** - オンライン証明書を確認する場合に選択します。
  - **オフ** - オンライン証明書を確認しません。
- **デフォルト URL** - オンライン証明書を確認するために使用する、デフォルト ウェブアドレスを設定します。アドレスを入力して **OK** を選択します。

Java のセキュリティ設定

インストールした Java アプリケーションのセキュリティ設定を変更することができます。アプリケーション起動時に、ネットワークへのアクセス制限、ユーザデータ編集の許可・不許可などの設定がおこなえます。アプリケーションによって表示されるオプションは異なります。

1 **> アプリ > アプリ の順に選択**

2 **設定を変更するソフトウェアを選択 > オプション > 開く を選択**

必要に応じて設定を変更します。

メモリカードをご利用になる前に

本機では、互換性のあるメモリカードを追加保存領域として利用することができます。本機で撮影した写真や、電話帳のデータなど、様々なファイルを保存することができます。メモリカードは読み取り、書き込みが可能なので、古い情報は削除して、新しい情報を保存することができます。



必ず本機と互換性のある microSD カードをお使いください。Nokia の製品は認定された業界標準に適合していますが、メモリカードのメーカーによっては本機と完全には互換性がない場合もあります。互換性のないメモリカードを使用すると、メモリカードや電話機本体、および互換性のないメモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

メモリカードは、小さなお子様の手の届かない場所へ保管してください。

本書では microSD カードを「メモリカード」と記載しています。



重要 : メモリカードへのアクセスが実行されているときに、メモリカードを取り外さないでください。これらの操作中にカードを取り外すと、本機だけでなくメモリカードにも損傷が生じ、メモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

メモリカードの取り付け、および取り外しに関しては、「メモリカード」(P.26) を参照してください。

メモリカードの利用

> **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **メモリ**

■ メモリカードをフォーマット (初期化) する

· メモリカードをフォーマット（初期化）すると、メモリカードに保存されているデータは完全に削除され、復元することができなくなります。本機に同梱されているメモリカードはフォーマット (初期化）不要です。
· 市販のメモリカードには、事前にフォーマット済みのもの、および使用の前にフォーマットが必要なものがあります。フォーマットの必要性については、メモリカードを使用する前にメモリカードの販売店やメーカーにご確認ください。
· 他の機器でフォーマット (初期化）したメモリカードは、本機では正常に使用できない場合があります。

1 オプション > ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄ を選択

確認メッセージが表示されます。

2 はい を選択

■ メモリカード名を変更する

1 オプション > メモリカード名 を選択

メモリカード名の入力画面が表示されます。

2 メモリカード名を入力し、OK を選択

■ メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用メモリ容量、空きメモリ容量、メモリカードに保存されているデータの種類や、データの種類ごとに使用しているメモリ容量など、詳細を確認することができます。

1 オプション > メモリ詳細 を選択

メモリカード詳細のリストが表示されます。

• 電話機メモリの使用状況を確認するには、「電話機メモリの使用状況を確認する」(P.66) を参照してください。

■ メモリカードにパスワードを設定する

1 オプション > パスワード設定 を選択

パスワードの入力画面が表示されます。

2 パスワードを 新規パスワード および 新規パスワード確認 に入力し、OK を選択

- パスワードの変更 / 削除は、**オプション** > **パスワード変更** または **パスワード削除** を選択します。

メモリ不足を解消する

- 本機は、電話機メモリ、あるいはメモリカードの残量が少なくなると、画面にメッセージを表示します。操作を中断し、表示内容にしたがってください。
- 本機は共有メモリを使用しています。
- 本機メモリを解放するには、互換性のあるメモリカードにデータを移動してください。(「データのバックアップ」P.65)

補足：Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを利用すると、本機内の各種メモリを表示することができます。また、データの転送も可能です。

- 複数のアプリケーションを同時に開いている場合は、使用していないアプリケーションを終了してください。(「マルチタスキング機能」P.39)
- データを削除して空きメモリを確保するには、**ﾌｧｲﾙﾏﾈｰｼﾞｬ** (P. 58) を利用するか、該当するアプリケーションからデータの削除を実行してください。例えば、次のデータを削除することができます。
  - **メール** の **受信メール**、**下書き**、および **送信済みﾒｰﾙ** フォルダ内のメール
  - 電話機メモリに取得したメール
  - 保存したインターネットページ
  - 保存した画像、映像、および音楽ファイル
  - 電話帳の情報
  - カレンダーエントリ
  - ダウンロードしたアプリケーション（「アプリケーションマネージャ」P.60)
  - メモリカードにインストール済みのインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar)：Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC へインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar) のバックアップを実行してから削除してください。
  - 不要になったその他データ

データのバックアップ

電話機メモリに保存されている電話帳などのデータをメモリカードにバックアップし、後で電話機メモリに復元することが可能です。ただし、アプリケーションをバックアップすることはできません。

> **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **メモリ**

■ 電話機メモリからメモリカードにバックアップする

1 オプション > 電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ を選択

確認のメッセージが表示されます。

- 以前にバックアップを作成した場合は、そこに上書きされます。

2 はい を選択

■ メモリカードからバックアップデータを復元する

メモリカードにバックアップを作成すると、**カードから復元** オプションが表示されます。

1 オプション > カードから復元 を選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

復元が終了すると、本機を再起動するようメッセージが表示されます。

3 OK を選択

本機が再起動します。

■ 指定したデータをバックアップする

指定したデータを転送するには、「ファイルをコピー / 移動する」(P.57) を参照してください。

■ 電話機メモリの使用状況を確認する

電話機メモリの使用メモリ容量、空きメモリ容量、電話機メモリに保存されているデータの種類やデータの種類ごとに使用している容量など、詳細を確認することができます。

1 [アイコン] > オプション > メモリ詳細 > 電話機メモリ の順に選択

電話

電話をかける

1 待受画面で、市外局番から電話番号を入力

番号を削除する場合は、C を押します。

2 を押し、電話をかける

3 を押し、通話を終了する

- 他のアプリケーションが開いている場合でも、通話を終了できます。
- スライドを閉じても通話を終了することはできません。

補足：電話帳から通話相手を選択し、電話をかけることもできます。（「電話帳から電話をかける」P.53）

以前かけた番号にもう一度かける（リダイヤル）

1 待受画面で、を押し、発信履歴を開く

2 電話番号を選択し、を押す

3 を押し、通話を終了する

ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルを利用可能に設定する必要があります。 > **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **ワンタッチダイヤル** > **オン** の順に選択し、設定します。

1 > ツール > ユーティリティ > ワンタッチ の順に選択

2 2 - 9 のいずれかを選択し、オプション > 登録 を選択

- 1 は、留守番電話サービスを呼び出すために使用されます。

3 電話帳から通話相手を選択

- 電話番号が複数登録されているときは、使用する電話番号を選択します。

4 を押す

- ワンタッチダイヤルに登録されると、電話帳の使用される電話番号の項目に が表示されます。

5 電話をかけるには、待受画面で登録したダイヤルキーを長く押す

声で電話をかける

登録されたボイスタグを発声し、電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- ボイスタグは、**電話帳** に登録されている名前やニックネームから自動生成され、ボイスタグを発声すると電話番号を呼び出します。
- 本機はメインユーザの発声に順応し、正確にボイスタグを認識する機能を持っています。



注意：ボイスタグは、騒がしい場所での発声や緊急時の使用に適していません。どのような環境や事態においても、ボイスダイヤルの機能だけに依存しないでください。

ボイスタグで電話をかけるときは、内蔵スピーカーが使用されます。電話機を少し離して、ボイスタグを明瞭に発声してください。

1 待受画面で右ソフトキーを長く押す

- 短いビープ音が鳴り、**音声を入力してください** が表示されます。
- 互換性のあるヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットキーを長く押して、声で電話をかける機能を開始することができます。

2 ボイスタグをはっきりと発声する

- 認識されたボイスタグが再生されます。名前と電話番号が表示され、電話がかかります。
- ボイスタグが正しく認識されなかった場合は、メッセージが表示され、元の画面に戻ります。**終了** を選択すると、声で電話をかける機能を中止します。

1 件の電話帳に複数の電話番号が保存されている場合は、基本番号として登録されている番号に、ボイスタグが自動的に登録されます。基本番号が設定されていない場合は、次の優先順位で登録されている番号を使用します。**携帯**、**携帯 (自宅)**、**携帯 (会社)**、**電話番号**、**電話番号 (自宅)**、**電話番号 (会社)**

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、 を押すか、または本機前面部を上にスライドする

着信中に着信音を消す

1 着信中に、消音 を選択

着信中に待受画面上部に音量変更を示す表示がみられますが、この表示は受話音量調節用ですので、着信音の音量変更はできません。ヘッドセットを接続している状態でも、スピーカーから着信音が鳴ります。



補足：本機と互換性のあるイヤホンマイクが接続されている場合は、イヤホンマイクのキーを押すことで、電話に応答したり、終了したりすることができます。

電話にでられないとき

発信者へ SMS を送信する

電話に応答できない場合、発信者へ応答できない理由を知らせる SMS を送信することができます。SMS を使用するとソフトバンク携帯同士でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

1 電話がかかってきたら オプション > SMS 送信 を選択

- SMS 編集画面が表示されます。
- SMS の本文をあらかじめ編集しておくことができます。(「通話拒否時 SMS 送信」P.204)
- **マナーモード** に設定中は、**ﾒｯｾｰｼﾞ 送信** を選択します。

2 オプション > 送信 を選択

着信を拒否する

1 電話がかかってきたら、 を押す

補足：着信を拒否した場合、発信者には通話中音が聞こえます。

拒否した電話を転送する

転送電話サービスの設定 > **通話中** の機能を開始している場合、拒否した電話を転送します。(「転送電話サービス」P.78)

通話中の操作

受話音量を調節する

1 通話中に、音量を大きくするには本機側面にある音量調節キー 、小さくするには を押す

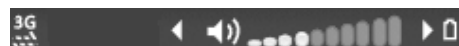
- ナビゲーションキー または を押して調節することもできます。**ミュート** に設定している場合は、**ミュート解除** に設定してから音量を調節してください。
- 着信中に画面上部に表示されるインジケータは、受話音量を調節するものであって、着信音量を調節するものではありません。着信中に着信音を消音にするには、**消音** を選択します。

ハンズフリースピーカーを使用する

ハンズフリースピーカーを使用すると、電話機を持たずに近い距離で (例えば、近くのテーブルに置いて) 話したり聞いたりできます。

1 通話中に、ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ を選択

画面上部に 🔈 が表示されます。



2 通常通話に戻すには、通常通話 を選択

ハンズフリースピーカーがオフとなります。



警告：ハンズフリースピーカーを使用中は、本機を耳元に近づけないでください。音量が非常に大きくなる可能性があります。

通話中に通話を録音する

通話中に通話を録音することができます。(「音声メモ」P.167)

その他通話中にできること

通話中に使用できるオプションの多くは、ネットワークサービスです。表示されるオプションは、状況によって異なります。

通話中 > オプション

- **新規発信** - 通話中に別の相手へ電話をかけます。
- **通常通話に切り替え** / **ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替え**
- **ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替え** - 本機と互換性のある Bluetooth ヘッドセットが接続されている場合に使用できます。
- **保留** / **保留解除** - 通話を保留にすることができます。「割込通話サービス」(P.81) または「多者通話サービス」(P.81) のお申し込みが必要です。
- **ミュート** / **ミュート解除** - 通話相手への送信音声がミュートとなります。多者通話、ハンズフリースピーカーなどをご利用の際に使用すると便利です。
- **キー操作ロック** - 通話中は **キー操作ロック** はご使用になれません。
- **テレビ電話に切り替え** - 通話を終了し、同じ相手にテレビ電話をかけ直します。
- **会議通話** - 複数の相手と通話をおこないます。(「多者通話サービス」P.81)
- **通話切り替え** - 通話中の電話を終了し、かわりにかかってきた電話に応答できます。(「割込通話サービス」P.81)
- **ｶｽﾀﾑ待受画面を開く** - 通話中に待受画面を開くことができます。**カスタム待受画面**（P.201）が **オフ** に設定されている場合は利用できません。
- **MMS 送信** -（WCDMA ネットワークのみ）通話相手へ MMS で静止画やビデオを送信します。 を押して、本機と互換性のある機器に送信します。
- **プッシュ信号送信** - 一連のプッシュ信号（例えば、パスワード）を送信できます。プッシュ信号を入力するか、**電話帳** でプッシュ信号を検索します。待機文字（w）または一時停止文字（p）を入力するには、 * を繰り返し押し、**OK** を選択し

て送信します。電話帳の **電話番号** や **プッシュ信号** 項目にプッシュ信号を保存しておくこともできます。

- **切り替え** - 複数の相手と通話している場合、相手を切り替えることができます。(「多者通話サービス」P.81)、(「割込通話サービス」P.81)
- **転送** - このネットワークサービスには対応しておりません。

補足：通話中に を押すと保留にすることができます。保留を解除するには、もう一度 を押します。

発信履歴 / 着信履歴の確認

■ 発着信履歴を表示する

1 > **ツール** > **通信履歴** > **発着信履歴** の順に選択

- **不在着信履歴**、**着信履歴**、**発信履歴** を確認することができます。
- 不在着信履歴と着信履歴は、本機の電源がオンの状態で、かつネットワーク圏内の場合にのみ記録されます。
- テレビ電話には、ビデオマーク が左側に表示されます。



- 履歴から電話をかけたり、メールの送信、電話番号の抽出、電話帳への登録を行うことができます。

補足：待受画面に不在着信履歴の通知が表示された場合に **表示** を選択すると、不在着信履歴のリストを表示することができます。折り返し電話をかける場合は、名前または電話番号を選択して、 を押します。

■ 発着信履歴を消去する

> **ツール** > **通信履歴** > **発着信履歴**

すべての履歴リストの履歴をすべて消去する

1 **オプション** > **発着信履歴を消去** を選択

いずれかの履歴リストの履歴をすべて消去する

1 消去するリストを開く

2 **オプション** > **履歴消去** を選択

履歴を 1 件ずつ消去する

1 消去するリスト開き、消去する履歴を選択

2 を押す

通話時間の確認

> **ツール** > **通信履歴**

■ 通話時間を表示する

1 通話時間 を選択

前回通話時間、発信履歴、着信履歴、すべての通話が表示されます。通話時間は、累計の通話時間が表示されます。

- **オプション** > **詳細表示** > **通常通話**、または **インターネット電話** を選択して、それぞれの通話時間を表示することもできます。



注意：携帯電話事業者より実際に請求される通話のご利用時間は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算などによって異なる場合があります。

■ 通話時間を消去する

1 オプション > 通話時間記録を消去 を選択

この操作をおこなうには、ロックコードが必要です。(「操作用暗証番号 (ロックコード)」P.36)

パケット接続送受信データ量の確認

> ツール > 通信履歴

■ パケット接続送受信データ量を表示する

1 パケット接続 を選択

パケット定額制をご利用でない場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。海外では、パケットローミング費用が別途かかりますのでご注意ください。

■ パケット接続送受信データ量をリセットする

1 パケット接続 > オプション > カウンタリセット を選択

この操作をおこなうには、ロックコードが必要です。(「操作用暗証番号 (ロックコード)」P.36)

通信履歴

■ すべての通信履歴を表示する

> ツール > 通信履歴

1 を押す

アイコン

- 着信
- 発信
- 不在着信



- 電話、TV コール、SMS、パケットデータ、無線 LAN 接続の履歴を表示します。
- 通信履歴ごとに送信者と受信者の名前、電話番号、アクセスポイントを表示します。
- サブ記録（複数の部分に分割されて送信された SMS やパケットデータなど）も、1 つの通信履歴として記録されます。メールボックス、MMS センター、インターネットのページへの接続は、パケットデータ接続として表示されます。

通信履歴にフィルタをかけて表示する

1 オプション > フィルタ を選択

2 表示する条件を選択

条件ごとにフィルタされた通信履歴が表示されます。

通信履歴 1 件の詳細情報を表示する

1 通信履歴を選択し、■ を押す



補足：通信履歴の詳細情報画面で、電話番号をクリップボードにコピーし、テキストに貼り付けることができます。**オプション** > **電話番号コピー** を選択します。

パケットデータ接続カウンタと接続時間

1 ﾊﾟｹｯﾄ の表示がある通信履歴を選択

2 オプション > 詳細表示 を選択

転送したデータ量（kB 単位）や特定のパケットデータ接続時間を表示します。

すべての通信履歴を消去する

1 オプション > 通信履歴消去 を選択

メッセージが表示されます。

2 はい を選択し、全件を消去する

通信履歴、発着信履歴、配信レポートの内容が完全に消去されます。

通信履歴保存期間を設定する

1 オプション > 設定 > 通信履歴保存期間 の順に選択

通信履歴は、設定した日数の期間中、電話機メモリに保存されます。その期間を過ぎると自動的に消去されます。**通信履歴なし** を選択すると、通信履歴の内容、発着信履歴、配信レポートはすべて削除されます。

自分の電話番号を確認する

1 [menu icon] > **電話帳** > **オプション** > **SIM 電話帳** > **SIM フォルダ** の順に選択

2 **オプション** > **自局電話番号** を選択

国際電話をかける

■ 国内から国際電話をかける

1 **国際電話用のアクセスコードを設定**

(「国際アクセスコード置換」P.204)

2 [＊] **を2度押して、「+」を入力する**

3 **国番号、市外局番、電話番号を入力する**

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

4 [call key] **を押して、電話をかける**

設定したアクセスコードが、番号の先頭に自動的に追加されます。

■ 海外から国際電話をかける

1 **国際電話用のアクセスコードが設定されている場合は、オフ に設定**

(「国際アクセスコード置換」P.204)

2 [＊] **を2度押して、「+」(国際通話アクセスコード) を入力する**

ネットワークモードについては、「ネットワークモード」(P.205) を参照してください。

3 **国番号、市外局番、電話番号を入力する**

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

4 [call key] **を押して、電話をかける**

TV コール

TV コールをご利用になる前に



お客様ご自身と通話相手の映像を見ながら、通話することができます。通話相手には、メインカメラで撮影したお客様の映像が送信されます。テレビ電話では、待受画面上部のカメラをメインカメラと呼称します。

アイコン

・ - テレビ電話着信
・ - お客様が映像送信を拒否している
ライブ映像のかわりに静止画を送信することができます。(「テレビ電話の静止画」P. 204)

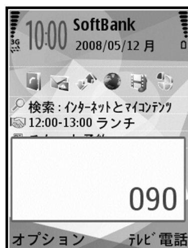
テレビ電話着信中に映像の送信を拒否しても、テレビ電話として課金されます。料金については、携帯電話事業者にお問い合わせください。

TV コール利用時のご注意

・ 本機に USIM カードが正しく挿入され、本機を WCDMA ネットワーク圏内で使用することが必要です。
・ テレビ電話に対応している携帯電話との間でご利用できます。
・ 音声電話、テレビ電話、データ通信を行なっている間は、新たにテレビ電話を開始することはできません。

TV コールをかける

1 待受画面で電話番号を入力 > テレビ電話 を選択



通話相手がテレビ電話に応答すると、画面が表示されます。

- **オプション** > **テレビ電話** を選択することもできます。
- **電話帳** を開き、電話番号を選択することもできます。
- テレビ電話ではデフォルトでメインカメラが使用されますが、本機背面のカメラレンズカバーが開いている場合は、第2カメラが使用されます。
- テレビ電話が開始するまでに時間がかかる場合は、画面に **ビデオ画像を待機中** が表示されます。テレビ電話の利用ができない場合 (例えば、

ネットワークが対応していない場合や、通話相手の携帯電話がテレビ電話に対応していない場合）は、メッセージ表示後に通常通話として通話をおこなうか、SMS または MMS を送信するかどうかなどをリストから選択できます。

- テレビ電話通話中の画面には、お客様と通話相手の 2 つの映像が表示され、ハンズフリースピーカーから音声が聞こえます。
- 通話相手が映像送信を拒否した場合、画面には **ビデオ画像を待機中** と表示されます。

アプリケーションの使用中にテレビ電話に応答し、通話を終了すると、待受画面が表示されます。使用していたアプリケーションに戻るには、「マルチタスキング機能」(P.39) を参照してください。

テレビ電話で通話中は、**割込通話サービス** を利用することができません。



補足： テレビ電話の着信音を設定することができます。「着信パターンの設定」(P.199) を参照してください。

TV コールを受ける

1 電話がかかってきたら、 を押す

ビデオ画像を発信者に送信しますか？ が表示されます。

2 はい を選択

- 映像が通話相手へ送信されます。
- 映像を通話相手に送信しない場合は、**いいえ** を選択します。
- 映像の送信を拒否した場合、画面には通話相手の映像と左上の映像枠に が表示されます。
- 映像を送信せずに、あらかじめ設定しておいた静止画を送信することもできます。(「テレビ電話の静止画」P. 204)

3 を押す

テレビ電話が終了します。

TV コール通話中の操作

映像送信 / オーディオ送信を切り替える

1 オプション > 有効 / 無効 > ビデオ送信、オーディオ送信、ｵｰﾃﾞｨｵとﾋﾞﾃﾞｵ送信 のいずれかを選択

メインカメラ / 第2カメラを切り替える

1 オプション > メインカメラ使用 または 第2カメラ使用 を選択

- 通話相手に、お客様ご自身の映像を送信するには、**メインカメラ使用** を選択します。
- バックカメラの映像を通話相手に送信する場合は、**第2カメラ使用** を選択します。

映像をズームする

1 **オプション > ズームイン または ズームアウト を選択**

ズームインジケータ は、画面上部に表示されます。

- または を押して、ズームインやズームアウトをすることもできます。

送信映像の表示順序を切り替える

自分の映像と通話相手の映像を画面上で切り替えることができます。

1 **オプション > 画像位置切り替え を選択**

通話モードを切り替える

1 **オプション > 通常電話に切り替え、ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替え、ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替え のいずれかを選択（本機と互換性のある Bluetooth イヤホンマイクが接続されている場合に表示。）**

補足：通話中に受話音量を大きくしたり、小さくしたりする場合は、本機側面の音量調節キー または を押します。 または を押して、音量を調節することもできます。

ビデオ設定を変更する

受信した通話相手の映像の画質を変更することができます。

1 **オプション > ビデオ品質設定 > 標準、画質優先、動き優先 のいずれかを選択**

スナップショットを送信する

1 **オプション > ｽﾅｯﾌﾟｼｮｯﾄ送信 を選択**

2 **撮影 を選択**

撮影した画像が画面中央に表示され、通話相手の画面にも、撮影した画像が表示されます。

- **ビデオ使用** を選択すると、通常のテレビ電話に戻ります。

画像を共有する

1 **オプション > 画像共有 を選択**

静止画のリストが表示されます。

2 **共有する静止画を選択し、 を押す**

選択した画像が、本機と通話相手の画面中央に表示されます。

- **共有停止** を選択すると、通常のテレビ電話に戻ります。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ソフトバンクでは、次のオプションサービスを利用することができます。

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- サービスの詳しい内容、お申し込みについては、「サービスガイド 3G」を参照してください。

転送電話サービス

- かかってきた電話を留守番電話や別の電話番号に転送できます。

留守番電話サービス

- 電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。

割込通話サービス

- 通話中の相手を保留にし、別の相手からの電話を受けることができます。相手を切り替えながら通話することもできます。
  別途お申し込みが必要です。

多者通話サービス

- 通話中に別の相手に電話をかけられます。相手を切り替えながら通話したり、最大で 6 人同時に通話したりできます。
  別途お申し込みが必要です。

発着信規制サービス

- 電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。

発信者番号通知サービス

- お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

転送電話サービス



注意：発着信規制と転送電話サービスは同時に使用できません。

 > **ツール** > **設定** > **電話機** > **転送サービス**

転送電話サービスを開始 / 停止する

1 **転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択**

2 **転送条件を選択**

- **すべての電話** / **すべてのデータ通信およびテレビ電話** - 本機の状態に関わらず、すべての着信を転送します。
- **通話中** - 通話中に着信があった場合に転送します。割込通話サービスにご加入の場合は、割込み着信中に拒否を押すと指定の番号へ転送します。
- **応答なし** - 設定した秒数以内に応答できない場合に転送します。
- **電源オフ / 圏外** - 電源オフ時、ネットワーク圏外時に転送します。
- **通話不能** - 通話中、応答なし、電源オフ / 圏外の転送条件をまとめて転送します。



補足：テレビ電話も同様に転送できますが、テレビ電話の転送は、ネットワーク事情によりご使用になれない場合があります。転送電話サービスの設定で **データ通信およびテレビ電話** を選択してください。



注意：FAX 通信の転送は日本国内ではご利用いただけません。

3 オプション > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- 複数の転送条件を同時に開始することもできます。
- **すべての電話** が転送される場合は、待受画面に が表示されます。

4 別の電話番号へ を選択し、電話番号を入力

次の電話番号は転送先として登録できません。

・「1」から始まる電話番号 (例：110、118、119 など)
・「00」から始まる電話番号 (例：001、0041 から始まる国際電話番号など)
・「0120」から始まる電話番号 (フリーダイヤル)
・「0990」から始まる電話番号 (ダイヤル Q2 など)

■ 転送電話サービスをすべて停止する

1 オプション > すべての転送を停止 を選択



補足：転送条件ごとにサービスを停止することもできます。(「転送電話サービス」 P.79 操作 3)

留守番電話サービス

・電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
・転送電話サービスの転送先を留守番電話センター番号に設定する必要があります。



注意：転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。



補足：本機には簡易留守録機能はありません。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **転送サービス**

留守番電話サービスを開始する

1 **転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択**

2 **転送条件を選択**

(「転送電話サービス」P.78 操作 2)

3 **オプション > 開始 を選択**

(「転送電話サービス」P.79 操作 3)

4 **別の電話番号へ を選択し、留守番電話サービスセンターの電話番号「09066517000」を入力**

伝言メッセージを聞く

1 **待受画面で [1] を 1 秒以上押す**

伝言再生用番号 (1416) へ自動的に発信します。

- > **ツール** > **ユーティリティ** > **留守電** > **留守番電話センター** を選択しても、伝言再生用番号へ発信することができます。
- インターネット電話の設定を行うと、**ネット電話留守電センター** が表示される場合があります。この機能を使用するには、ネットワークおよびサービスプロバイダがサポートしている必要があります。(「ネット電話」P.219)

2 伝言再生用番号を入力します。1 度設定をおこなうと次回からこの操作をする必要はありません。

3 **ガイダンスに従って操作する**



補足：待受画面に **新規伝言メッセージがあります** と表示された場合は **再生** を選択します。

留守番電話サービスを停止する

・ 転送電話サービスの設定を停止します。(「転送電話サービスをすべて停止する」P.79)

着信お知らせ機能

この機能は、留守番電話サービスを開始している場合にのみご利用できます。

電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信を、SMS でお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

着信お知らせ機能を設定する

1 **待受画面から 1414 をダイヤル**

2 **音声ガイダンスに従って設定**



補足：
一般電話からの設定：
0906651414 をダイヤルし、音声ガイダンスに従って設定してください。

海外電話からの設定：
+819066514191 をダイヤルし、音声ガイダンスに従って設定してください。

割込通話サービス

TV コール中に割込電話を受けることはできません。



注意： 別途お申し込みが必要です。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **割込通話サービス**

割込通話サービスを開始 / 停止する

1 オプション > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。

割込通話を受ける

通話中に、割込通話を知らせる着信音が聞こえたら、次の操作をおこないます。

1 オプション > 応答 を選択

最初の通話は保留となり、別の相手からの電話を受けます。
次の応答方法を選択することもできます。

- **拒否する**：別の相手からの電話を受けずに、そのまま通話します。
- **通話切り替え**：通話中の相手との電話を切り、別の相手からの電話を受けることができます。

2 切り替え を選択

- 割込通話中に通話相手を切り替えます。

3 を押す

- 通話中の電話を切ります。
- すべての通話を切断する場合は、**オプション** > **すべての通話終了** を選択します。

多者通話サービス

TV コールで多者通話サービスを利用することはできません。



注意： 別途お申し込みが必要です。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に、オプション > 新規発信 を選択し、別の通話相手へ電話をかける

最初の通話は自動的に保留となります。

相手を切り替えながら通話する

1 **切り替え を選択**

切り替え を選択するたびに通話が切り替わります。

複数で同時に通話する

お客様を含め最大 6 名まで、同時に通話をおこなうことができます。

1 **通話中に、オプション > 新規発信 > 別の電話番号入力**

相手先が電話を受けます。

2 **オプション > 会議通話 を選択**

３者で多者通話が開始されます。

- さらに参加者を追加するには、操作 1 の次に、**オプション** > **会議通話** > **参加者追加** を選択してください。

多者通話中に個別に通話をおこなう

1 **オプション > 会議通話 > 個別通話 を選択**

2 **通話相手を選択し、個別通話 を選択**

指定した通話相手と個別通話が開始されます。

- 残りの通話者での多者通話はそのまま継続されます。

3 **多者通話に戻る場合は、オプション > 会議通話 を選択**

多者通話中に個別に通話を終了する

1 **オプション > 会議通話 > 参加者削除 > 通話相手を選択 > 削除 の順に選択**

多者通話を終了する

1 **を押す**

- **オプション** > **すべての通話終了** を選択しても多者通話を終了することができます。

発着信規制サービス

サービスをご利用になる場合は、発着信規制パスワード (発着信規制用暗証番号) が必要になります。発着信規制パスワードとは、ご契約時にお決めいただいた 4 桁の暗証番号です。(「発着信規制用暗証番号」P.36)



注意：発着信規制と転送電話サービスは同時に使用できません。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **発着信規制**

発着信規制を設定する

1 **通常電話発着信規制 > 設定する項目を選択**

- **発信規制** - 海外の緊急電話番号を除くすべての電話をかけられないようにします。
- **すべての国際発信規制** - 滞在国以外への国際電話をかけられないようにします。
- **自国以外への国際発信規制** - 滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
- **着信規制** - すべての電話を受けられないようにします。
- **海外滞在中着信規制** - 日本以外で電話を受けられないようにします。

2 オプション > 開始 を選択

- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。

3 発着信規制パスワードを入力



注意：発着信規制が使用中であっても、本機にプログラムされた海外公認の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、発信規制が設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.260) を参照して電話をかけてください。

■ 発着信規制をすべて停止する

1 通常電話発着信規制 > オプション > 全発着信規制を停止 の順に選択

■ 発着信規制暗証番号を変更する

1 通常電話発着信規制 > オプション > 規制パスワード編集 の順に選択

2 現在のパスワードを入力

3 新規パスワードを入力

4 確認のため、新規パスワードを再度入力

■ ネット電話の発着信規制を設定する

1 インターネット電話発着信規制 > 匿名電話の着信規制 を選択

オン に設定すると匿名電話の着信を受けられないようにします。

発信者番号通知

> ツール > 設定 > 電話機 > 通話 > 発信者番号通知

1 オプション > 変更 を選択

- **オン** を選択すると、通話相手に電話番号を通知します。
- **オフ** を選択すると、電話番号が非通知となります。
- **契約時ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定** を選択すると、携帯電話事業者による設定が有効となります。

メール

メール では、SMS や MMS、E-mail、データを含むメールを作成、送受信、フォルダで整理することができます。 また、Bluetooth 接続や赤外線通信を利用してデータを受信することもできます。Bluetooth 接続や赤外線通信で受信したデータは **メール** の **受信メール** に保存されます。

SMS - ソフトバンク携帯同士でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

MMS - ソフトバンク携帯電話、他社携帯電話やパソコンとの間で、メッセージ、画像、サウンド、ビデオなどの送受信ができます。本機は HTML メールには対応しておりません。

E-mail - 別途インターネットサービスプロバイダなどで契約したメールボックスを使用し、E-mail の送受信ができます。ソフトバンクが提供するメールサービス機能とは異なります。(「リモートメールボックスを利用した E-mail 送受信」P.95)

MMS を送信した際には、受信した側によっては表示が異なる場合があります。

MMS の送受信で、添付ファイル名が全角・半角カナ文字を含む場合、その部分は「 _ 」(アンダーバー) に変換されます。また、添付ファイル名が半角 9 文字以上だった場合、半角 8 文字になって送受信される場合があります。

本書では S! メールを MMS と記載しています。



注意：次の機能は、日本国内ではご利用いただけません。

- データが含まれた特別な SMS の作成
- サービスメッセージや情報メッセージの受信
- サービスコマンドの送信

メールフォルダの種類と役割

メールフォルダには、次のような種類と役割があります。

- **受信メール** ( ) - 受信したメールが保存されます。E-mail は **メールボックス** に保存されます。
- **マイフォルダ** ( ) - フォルダの新規作成、フォルダの名前変更および削除が可能です。



補足：繰り返し使用するメール本文を **定型文** フォルダに保存し、テンプレートとして使用することができます。

- **メールボックス** ( ) - リモートメールボックスに接続して、新着 E-mail を取得することができます。また、以前取得した E-mail をオフラインで表示することができます。(「E-mail クライアント設定」P.96)

- **下書き** ( ) - 送信前の下書きメールが保存されます。
- **送信済みﾒｰﾙ** ( ) - 送信済みメールが最大 20 件まで保存されます。Bluetooth 接続や赤外線通信を使用して送信されたメールは保存されません。メールの保存件数を変更する場合は、「その他の設定」(P.94) を参照してください。
- **未送信メール** ( ) - ネットワーク圏外の場合などに、送信待ちのメールが、一時的に保存されます。
- **配信レポート** ( ) - 携帯電話事業者からの SMS と MMS の配信レポートを受信することができます (ネットワークサービス)。

補足 : いずれかのフォルダを開いた状態で または を押すと、フォルダを切り替えることができます。

メールアドレスの変更

1 **> ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ > オプション > ブックマーク > My SoftBank for X Series の順に選択**

画面の指示に従って操作してください。

メール送信

送信できる MMS のサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。添付したファイルが制限を越える場合、送信可能なサイズに縮小されることがあります。

メールを送信中は、画面右上に が表示されます。送信が完了すると画面から が消えます。**未送信メール** に送信に失敗したメールがある場合、 が待受画面に表示されたままになります。**未送信メール** からメールを削除してください。

 > **メール** > **新規ﾒｰﾙ作成**

SMS を作成 / 送信する

ソフトバンク携帯同士でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

1 メールの種類から、SMS を選択

2 宛先 を選択し、 を押す

- 電話帳が開き、あらかじめ登録されている受信者の名前やグループを選択することができます。または、受信者の電話番号を直接入力することもできます。
- 複数の受信者を入力する場合は、 * を押し、セミコロン (;) で区切ります。
- クリップボードにコピーされた電話番号を、貼り付けて入力することもできます。

3 メール本文を入力

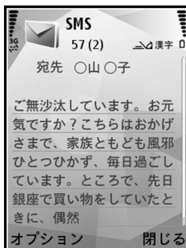
- 定型文を使用するには、**オプション** > **挿入** > **定型文** の順に選択します。

4 オプション > 送信 を選択

⌊ を押して、送信することもできます。



注意：本機は、送信時にメールの文字数制限（全角 70 文字）を超えた場合に対応することができます。長いメールは、2 つ以上のメールに分割して送信されます。その場合、携帯電話事業者は送信メール数に応じて、料金を請求することがあります。アクセント記号やマーク記号、他言語の文字によっては、文字数のカウントが通常より多く必要となります。画面上部に、入力可能なメールの文字数が表示されます。例えば、１０ (2) と表示された場合は、2 つに分割されたメールに対して、あと１０文字追加して送信することができます。



MMS を作成 / 送信する

1 メールの種類から、MMS を選択

2 宛先 を選択し、受信者を入力

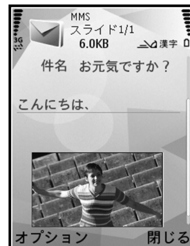
- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**オプション** > **宛先フィールド** を選択します。
- 電話帳から E-mail アドレスを呼び出して入力できます。

3 件名 を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、オプション > ファイル添付 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ の順に選択

ギャラリーのフォルダが表示されます。



6 添付するファイルを選択

- サウンドファイルが追加された場合、 が表示されます。
- MMS に添付するファイルを新規作成するには、**オプション** > **添付ファイル作成** > **画像**、**サウンドクリップ**、**ビデオクリップ** の順に選択します。
- **画像**、**ビデオクリップ** を新規作成する場合は、カメラが起動します。**サウンドクリップ** を新規作成する場合は、**音声メモ** が起動します。
- 作成した MMS をプレビューする場合は、**オプション** > **プレビュー** を選択します。
- スライドを作成する場合は、**スライド** を選択します。
- 複数のファイルを添付した場合、**オプション** > **移動** を選択して、添付ファイルの順序を変更することができます。ファイルの順序は **プレビュー** で確認することができます。

- 本文のテキストを添付したファイルの前後に移動するには、**オプション** > **テキストを前に移動**、または **テキストを後ろに移動** を選択します。
- プレゼンテーションを作成し、MMS に追加する場合には、**オプション** > **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成** を選択します。
- プレゼンテーションは、画像、ビデオ、サウンド、テキストファイルを組み合わせ、MMS として送信することができます。
- **MMS 作成モード** が、**確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** または **制約なし** に設定されている必要があります。(「MMS 設定」P.93)

7 オプション > 送信 を選択

 を押して、送信することもできます。

MMS で、MP4 形式のビデオファイルを送信できない場合があります。送信可能なビデオファイル形式については、「ビデオ設定」(P.127) を参照してください。

■ E-mail を作成 / 送信する

1 メールの種類から、E-mail を選択

E-mail アカウントの設定がされていない場合は、設定を要求するメッセージが表示されます。(「メールボックスに接続する」P.99)

2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**オプション** > **宛先フィールド** を選択します。

3 件名 を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、オプション > 挿入 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ、ノート、その他、または 定型文 の順に選択

- E-mail に添付ファイルが追加されると、画面に が表示されます。

補足 : メールアプリケーションで対応している以外の種類のファイルを添付ファイルとして送信する場合は、そのファイルに対応するアプリケーションを開き、ファイルを選択し、**送信** > **E-mail** を選択します。(機能が対応している場合)

6 オプション > 送信 を選択

 を押して、送信することもできます。

注意 : E-mail は、送信中に自動的に **未送信メール** に保存されます。送信が失敗した場合、ステータスが **順番待ち** の状態で **未送信メール** に保存されたままとなります。何度も送信に失敗した場合は、ステータスは **失敗** になります。

■ 送信時のその他の機能

1 メールを作成

(「SMS を作成 / 送信する」P.85、「MMS を作成 / 送信する」P.86)

2 オプション > 送信オプション を選択

配信レポート受信、**メッセージ有効期間** などを設定します。(「SMS 設定」P.92)、(「MMS 設定」P.93)

■ 下書きフォルダを利用する

下書きフォルダに保存する

1 メールを作成

(「SMS を作成 / 送信する」P.85、「MMS を作成 / 送信する」P.86、「E-mail を作成 / 送信する」P.87)

2 メール作成画面で、閉じる を選択

3 下書きに保存 を選択

作成途中のメールは **下書き**フォルダに保存されます。

下書きフォルダから送信する

1 下書き を選択

2 メールを選択し、◉ を押す

3 宛先を入力、または確認

4 オプション > 送信 を選択

メール受信

■ 新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に **新着メッセージがあります□件** のメッセージと、右上に ✉ が表示されます。

1 表示 を選択し、受信したメールを表示

- メールを複数受信した場合には、**受信メール** から メールを選択し ◉ を押します。



2 戻る を選択

受信メール が表示されます。



補足：メモリの上限まで受信すると、画面右上の ✉ が点滅表示になり、メモリ不足のメッセージが表示され、それ以降の新着メールは受信できません。不要なメールを削除し、再度受信の操作をおこなってください。(「メモリ不足を解消する」P.65)

アイコン

- 未読の SMS

- 未読の MMS

- 赤外線通信で受信したデータ

- Bluetooth 接続で受信したデータ

MMS の受信

1 受信した MMS を開く

- MMS にファイルが添付されている場合、ファイルの種類によって次のアイコンが表示されます。
  - - サウンドファイル
  - - ビデオファイル

  画像ファイルが添付されている場合、その画像が表示されます。サウンドファイルやビデオファイルを再生する場合は、アイコンを選択し、を押します。
- MMS にプレゼンテーションが添付されている場合 が表示されるか、またはプレゼンテーションがメール本文に直接表示されます。プレゼンテーションを再生する場合は、アイコンを選択し、を押します。



- MMS に添付リストが含まれている場合は、**オプション** > **添付リスト** を選択します。



重要： MMS のオブジェクトには、ウィルスが含まれている場合があります。ウィルスが含まれている場合、本機、または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

MMS 通知

MMS 設定で **MMS 受信** を **手動** に設定すると、MMS 通知を受信することができます。(「MMS 設定」P.93)

MMS が MMS センター (マルチメディアメッセージサービスセンター) に届くと、MMS 通知 (メールの一部) がお客様に送信されます。MMS 通知メールには が表示されます。

MMS センターに接続し、MMS センターにあるメールの状態を確認できます。

1 > **メール** > **受信メール** > **オプション** > **MMS 通知リスト** > **はい** の順に選択

2 **オプション** を選択

次のオプションを設定することができます。

開く - MMS 通知を開きます。

受信 - 選択したメッセージの受信、またはサーバにある受信したすべてのメッセージを本機に受信します。

削除 - 通知とそれに該当するメッセージをサーバから削除します。

リスト更新 - 本機の MMS 通知リストが、サーバにあるマルチメディアメッセージの現在の状態に更新されます。

サーバ詳細 - 通知リストが最後に更新された日付と、サーバにあるマルチメディアメッセージのメモリ使用量が確認できます。

並べ替え - 通知を受信日、送信者、または件名などで並べ替えることができます。

表示されるオプションは変わることがあります。

メールの利用

> **メール**

フォルダ管理

送受信したメールを作成したフォルダに移動して管理することができます。

フォルダを作成する

1 **マイフォルダ > オプション > 新規フォルダ の順に選択**

2 **フォルダ名を入力し、OK を押す**

メールをフォルダに移動する

1 **フォルダからメールを選択し、 を押す**

2 **オプション > フォルダへ移動 を選択**

3 **フォルダを選択し、 を押す**

メールを返信する

1 **フォルダからメールを選択し、 を押す**

2 **オプション > 返信 を選択**

3 **返信メールの本文を作成**

4 **オプション > 送信 を選択**

メールを転送する

1 **フォルダからメールを選択し、 を押す**

2 **オプション > 転送 を選択**

3 **転送先を入力**

4 **転送メールの本文を作成**

5 **オプション > 送信 を選択**

送信者に電話をかける

電話番号を使用して受信したメールの場合、受信したメールから送信者に電話をかけることができます。

1 **受信したメールを選択**

2 **オプション > 電話をかける を選択**

メールを削除する

1 メールを選択し、オプション > 削除 を選択

- C を押して削除することもできます。
- 複数のメールを一度に削除する場合は、✎ を押しながら◉を押し、マークをつけてから削除します。
- フォルダ内のメールをすべて削除する場合は、**オプション** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** の順に選択してから削除します。
- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** から E-mail を削除する場合は、「E-mail を削除する」(P.100) を参照してください。

メール内の電話番号 /E-mail アドレス / URL を利用する

メールに電話番号や E-mail アドレス、URL が含まれている場合、その画面から電話をかけたり、メールを送信したり、ウェブに接続することができます。利用できる電話番号、E-mail アドレス、URL はハイライト表示されます。

電話帳に登録する

1 メールを選択し、◉ を押す

2 登録したい項目を選択し、オプション > 電話帳へ登録 を選択

3 新規登録 または 既存電話帳へ追加 を選択

新規電話帳登録画面、または電話帳リストが表示されます。(「電話帳の登録」P.51)

電話をかける

1 メールを選択し、◉ を押す

2 電話番号を選択し、◉ を押す

- 「電話をかける」P.67、「TV コールをかける」P.75

メールを送信する

1 メールを選択し、◉ を押す

2 電話番号、またはアドレスを選択し、◉ を押す

- **返信**、**転送**、または **新規メール作成** を選択することができます。

ウェブ接続をおこなう

1 メールを選択し、◉ を押す

2 URL を選択し、◉ を押す

- 「インターネットにアクセスする」P.102

添付ファイルを保存する

1 メールを選択し、◉ を押す

2 オプション > 添付リスト を選択

E-mail の場合は、**添付ファイル** を選択します。

3 オプション > 保存 を選択

保存するファイルの種類に応じて、適切なアプリケーションに保存されます。

• 壁紙に設定する場合は、**オプション** > **添付リスト** > 画像ファイルを開く > **オプション** > **画像使用** > **壁紙に設定** の順に選択します。

その他の機能



注意：SMS のメッセージセンター、MMS のアクセスポイント（Mail Connection）はデフォルトのままご使用ください。

SMS 設定

> **メール** > **オプション** > **設定** > **SMS**

メッセージセンター - 設定されている SMS センター (ショートメッセージサービスセンター) のリストを表示します。SMS センターを選択すると、**ﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｰ番号** が表示されます。**ﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｰ番号** にはデフォルトで「+819066519300」が設定されています。

使用するﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｰ - SMS 配信に使用される SMS センターを選択します。

文字エンコード - 他の文字エンコードへ変換する場合に使用します。変換を行わない場合は **フルサポート**、可能なときに変換をおこなう場合は **部分サポート** を選択します。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは SMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

送信ﾒｯｾｰｼﾞ のﾀｲﾌﾟ - このオプションは、メッセージセンターが SMS をその他の形式に変換できることが確実な場合にのみ変更してください。



注意：日本国内ではご利用いただけません。

優先する接続 - SMS 送信時に優先する接続を選択します。**WCDMA または GSM**、および **パケット接続** を利用して送信します。(「接続設定」P.205)



注意：ソフトバンクから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

同一ｾﾝﾀｰ経由で返信 (ネットワークサービス) - 同一の SMS センター番号で返信メールを送信する場合は、**はい** を選択します。



注意：ソフトバンクから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

MMS 設定

> **メール** > **オプション** > **設定** > **MMS**

添付画像サイズ - MMS で利用する静止画サイズを設定します。**オリジナル**、**小**、**大** から選択します。**オリジナル** (**MMS 作成モード** が **確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** または **制約なし** に設定の場合) を選択すると、MMS のサイズが大きくなります。

MMS 作成モード - **確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** を選択した場合、受信者側電話機でサポートしていないメッセージ形式の送信をすると、確認メッセージが表示されます。**制約あり** を選択すると、サポート対象外のメールが受信者へ送信されないようになります。

使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - 使用するアクセスポイントを設定します。

注意：MMS のアクセスポイント（Mail Connection）はデフォルトのままご使用ください。

MMS 受信 - MMS の受信方法を設定します。

- **常時自動** を選択すると、契約ネットワーク内外にかかわらず、常時、パケットデータ接続を使用して MMS を取得します。
- **契約ﾈｯﾄﾜｰｸで自動** を選択すると、契約ネットワーク内では、MMS を自動的に受信します。契約ネットワーク外の場合は、MMS センターに取得できる MMS が受信されていることを知らせる通知が、お客様へ送信されます。
- **手動** を選択すると、MMS が MMS センターに届いたことを、MMS 通知でお知らせします。
- 契約ネットワーク外から MMS の送受信をおこなう場合、通常より料金が加算されることがあります。

匿名ﾒｯｾｰｼﾞ受信許可 - 匿名の送信者からのメールを拒否する場合、**いいえ** を選択します。

注意：日本国内ではご利用いただけません。

広告受信 - MMS による広告を受信する設定ができます。

注意：日本国内ではご利用いただけません。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

注意：一般に、E-mail アドレスに送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

配信ﾚﾎﾟｰﾄ送信拒否 - 受信済み MMS の配信レポートを送信しないように設定するには、**はい** を選択します。

注意：日本国内ではご利用いただけません。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは MMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

サービスメッセージ

> **メール** > **オプション** > **設定** > **サービスメッセージ**

サービスメッセージの受信を設定することができます。自動的にブラウザを起動し、ネットワークに接続してサービスメッセージのコンテンツを受信する場合は、**ﾒｯｾｰｼﾞﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** > **自動** を選択します。

USIM カードに保存されたメールを表示する

USIM カードに保存されているメッセージを表示するには、そのメッセージを本機内のフォルダにコピーする必要があります。

1 **> メール > オプション > SIM に保存されたﾒｰﾙ の順に選択**
2 **表示するメッセージ > オプション > マーク / マーク解除 > マーク または すべてをマーク の順に選択**
3 **オプション > コピー を選択**

保存先が表示されます。

4 **保存先を選択し、OK を選択**
5 **保存先のフォルダを開き、表示するメッセージを選択**

情報メッセージ

> **メール** > **オプション** > **設定** > **情報メッセージ**

トピックとそのトピック番号についてサービスプロバイダに確認し、設定を変更します。

受信 - 情報メッセージ受信の設定をおこないます。

言語 - **すべて** では、すべてのサポート対象言語で情報メッセージを取得できます。**選択** では、情報メッセージを取得する言語を選択できます。希望する言語がない場合は、**その他** を選択します。

トピック検出 - 自動的に新しいトピック番号を検索し、名前のない新しい番号がトピックリストに保存されます。

その他の設定

> **メール** > **オプション** > **設定** > **その他**

送信済みﾒｯｾｰｼﾞ保存 - **はい** を選択すると、送信したメール (SMS、MMS、E-mail) のコピーを **送信済みﾒｰﾙ** フォルダに保存することができます。

保存メッセージ数 - **送信済みﾒｰﾙ** フォルダに保存できるメール数を設定します。デフォルトで設定されているメール保存数は、20 件です。保存メール数が最大数に達したら、古いメールから順に削除されます。

使用するメモリ - メモリカードが挿入されている場合、メールの保存先を **電話機メモリ** または **メモリカード** から選択することができます。

■ メールで受信できるデータ

本機では、Bluetooth、赤外線通信、SMS などでさまざまなデータやメッセージを受信できます。

ビジネスカードを保存する

1 **受信したビジネスカードを開く > オプション > ビジネスカード保存 を選択**

ビジネスカードに添付された証明書、またはサウンドファイルは保存されません。



補足 : 画像ファイルが添付されたビジネスカードを受信した場合、画像は電話帳に保存されます。

カレンダーエントリを保存する

1 **受信したカレンダーエントリーを開く > オプション > カレンダーに保存 を選択**

インターネットメッセージを保存する

1 **受信したメッセージを開く > オプション > ブックマークへ追加 を選択**

メッセージにアクセスポイント設定とブックマークの両方が保存されている場合、データを保存するには、**オプション** > **すべて保存** を選択します。

リモートメールボックスを利用した E-mail 送受信

- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** が設定されていない状態で、**メール** から **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** を選択すると、メールボックス設定を要求するメッセージが表示されます。
  はい を選択すると、メールボックスウィザードが起動するので、**開始** を選択して設定をおこないます。ウィザードで設定できない項目については別途設定が必要です。「E-mail クライアント設定」(P.96) を参照してください。
- 新しいメールボックスを作成すると、**メール** のフォルダリストの **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** が、作成したメールボックスの名前で上書きされます。最大 6 つのメールボックスを作成できます。

E-mail クライアントについてのご注意

本機には E-mail クライアント機能が搭載されています。本機能をお使いいただくにあたっては次の点にご注意ください。

E-mail クライアントとは？
E-mail クライアントとは、インターネットサービスプロバイダ等でご契約されているメールボックスを利用できる機能です。あらかじめ、インターネットサービスプロバイダ等でのメールボックス契約が必要です。ソフトバンクが提供するメールサービス機能とは異なりますのでご注意ください。

1. E-mail クライアントの設定について

E-mail のアクセスポイントの設定では、「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
※「Mail Connection」や「Browser Connection」ではご利用いただけません。(詳細については「アクセスポイントについて」(P.37) を参照してください。)

2. E-mail アドレスについて

E-mail クライアントで送信する場合、お客様がサービスプロバイダから取得したメールアドレスが From アドレスとして送信されます。(「送信 E-mail サーバ の設定」P.98)

メールで **新規ﾒｰﾙ作成** を選択すると、SMS、MMS、E-mail のメニューが表示されますが、E-mail を選択すると E-mail クライアントが起動しますのでご注意ください。

ソフトバンクのアドレスで E-mail を送信する場合は、MMS を選択し送信先の E-mail アドレスを入力してください。

3. E-mail クライアントの通信料について

X02NK の「E-mail クライアント」(取扱説明書などには、「リモートメールボックス」または「E-mail」と記載）は、メール定額、デュアルパケット定額の対象外となります。詳細についてはソフトバンクのサイト、http://mb.softbank.jp/mb/ を参照してください。また、「E-mail クライアント」をご利用いただくには、インターネットサービスプロバイダ等でメールボックスのご契約が必要です。

4. お問い合わせ

携帯電話における E-mail クライアントの設定、利用に関するお問い合わせは、ハローノキア (TEL: 0570-0-66542、メール：http://www.nokia.co.jp/asknokia) までお問い合わせください。

E-mail クライアント設定

お客様が契約されたサービスプロバイダの E-mail 設定につきましては、ソフトバンクでは責任を負いかねます。詳細については、「E-mail クライアントについてのご注意」(P.96) を参照してください。

E-mail のアクセスポイントの設定をするには、サービスプロバイダの指示に従ってください。詳細については後述の「メールボックスを設定する」を参照してください。赤色のアスタリスクが表示されている項目はすべて入力が必要です。

メールボックスを設定する

1 **> メール > オプション > 設定 > E-mail > メールボックス の順に選択**

- すでにメールボックスを設定している場合は、**使用するﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** で E-mail の送受信に使用するメールボックスを選択します。
- 別のメールボックスを追加する場合は、**メールボックス** > **オプション** > **新規メールボックス** を選択します。
- メールボックスを削除する場合は、削除するメールボックスを選択し、**オプション** > **削除** の順に選択します。

2 **メールボックス をはじめて設定するときは、メールボックス設定を要求するメッセージが表示 > はい を選択**

3 **メールボックスウィザードが起動 > 開始 を選択**

メールボックスウィザードで設定できない項目は、別途設定が必要です。メールボックスには、次の設定が必要です。

- **接続設定**
- **ユーザ設定**
- **受信設定**
- **自動受信**

接続設定

受信 E-mail サーバ の設定

- **ユーザ名** - サービスプロバイダから取得したユーザ名を入力します。
- **パスワード** - パスワードを入力します。この項目を空白にしておくと、リモートメールボックスへの接続がおこなわれるたびにパスワードの入力を要求されます。
- **受信メールサーバ** - 受信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットアクセスポイント (IAP) を設定します。「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
- **メールボックス名** - 任意のメールボックス名を入力します。
- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾀｲﾌﾟ** - リモートメールボックスのサービスプロバイダが推奨するメールボックスタイプを **POP3** または **IMAP4** から選択します。これはメールボックスの新規作成時のみ設定できます。いったん、設定を保存または終了すると、再度変更することはできません。**POP3** を選択した場合、接続中に E-mail が自動更新されることはありません。 新着 E-mail を受信する場合は、いったん、接

続を切断してから、リモートメールボックスに再接続する必要があります。
- **ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)** - リモートメールボックスへの接続を保護することができます。
- **ポート** - ポートを設定します。
- **APOP 安全ログイン** (POP3 の場合) - リモートメールボックスへの接続時にサーバへ送信するパスワードを暗号化します。

送信 E-mail サーバ の設定

- **自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** - サービスプロバイダから取得した E-mail アドレスを入力します。相手からの返信メールは、このアドレスに送信されます。
- **送信メールサーバ** - 送信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットアクセスポイント (IAP) を設定します。「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
- **ユーザ名**、**パスワード**、**ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)**、**ポート** の設定は、「受信 E-mail サーバ の設定」(P.97) を参照してください。

ユーザ設定

自分の名前 - お客様の名前を入力します。設定しておくと、入力した名前が E-mail アドレスの代わりに、E-mail 受信者の電話機に表示されます。E-mail 受信者の電話機がこの機能をサポートしている必要があります。

メッセージ送信 - E-mail の送信方法を設定します。**直ちに送信** を選択すると、**送信** を選択した場合、E-mail は直ちに送信されます。**次回接続時** を選択すると、E-mail は次回リモートメールボックスへ接続された場合に送信されます。

自分にコピー送信 - **はい** を選択すると、リモートメールボックスと**自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** で指定されたアドレスに、E-mail のコピーを保存します。

署名添付 - E-mail に署名を設定することができます。

新着 E-mail の通知 - 新着 E-mail 受信時に、本機にメッセージやアイコンを表示し、通知音を鳴らします。

受信設定

受信する E-mail - E-mail の受信方法を設定します。**ヘッダーのみ**、**サイズ制限**、**ﾒｯｾｰｼﾞ と添付ﾌｧｲﾙ** のいずれかを選択します (POP3 の場合)。IMAP4 の場合は、**ヘッダーのみ** だけ選択できます。

受信件数 - 受信する E-mail 数を設定します。

IMAP4 フォルダパス (IMAP4 の場合) - フォルダパスを設定します。

フォルダ登録 (IMAP4 の場合) - リモートメールボックス内の他のフォルダを登録し、コンテンツを受信できるよう設定します。

自動受信

E-mail 通知 - 新着 E-mail があった場合に、本機に通知が送信されます。サービスプロバイダがサポートしている場合に限ります。

E-mail 受信 - 新着 E-mail のヘッダーを自動的に受信します。E-mail を受信するタイミングと頻度を設定します。

- **E-mail 受信** を **無効** 以外に設定した場合、メールボックス名の右側に が表示され、メッセージが自動的に取得されます。

E-mail 通知 と **E-mail 受信** を同時に有効にすることはできません。

自動受信を有効にすると、通信費が高くなる場合があります。

■ メールボックスに接続する

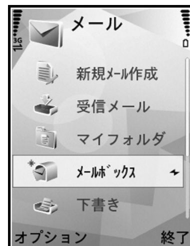
すでに取得している E-mail とヘッダーをオフラインで表示するか、または E-mail サーバに接続するかを選択できます。

1 メールボックスを選択し、 を押す

メッセージが表示されます。

2 はい を選択

- リモートメールボックスに接続し、新着 E-mail のヘッダーと本文を取得します。メールをオンラインで表示する場合、データ接続により、リモートメールボックスに継続的に接続されます。
- メールボックスに接続中は、フォルダリストのメールボックス名に が表示されます。



- **E-mail 受信** を **無効** 以外に設定した場合、フォルダリストのメールボックス名に が表示されます。(「自動受信」P.99)
- 設定によっては、通信費が高くなる場合があります。
- 手順 2 で **いいえ** を選択した場合は、すでに取得した E-mail をオフラインで表示します。E-mail をオフラインで表示する場合、本機はリモートメールボックスに接続されません。

■ E-mail を取得する



重要：E-mail には、ウィルスが含まれていることがあります。ウィルスが含まれている場合、本機または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

アイコン

- - 新着 E-mail(オンライン / オフライン)
- - 取得済み新着 E-mail
- - 取得されていない既読 E-mail
- - 既読 E-mail
- - メッセージ本文が本機から削除済みの E-mail
- - 添付ファイルのある E-mail
- - 新着 E-mail。E-mail クライアントに新着メールがある場合、画面右上に表示されます。

1 メールボックスを開く > オプション > E-mail 受信 を選択

- **新着** - すべての新着 E-mail を取得します。
- **選択したメッセージ** - マークした E-mail のみ取得します。
- **すべて** - メールボックスからすべての E-mail を取得します。

取得を停止する場合は、**キャンセル** を選択します。



2 オプション > 切断 を選択

E-mail 取得後、オフラインで表示します。オンラインにしたまま表示することもできます。

3 E-mail を選択し、 を押す

- 未取得の E-mail をオフラインで選択した場合、E-mail を取得するかどうかメッセージが表示されます。
- E-mail に添付されたファイルを表示する場合は、**オプション** > **添付ファイル** を選択します。添付ファイルのアイコンがグレー表示で、添付ファイルがまだ取得されていない場合は、**オプション** > **受信** を選択します。

■ E-mail を削除する

E-mail を削除するには、本機から削除する方法と、本機とサーバから削除する方法があります。

本機から削除する

1 メールボックスを開く > オプション > 削除 > 電話機のみ の順に選択

- 本機内の E-mail のヘッダーは、リモートメールボックス内と同じ状態を保つようになっています。メッセージ本文を削除しても、ヘッダーは本機に残ります。
- ヘッダーも削除する場合は、まずリモートメールボックスから E-mail を削除し、次に本機からリモートメールボックスに再度接続して、ステータスを更新する必要があります。

本機とサーバから削除する

1 メールボックスを開く > オプション > 削除 > 電話機とサーバ の順に選択

- オフラインの場合、E-mail はまず本機から削除されます。リモートメールボックス内の E-mail は、次回、リモートメールボックスへ接続したときに自動的に削除されます。
- POP3 プロトコルを使用している場合、削除マーク の付いた E-mail は、リモートメールボックスへの接続を終了したあとに削除されます。

E-mail の削除を中止する

1 「」の E-mail を選択

次回接続時に削除される E-mail に表示されるアイコンです。

2 オプション > 削除取消し を選択

メールボックスとの接続を終了する

1 オプション > 切断 を選択

オンラインの場合、リモートメールボックスへのデータ接続を終了します。

インターネット

インターネットについて

インターネットを使用することにより、PC 用のサイトを快適に見ることができ、より多くの情報を入手することが可能になります。高速画面スクロールに加え、ナビゲーションキーを長く押すとページ全体を縮小表示した半透明のマップが現れるため（ミニマップ機能）、情報量の多い PC サイトでも自分がどこを見ているのかが一目で分かります。



インターネット（ネットワークサービス）を利用して、HTML (Hypertext Markup Language) で作成された PC 用のウェブページを見ることができます。また XHTML (Extensible Hypertext Markup Language)、または WML (Wireless Markup Language) で作成された携帯電話用のウェブページも見ることができます。
本ブラウザは Yahoo! ケータイサイトには対応しておりません。

本ブラウザご使用の際には、アクセスポイントに「Application Connection」をご使用ください。お買い上げ時にはデフォルトで「Application Connection」がアクセスポイントとして設定されています。(「アクセスポイントについて」P.37)
Application Connection の内容・料金についてはソフトバンクモバイル株式会社にご確認の上、ご使用ください。

インターネットにアクセスする

■ メニューからアクセスする

1 **> インターネット を選択**

サーバへ接続する確認メッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

ホームページ に設定されているサイトが開きます。(「ホームページ」P.108)

- [＊] または [#] を押して、表示しているウェブページのズームイン / ズームアウトをすることができます。

3 **ブラウザを閉じるには、オプション > 終了 を選択**

URL を入力してアクセスする

1 ⌘ > インターネット を選択

2 **オプション** > **URL を開く** を選択

- ブックマーク画面で URL を入力してアクセスするには、**オプション** > **ナビゲーション** > **URL を開く** の順に選択します。

3 アドレスフィールドに URL を入力し、**開く** を選択

4 ブラウザを閉じるには、**オプション** > **終了** を選択

情報画面での操作のしかた

⌘ > インターネット > ウェブページを表示



重要 : 悪質なソフトウェアに対し適切なセキュリティ対策が提供されている、信頼できるサービスのみ使用するようにしてください。

基本操作

ブラウズ中に前のページに移動する

1 **戻る** を選択

- **オプション** > **設定** > **一般** > **履歴リスト** を **オン** に設定している場合、**オプション** > **ナビゲーション** > **履歴** の順に選択し、ブラウズ中にアクセスしたページのリストを表示して、選択することもできます。
- 履歴リストは、インターネットを終了するたびにクリアされます。

ブラウザを閉じる

1 **オプション** > **終了** を選択

オフラインでページをみる

1 **オプション** > **ツール** > **切断** の順に選択

操作コマンドのサブリストを開く

現在開いているウェブページで利用できる操作コマンドのサブリストを開くには、**オプション** > **サービスオプション** を選択します。ウェブページが対応している場合のみ、**サービスオプション** が表示されます。

ショートカット

- C - ウィンドウを閉じます。2つ以上のウィンドウが開いている場合は、現在開いているウィンドウを閉じます。
- 1 - ブックマークを開きます。
- 2 - 現在開いているページ内のテキストを検索します。
- 3 - 前ページに戻ります。
- 5 - 2つ以上のウィンドウが開いている場合に、ウィンドウのリストを表示します。

- [8] - ページ全体を表示します。ページ上を移動して見たい情報にズームインするには、もう 1 度 [8] を押します。
- [9] - URL を入力して他のウェブページに移動します。
- [0] - 最初のページに戻ります。**戻る** を選択してページを選択することもできます。
- ズームイン / ズームアウト - ページのズームイン、ズームアウトは [*]、または [#] を押します。

補足： インターネットにアクセスしたまま、待受画面に戻るには、 を 2 回押します。 を押しても待受画面に戻ることができます。**インターネット** に戻るには、 を長く押して、アプリケーションのリストから **インターネット** を選択します。

ポップアップを許可する

ポップアップウィンドウが自動的に開くように設定することができます。

1 オプション > 設定 > ページ > ポップアップブロック > いいえ の順に選択

- **オプション** > **ウィンドウ** > **ポップアップ許可** を選択しても設定することができます。

ズーム

表示しているウェブページのズームイン、ズームアウトができます。

1 オプション > ズーム > 50%、75%、100%、または 125% の順に選択

- [*] または [#] を押して、ズームイン / ズームアウトすることもできます。

ページ概要

ページ概要 を利用して、情報量の多いウェブページ上をブラウズ中に、そのページにどのような情報が含まれているかを見ることができます。

1 オプション > ナビゲーション > ページ概要 の順に選択

ページ全体が縮小表示されます。

- ブラウズ中に [8] を押して、ページ概要を見ることもできます。
- ページ概要上を移動するにはナビゲーションキー 、、、 を使用します。表示したい情報にズームインするには、[8] を押します。

画面表示を切り替える

画面表示をランドスケープモード (横長表示)、またはポートレートモード (縦長表示) に切り替えます。

1 オプション > 画面切り替え を選択

■ 情報表示中の各種設定

文字の表示サイズを設定する

1 **オプション > 設定 > ページ > フォントサイズ の順に選択**

2 **設定するフォントサイズを選択**

文字タイプを変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、エンコードを変更して再表示することができます。

1 **オプション > 設定 > ページ > デフォルトエンコード の順に選択**

2 **リストから設定するエンコードを選択**

- ウェブページで選択したエンコードを有効にするには、**オプション** > **ナビゲーション** > **再読み込み** を選択する必要があります。

最新の情報に更新 / 再取得する

1 **オプション > ナビゲーション > 再読み込み の順に選択**

接続の詳細を表示する

現在のセッションの詳細を表示します。

1 **オプション > ブックマーク を選択**

ブックマーク画面が表示されます。

2 **オプション > 詳細 を選択**

3 **表示する詳細情報を選択し、◙ を押す**

- **セッション** - セッションの詳細を表示します。
- **セキュリティ** - 接続のセキュリティを表示します。

URL を表示する

表示しているウェブページの URL を表示します。

1 **オプション > ツール > ページ情報 を選択**

ページの履歴を表示する

現在のセッションでアクセスしたページの履歴を見ることができます。

1 **オプション > ナビゲーション > 履歴 の順に選択**

ページの履歴を削除する

現在のセッションでアクセスしたページの履歴と自動ブックマークを削除することができます。

1 **オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > 履歴 の順に選択**

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

完了メッセージが表示されます。

■ 履歴リストの設定

前ページに戻ったときに自動的に履歴リストが表示されるように設定します。

1 **オプション > 設定 > 一般 > 履歴リスト > オン の順に選択**

検索

表示したページ内のテキストや電話番号、E-mail アドレスを検索することができます。

1 **オプション > 検索 > 文字、電話番号、または E-mail アドレス の順に選択**
- **文字** を選択した場合、検索するテキストを入力します。
- 次の検索結果に移動するには、 を押します。前の検索結果に戻るには を押します。
- 現在開いているページ内のテキストを検索するには 2 を押します。

URL を送信する

ブラウズ中のページの URL を送信することができます。

1 **オプション > ツール > 送信 を選択**

接続を変更する

使用するアクセスポイントを変更することができます。

1 **オプション > ツール > 接続変更 を選択**
- パケットデータアクセスポイント間で接続を変更するには、**オプション** > **設定** > **一般** > **アクセスポイント** > **常に確認** に設定してから、ブラウザをいったん終了して再度起動しなおすか、接続を切断して再度接続します。

ブラウザツールバー

ツールバーを使用して、ブラウザでよく使用する機能を選択することができます。

1 **オプション > ツール > ツールバー表示 を選択**
- ウェブページ上の何も表示されていない場所で を長く押しても、ツールバーを表示させることができます。
- ツールバー上を移動するには、 、または を押します。機能を選択するには、 を押します。

次のオプションが選択できます。

- **よく使用するリンク** - よく利用するウェブページの URL リストを表示します。
- **ページ概要** - ページ全体を表示します。
- **再読み込み** - ページを再読み込みします。
- **検索** - 現在開いているページ内のテキストを検索します。
- **Web フィードに登録** (利用可能な場合に表示) - 現在開いているページで利用可能な Web フィードのリストを表示し、Web フィードへの登録をおこないます。

ミニマップ

情報量の多いウェブページ上で情報を検索したり、参照したりするのに **ミニマップ** を利用することができます。**ミニマップ** を使って見たいページに移動することができます。

ウェブページ上をスクロールすると、ブラウズ中のウェブページ全体が自動的にズームアウトされて縮小表示されます。

縮小したページ上を移動するにはナビゲーションキー [左]、[右]、[上]、[下] を使用します。表示したい情報が見つかったら、スクロールを終了します。

ミニマップ の設定を切り替えるには、**オプション** > **設定** > **一般** > **ミニマップ** > **オン** または、**オフ** の順に選択します。

情報の利用

> **インターネット** > **ウェブページを表示**

ブックマーク

よく利用するウェブページの URL をブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。

ノキアと関連のないサイトへのブックマークが設定されている場合があります。ノキアはこれらのサイトに対する保証や承認はおこなっておりません。これらのサイトにアクセスする場合は、セキュリティやコンテンツについて、他のインターネットサイトの場合と同様の注意を払ってください。

アイコン

- ホームページ（デフォルトアクセスポイント名が表示されます）

ウェブページを表示中にブックマーク画面を開く

1 オプション > ブックマーク を選択

- [1] を押してもブックマーク画面を開くことができます。
- **自動ブックマーク** フォルダには、ブラウズしたウェブページの履歴が保存されます。
- **保存ページ** フォルダに保存されたウェブページを、オフラインで見ることができます。(「ページ保存」P.110)
- **Web フィード** フォルダには、登録した Web フィードやブログへのリンクが保存されます。Web フィードは通常、主要な報道機関のウェブページや個人のウェブログ、最新ニュースのヘッドラインや記事の要約を提供するオンラインコミュニティなどで見ることができます。Web フィードは RSS や ATOM 技術を使用しています。

ウェブページからブックマークを保存する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ﾌﾞｯｸﾏｰｸとして保存 を選択

- ウェブページからブックマーク画面へ移動する場合は、[1] を押します。ウェブページへ戻る場合は、**オプション** > **ブラウザに戻る** を選択します。

3 ブックマーク名を入力し、OK を選択

ブックマーク画面からブックマークを保存する

1 ブックマーク画面を表示

2 オプション > ブックマーク管理 > ブックマーク追加 の順に選択

3 各項目を入力

URL は、必須項目です。[*] を押して、**/ . :** および **@** などの特殊文字を入力します。文字を削除するには、**C** を押します。

4 オプション > 保存 を選択

ブックマークから接続する

1 ブックマークを選択し、[■] を押す

- サーバに接続する必要がある場合は、接続します。

ブックマークを送信する

1 送信するブックマークを選択

2 オプション > ツール > 送信 > 送信方法を選択

ブックマークを削除する

1 削除するブックマークを選択

2 オプション > ブックマーク管理 > 削除 の順に選択

登録内容を編集する

1 編集するブックマークを選択

2 オプション > ブックマーク管理 > 編集 の順に選択

名前、**アドレス**、**アクセスポイント**、**ユーザ名**、**パスワード** を変更することができます。

■ ホームページ

ホームページを設定します。

1 オプション > 設定 > 一般 > ホームページ の順に選択

2 デフォルト、ユーザ定義、現在のページ、ブックマーク から選択

■ アイテムをダウンロードして購入する

着信音、静止画、テーマ、ビデオクリップなどのアイテムをダウンロードできます。これらのアイテムには、無料と有料のものがあります。ダウンロードした各種アイテムは、本機のそれぞれ対応するアプリケーションに保存されます。例えば、写真や .mp3 ファイルをダウンロードすると、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。



重要：信頼できる提供元からのアプリケーションおよびソフトウェア(例:Symbian Signed の認証を受けている、あるいは Java Verified テストをパスしたアプリケーションなど)のみをインストールし、使用してください。

1 リンクを選択し、▣ を押す

2「購入」などの該当するオプションを選択

3 表示事項を注意深く読む

- ダウンロードをキャンセルする場合は、**キャンセル** を選択します。
- ダウンロードが始まると、現在のセッションでダウンロード中のアイテムと、ダウンロードが完了したアイテムのリストが表示されます。**オプション** > **ダウンロード** を選択してリストを見ることもできます。リストからは、ダウンロードをキャンセルしたり、ダウンロードが完了したアイテムを保存、削除、開くことができます。

■ 画像ファイルの利用

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ツール > 画像表示 の順に選択

ウェブページ上にある画像のサムネイル画像が表示されます。

3 画像を選択し、OK を選択

選択した画面が表示されます。

4 オプション > 保存 を選択

- メモリカードが挿入されている場合、保存先を選択するメッセージが表示されます。
- 画像は ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されます。

壁紙に登録する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ツール > 画像表示 の順に選択

ウェブページ上にある画像のサムネイル画像が表示されます。

3 OK を選択

選択した画像が表示されます。

4 オプション > 画像使用 > 壁紙に設定 の順に選択

■ サウンドファイルの利用

サウンドを再生する

詳細については、「音楽ファイルを再生する」(P.146) を参照してください。

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 ウェブページに表示されるダウンロードの手順に従って操作

サウンドファイルは、ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されます。

ページ保存

よく利用するウェブページを保存しておくと、あとでインターネットに接続しなくてもオフラインで見ることができます。

1 保存するウェブページを表示

2 オプション > ツール > ページ保存 の順に選択

3 ページ名を入力または確認し、OK を選択

· ブックマークを開き、**保存ページ** フォルダを選択すると、オフラインで保存したページを見ることができます。

その他の機能

> インターネット

画像や音声の取得設定

ウェブページに含まれる画像や音声を表示せずに文字情報のみを取得するように設定し、ページ情報の受信完了までの時間を短縮することができます。

1 オプション > 設定 > ページ > コンテンツ表示 の順に選択

2 テキストのみ、画像 (Flash 以外)、すべて から選択

Web フィードとブログ



重要 : 悪質なソフトウェアに対し適切なセキュリティ対策が提供されている、信頼できるサービスのみ使用するようにしてください。

Web フィード はウェブページ上の xml ファイルで、例えばブログのコミュニティや報道機関で、最近のニュースなど、最新のエントリの見出しや全文を共有するのに広く使用されています。ブログやウェブログはウェブ上にある日記です。Web フィードの多くは RSS や ATOM 技術を使用しています。ウェブ、ブログや Wiki ページでは Web フィードがよく見られます。

ウェブページ上に Web フィードが含まれている場合、**インターネット** は自動的に検出します。ウェブページで Web フィードに申し込むには **オプション** > **登録** を選択するか、リンクを選択します。ブックマーク画面で申し込んだ Web フィードを表示するには、**Web フィード** を選択します。

Web フィードを更新するには、**オプション** > **更新** を選択します。

Web フィードの更新については、**オプション** > **設定** > **Web フィード** で設定することができます。(「Web フィード設定」P.111)

インターネット設定

オプション > **設定**

次の設定をおこないます。

- **一般**
- **ページ**
- **プライバシー**
- **Web フィード**

一般設定

アクセスポイント - デフォルトアクセスポイントを設定します。「接続設定」(P.205) を参照してください。

ホームページ - 「ホームページ」(P.108)

ミニマップ - 「ミニマップ」(P.107)

履歴リスト - 「履歴リストの設定」(P.105)

セキュリティ警告 - 「警告画面を表示する」(P.112)

Java/ECMA スクリプト - スクリプトの使用を設定します。

ページ設定

コンテンツ表示 - 「画像や音声の取得設定」(P.110)

画面サイズ - ブラウズ中に表示される画面のサイズを **標準画面表示** または **全画面表示** から設定します。

デフォルトエンコード - 「文字タイプを変更する」(P.105)

ポップアップブロック - 「ポップアップを許可する」(P.104)

自動再読み込み - ウェブページを表示中に、自動的にページの更新をおこなうには **オン** を選択します。

フォントサイズ - 「文字の表示サイズを設定する」(P.105)

プライバシー設定

自動ﾌﾞｯｸﾏｰｸ保存 - 自動的にブックマークを蓄積しない場合は **オフ** を選択します。自動的にブックマークを蓄積し、ブックマーク表示にはフォルダを表示しない場合は、**フォルダ表示なし** を選択します。

フォームデータ保存 - ウェブページ上で入力したデータを保存して、次回そのページを開いた時に保存したデータを使用することができます。

クッキー - クッキーの送受信を設定します。

シリアル番号送信 - インターネットサービスから要求されたときに、ユーザ識別情報として本機のシリアル番号を送信するには、**オン** を選択します。

Web フィード設定

自動更新 - Web フィードを自動的に更新するかどうかを設定します。自動更新する場合は更新する頻度を設定します。自動更新するように設定した場合、

サービスプロバイダのネットワークを介して大量のデータ送信がおこなわれますのでご注意ください。

キャッシュをクリアする

アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されます。

キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり、実際にアクセスしたりした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されています。

1 オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > キャッシュをクリア の順に選択

完了メッセージが表示されます。

クッキーを削除する

1 オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > クッキー削除 の順に選択

完了メッセージが表示されます。

■ セキュリティの設定

警告画面を表示する

1 オプション > 設定 > 一般 > セキュリティ警告 の順に選択

2 セキュリティ警告を表示する場合は 表示 を選択、表示しない場合は 非表示 を選択

ユーザ ID を通知する

「プライバシー設定 - シリアル番号送信」(P.111) を参照してください。

SSL/TLS 証明書を確認する

接続中にセキュリティマーク 🔒 が表示されると、本機とインターネットゲートウェイまたはサーバ間のデータ送受信は暗号化されます。

セキュリティアイコンは、ゲートウェイとコンテンツサーバ (要求されたリソースが保存される場所) 間のデータの送受信が安全であることを示すものではありません。ゲートウェイとコンテンツサーバ間のデータ送受信を保証するのは、サービスプロバイダです。

セキュリティ機能は、銀行業務などの一部のサービスで必須です。このような接続にはセキュリティ証明書が必要です。サーバ ID が認証されない場合や、本機に正しいセキュリティ証明書がない場合はメッセージが表示されます。詳細についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。(「証明書管理」P.176)

カメラ

カメラをご利用になる前に

本機には、２種類のカメラが搭載されています。背面にあるメインカメラは、高解像度カメラです。前面にある第２カメラは低解像度カメラです。カメラでは、静止画とビデオの撮影が可能です。

- メインカメラ - ランドスケープモード (横長表示) 本機背面のカメラレンズカバーを開き、メインカメラを起動します。
- 第２カメラ - ポートレートモード（縦長表示） 本機背面のカメラレンズカバーを閉じた状態で、 > **アプリ** > **カメラ** を選択し、第 2 カメラを起動します。

本機の背面にあるメインカメラの解像度は最大 2592x1944 ピクセルです。ただし、本書にある画像の解像度は、撮影状況により異なる場合があります。

カメラで撮影した静止画やビデオは、自動的に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** の **画像とビデオ** フォルダに保存されます。(「ギャラリー」P.130)



補足 : カメラ起動中に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存した静止画やビデオを確認するには、本機側面のレビューキー を押します。

静止画は .jpeg ファイル形式、ビデオクリップは MPEG-4 ファイル形式 (拡張子 .mp4) や、3GPP ファイル形式 (拡張子 .3gp)(共有モード用) に変換されます。(「ビデオ設定」P.127)

撮影した静止画やビデオを MMS や E-mail に添付したり、Bluetooth 接続や赤外線通信、無線 LAN 通信を利用して送信したり、互換性のあるオンラインアルバムにアップロードすることもできます。「オンラインでファイルを共有する」(P.139)

撮影した静止画を電話帳に登録することができます。(「画像を電話帳へ登録する」P.132)

カメラ利用時のご注意

- 本機を両手で持ち、機体がぶれないようにして撮影してください。
- 撮影環境に適したシーンモードを選んで、撮影してください。(「シーンモード」P.123)
- 撮影後、静止画が保存されるまで本機を動かさないでください。
- 画像を拡大すると、元の画像よりも画質が落ちます。
- 本機ではどのキーも押さずに 約 1 分経過すると、省電力モードに入ります。撮影を続行するには、 を押します。

ディスプレイ表示について

ビューファインダーのアイコンを非表示にする

ビューファインダーのアイコンを非表示にすることができます。

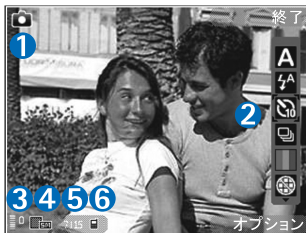
1 オプション > アイコン非表示 の順に選択

画面左上のアイコンのみが表示されます。

静止画アイコン

画面に静止画を表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

・ ①は静止画モードであることを示しています。
・ 静止画を撮影する前に、アクティブ ツールバー ②をスクロールして各種設定ができます。(「アクティブツールバーで利用できる機能」P.115)





補足：アクティブツールバーは、焦点を合わせる時や静止画の撮影中には表示されません。(「カメラのアクティブツールバー」P.115)

・ ③は電池の残量を示しています。
・ 画像解像度アイコン④は、画質を示します。
印刷 5M －大 (解像度 2592x1944)
印刷 3M －中 (解像度 2048x1536)
印刷 2M －中 (解像度 1600x1200)
E-mail 0.8M －中 (解像度 1024x768)
MMS 0.3M －小 (解像度 640x480)
これらの画質はメインカメラ使用時のみ選択できます。
・ ⑤は現在設定されている画質で、現在使用中のメモリに保存できるおおよその画像数を示します。このアイコンは、焦点を合わせる時や撮影中には表示されません。
・ 電話機メモリ ( ) またはメモリカード ( ) アイコン⑥は、静止画の保存先を示します。

ビデオアイコン

画面にビデオを表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

・ ①はビデオモードであることを示します。
・ ②は**手ブレ補正**が **オン** に設定されていることを示します。ビ



デオ録画中の手振れを低減します。
- マイクアイコン③は、音声がない状態で録画されていることを示します。
- ビデオを録画する前にアクティブ ツールバー④をスクロールして、シーンモード、ホワイトバランス、色合いの設定ができます。アクティブ ツールバーは焦点を合わせたり、ビデオの録画中には表示されません。(「カメラのアクティブツールバー」P.115)
- ⑤は電池の残量を示しています。
- ⑥はビデオクリップの画質が **TV 高品質**、**TV 標準品質**、**E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質**、および **共有品質** のどれであるかを示します。
- ⑦はビデオクリップのファイル形式を示します。
- ビデオ録画時間アイコン⑧は、ビデオの録画可能時間を示します。録画可能時間は、撮影状況や被写体によって録画中に増減します。
- 電話機メモリ ( ) またはメモリカード ( ) アイコン⑨は、ビデオの保存先を示します。

カメラのアクティブツールバー



メインカメラでは静止画の撮影やビデオの録画の前後に、アクティブツールバーを使用して設定項目の選択や設定の変更をすることができます。アクティブツールバーをスクロールして設定項目を選択し、 を押します。利用できる設定項目はシーンモードや状況によって異なります。またアクティブツールバーの表示 / 非表示を設定することができます。

アクティブツールバーを必要な時のみ表示させる

1 **オプション** > **アイコン非表示** **を選択**

アクティブ ツールバーを有効にするには、 を押します。

アクティブツールバーを常時表示させる

1 **オプション** > **アイコン表示** **を選択**

アクティブツールバーで利用できる機能

静止画の撮影やビデオの録画前に、アクティブ ツールバーで次のオプションを選択できます。

	ビデオモードと静止画モードの切り替えをおこないます。
	シーンモードを設定します。
	フラッシュを設定します。(静止画モードのみ有効)
	セルフタイマーを有効にします。(静止画モードのみ有効) (「セルフタイマー」P.119)
	連写モードを有効にします。(静止画モードのみ有効)(「連写モード」P.118)
	色合いを選択します。
	ビューファインダーグリッドの表示 / 非表示を設定します。(静止画モードのみ有効)
	ホワイトバランスを調整します。
	露出補正を調整します。(静止画モードのみ有効)
	シャープネスを調整します。(静止画モードのみ有効)
	コントラストを調整します。(静止画モードのみ有効)
	受光感度を調整します。(静止画モードのみ有効)

設定を変更すると表示されるアイコンも変わります。

「静止画撮影で利用できる機能」(P.117)、「動画撮影で利用できる機能」(P.120)、「ギャラリーのアクティブツールバー」(P.131) を参照してください。

静止画の撮影

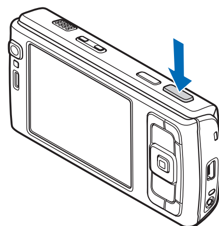
静止画を撮影する

1 背面にあるカメラレンズカバーを開き、メインカメラを有効にする

- カメラがビデオモードになっている場合は、アクティブ ツールバーで を選択するか、**オプション** > **静止画モード** を選択し、静止画モードにします。

2 ビューファインダーに被写体を表示して、 を軽く押し、焦点（ピント）をロックする

緑色のインジケータ (「 」) が表示されます。



- メインカメラ使用時のみ焦点をロックすることができます。シーンモードで **風景** や **スポーツ** を選択した場合は焦点をロックすることができません。
- 焦点が合っていない場合は、赤色のインジケータ (「 」) が表示されま

す。その場合、 からいったん指を離し、もう一度軽く押すと焦点をロックすることができます。

- 焦点をロックしなくても、静止画を撮影することができます。
- ズームインするには本機側面にあるズームキー を、ズームアウトをするには を押します。「各部の名称」(P.28) を参照してください。 または を押してもズームイン / ズームアウトすることができます。

3 を押し切る

シャッター音がし、静止画が撮影されます。

4 メインカメラを閉じるには、背面にあるカメラレンズカバーを閉じる

補足：撮影後、静止画が保存されるまで本機を動かさないでください。

静止画を撮影する前に、アクティブ ツールバーで明るさや色合いなどを設定することができます。「アクティブツールバーの詳細設定」(P.122) を参照してください。

ズームや明るさ、色合いの設定を変更すると、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。

第2カメラを有効にするには **オプション** > **第 2 カメラ使用** を選択します。

カメラを起動したままで他のアプリケーションを使用するには、 を押します。カメラに戻るには を長く押します。

静止画撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダーに表示されている静止画に対して、アクティブツールバーで次の操作をすることができます。

カメラの設定にある、**撮影後の静止画確認** を **オフ** にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダーに表示されません。

撮影した静止画を削除する

撮影した静止画を保存しない場合、

1 アクティブ ツールバーから （削除）を選択、または C を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 はい を選択

新規に静止画を撮影する

1 を押すか、戻る を選択してビューファインダーに戻り、 を押す

撮影した静止画を送信する

1 アクティブ ツールバーから （送信）を選択、または （開始キー）を押す

詳細については、「撮影した静止画 / ビデオを送信する」(P.128) を参照してください。

通話中に静止画を通話相手に送信する

通話中に通話相手に画像を送ることができます。画像は MMS で送信されます。

1 ビューファインダーに静止画を表示 > アクティブツールバーから (通話相手に送信) の順に選択

メッセージが表示され、画像が送信されます。

撮影した静止画をシェアオンラインで投稿する

1 アクティブツールバーから (シェアオンラインにサインイン) を選択

- すでにオンラインサービスに登録済みの場合は、アクティブツールバーから **(投稿先 : サービス名)** を選択します。互換性のあるウェブログサービスのアカウントを作成している場合にのみ有効です。(「シェアオンライン」P.213)

撮影した静止画を印刷バスケットに入れる

画像を印刷バスケットに入れておき、後で互換性のあるプリンタで印刷することができます。(「印刷バスケットの画像を印刷する」P.139)

1 アクティブ ツールバーから (印刷バスケットに追加) を選択

静止画ファイル名を変更する

1 オプション > 静止画名変更 を選択

静止画を壁紙に登録する

1 オプション > 壁紙に設定 を選択

静止画を電話帳へ登録する

1 オプション > 電話帳画像に設定 > 電話帳へ登録 > 電話帳を選択

■ 連写モード

連写モードはメインカメラでのみ有効です。

1 背面にあるカメラレンズカバーを開く

カメラが静止画モードであることを確認してください。

2 アクティブ ツールバーから (連写モード) を選択し、 を押す

3 バースト、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、30 分 から選択

- **バースト** を選択すると を短く押して撮影できる枚数の目安は 6 枚ですが、 を長く押して撮影できる枚数は、使用できるメモリ容量により異なります。
- 10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、30 分を選択した場合、設定した時間の間隔で連続撮影をおこないます。

4 連続撮影を開始するには、[カメラキー] を押す

連写モードで **バースト** を選択し、[カメラキー] を押し続けた場合、[カメラキー] から指を離すまで撮影が継続されます。

5 途中で連続撮影を停止するには、キャンセル を選択

連写モードで **バースト** を選択した場合、撮影後、画像はグリッド状に表示されます。時間間隔を選択した場合、最後に撮影した画像が表示されます。



- グリッド表示された各画像を開くには、画像を選択して、[■] を押します。
- 再度、連続撮影をおこなうには、[カメラキー] を押します。

セルフタイマーで連写モードを利用する

セルフタイマー 設定時に、連写モードを使用することもできます。この場合の最大連写数は 6 枚です。先に連写モードを設定し、次にセルフタイマーを設定して撮影をおこないます。詳細については後述の「セルフタイマー 」を参照してください。)

連写モードを解除する

1 アクティブツールバーから [アイコン] (連写モードに切替) を選択し、[■] を押す

2 [■] シングルショット を選択し、[■] を押す

■ セルフタイマー

セルフタイマーはメインカメラでのみ有効です。

セルフタイマーを利用して、静止画を撮影することが可能です。セルフタイマーのスピードは、2 秒、10 秒、20 秒から選択することができます。

1 アクティブツールバーから [アイコン] (セルフタイマー) を選択し、[■] を押す

2 2 秒、10 秒 あるいは 20 秒 から選択

3 開始 を選択

ビープ音が鳴り、設定した時間が経過するとシャッター音がし、画像が撮影されます。

セルフタイマーを解除する

1 アクティブ ツールバーから セルフタイマー を選択し、[■] を押す

2 オフ を選択し、[■] を押す

動画の撮影

動画を撮影する

1 背面にあるカメラレンズカバーを開いて、メインカメラを有効にする

- カメラが静止画モードになっている場合は、アクティブツールバーのを選択するか、**オプション** > **ビデオモード** を選択し、ビデオモードにします。

2 ビューファインダーに被写体を表示して、 を押す

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。録画中は、が画面下部に表示され、LED が点灯します。録画したビデオにフラッシュの影響はありません。

- ズームインするには本機側面にあるズームキー を、ズームアウトをするには を押します。「各部の名称」(P.28) を参照してください。 または を押してもズームイン / ズームアウトすることができます。

補足 : 録画を一時停止するには、**一時停止** を選択します。一時停止になると **II** が点滅します。一時停止をしてそのままにしておくと、約一分後に自動的に録画を終了します。録画を再開するには、**続行** を選択します。

3 停止 を選択

自動的に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** の **画像とビデオ** に保存されます。「ギャラリー」(P.130) を参照してください。最大録画時間は使用できるメモリ容量によって異なります。

ビデオを録画する前に、アクティブ ツールバーで明るさや色合いなどを設定できます。「アクティブツールバーの詳細設定」(P.122) と「シーンモード」(P.123) を参照してください。

動画撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダーに表示されているビデオに対して、アクティブ ツールバーで次の操作をすることができます。

カメラのオプション設定にある **撮影後のビデオ確認** を **オフ** にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダーに表示されません。

撮影したビデオを再生する

1 アクティブ ツールバーから (再生) を選択

撮影したビデオを削除する

1 アクティブ ツールバーから (削除) を選択、または C を押す

新規にビデオを撮影する

1 ( ) を押すか、**戻る** を選択してビューファインダーに戻り、( ) を押す

撮影したビデオを送信する

1 アクティブ ツールバーから **(送信)** を選択、または （開始キー）を押す

詳細については、「撮影した静止画 / ビデオを送信する」(P.128) を参照してください。

撮影したビデオをシェアオンラインで投稿する

1 アクティブツールバーから **(シェアオンラインにサインイン)** を選択

- すでにオンラインサービスに登録済みの場合は、アクティブツールバーから **(投稿先：サービス名)** を選択します。互換性のあるウェブログサービスのアカウントを作成している場合にのみ有効です。(「シェアオンライン」P.213)

撮影したビデオを着信音に設定する

1 **オプション** > **着信音に設定**、または **電話帳着信音に設定** を選択

- **着信音に設定** を選択すると、ビデオをすべての電話帳の着信音に設定できます。
- **電話帳着信音に設定** を選択すると、特定の電話帳の着信音に設定できます。

ビデオファイル名を変更する

1 **オプション** > **ビデオ名変更** を選択

通話中にビデオを通話相手に送信する

通話中に通話相手にビデオを送ることができます。ビデオは MMS で送信されます。

1 ビューファインダーに動画を表示 > アクティブツールバーから **(通話相手に送信)** を選択

メッセージが表示され、ビデオが送信されます。

第2カメラを使用する

本機背面のカメラレンズカバーを閉じた状態で > **アプリ** > **カメラ** を選択すると第 2 カメラが起動します。メインカメラが起動している場合は、**オプション** > **第 2 カメラ使用** を選択します。ズームインするには を、ズームアウトをするには を押します。

■ 静止画を撮影する

1 カメラがビデオモードになっている場合は、**オプション** > **静止画モード** を選択

2 ビューファインダーに被写体を表示して、 を押す

シャッター音がし、静止画が撮影されます。

静止画の撮影後、ビューファインダーに表示されている静止画に対して、**オプション** から **削除**、**印刷**、**送信**、**壁紙に設定**、**静止画名変更** などの操作をすることができます。

動画を撮影する

1 **カメラが静止画モードになっている場合は、オプション > ビデオモード を選択**

2 **ビューファインダーに被写体を表示して、◉ を押す**

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。録画中は、● が画面上部に表示されます。

3 **停止 を選択**

動画の撮影後、ビューファインダーに表示されているビデオに対して、**オプション** から **再生**、**削除**、**送信**、**ビデオ名変更** などの操作をすることができます。**戻る** を選択すると新規ビデオを撮影することができます。

アクティブツールバーの詳細設定

静止画の撮影やビデオの録画前にアクティブ ツールバーで各種機能を設定し、より正確な色調と明るさを表現して効果を追加することができます。

設定はメインカメラ、第2カメラでそれぞれ異なります。カメラを閉じると設定はデフォルト値に戻ります。

アクティブツールバーの各種機能を設定する

1 **背面にあるカメラレンズカバーを開いてメインカメラを有効にする**

アクティブツールバーが表示されていない場合は **オプション** > **アイコン表示** を選択します。



2 **◎ または ◎ を押してアクティブツールバーから設定する機能を選択し、◉ を押す**

静止画の明るさ、色の設定を変更すると、保存に時間がかかる場合があります。

新しいシーンモードを選択すると、色合いや明るさの設定は選択されたシーンモードの設定に置き換えられます。例えば **色合い** を **セピア** に変更した後に **シーンモード** を **ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ** に変更すれば、**色合い** は **標準** に変更されます。設定の変更が必要な場合は、シーンモード選択後に変更することができます。「シーンモード」(P.123) を参照してください。

シーンモード

シーンモードでは、現在の環境に適した色調や明るさを調整することができます。シーンモードのリストから画像やビデオの撮影に適切なシーンモードを選択します。特定の状況や環境に合わせて、シーンモードが設定されています。

・ シーンモードはメインカメラでのみ有効です。
・ 利用できるシーンの種類は、静止画とビデオでは異なります。

1 アクティブ ツールバーから [A] (シーンモード) を選択し、[■] を押す

2 [◎] または [◎] を押して使用するシーンモードを選択し、[■] を押す

静止画のシーンモード

[A]	**自動**：(デフォルト) 本機が自動的にシーンを選択します。
[ユーザ定義]	**ﾕｰｻﾞ定義**：各種機能を設定し、独自のシーンを作成することができます。
[接写]	**接写**：花など小さい対象物の細部を撮影する場合に使用します。約 10cm から約 60cm までの撮影距離で使用します。
[ポートレート]	**ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ**：顔写真や座りポーズなどの、ポートレートを撮影する場合に使用します。
[風景]	**風景**：遠景撮影時に使用します。
[スポーツ]	**スポーツ**：スポーツ場面など、動いている被写体を撮影する時に使用します。
[夜景]	**夜景**：夜間など光の少ない環境で使用します。
[夜景ポートレート]	**夜景ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ**：夜間など、光の少ない環境でポートレートを撮影する場合に使用します。

ビデオのシーンモード

・ ビデオでは、**自動** ([A]) と **夜景** ([夜景]) が設定できます。

ユーザ定義シーンを設定する

ユーザ定義では、独自のシーンモードを設定することができます。

1 シーンモードで ﾕｰｻﾞ定義 を選択した状態で、オプション > 変更 を選択

次の機能を設定することができます。

- **基本となるｼｰﾝﾓｰﾄﾞ**
  別のシーンモードから設定をコピーする場合、コピー元のシーンモードを選択します。
- **フラッシュ**
- **ホワイトバランス**
- **露出補正**
- **色合い**
- **受光感度値**
- **コントラスト**
- **シャープネス**
- **ユーザ定義のリセット**

2 各機能を選択し、■ を押す、または オプション > 変更 を選択。設定表示画面が開くので、設定する機能や値を選択し、■ を押す

フラッシュ

フラッシュ使用時は、被写体と安全な距離を保ち、至近距離での人や動物の撮影にはフラッシュを使用しないでください。写真の撮影時はフラッシュを手で覆わないようにしてください。

- 本機には、暗い場所でも撮影できるように、LED フラッシュが搭載されています。
- フラッシュはメインカメラでのみ有効です。

フラッシュを設定する

1 アクティブ ツールバーから (フラッシュモード) を選択し、■ を押す

2 または を押して使用するフラッシュを選択し、■ を押す

次のフラッシュが選択できます。

- - **自動** (デフォルト)
- - **オン**
- - **赤目補正**
- - **オフ**

フラッシュが **オフ**、あるいは **自動** に設定されている場合、周囲が明るい時に静止画を撮影しても、フラッシュが少し光ります。これにより、被写体が撮影されたタイミングがわかります。撮影された画像にフラッシュの影響はありません。

色合い

色合いでは、設定に合わせて画面の色合いが変わります。設定前に画像やビデオの色効果が確認できます。

1 アクティブ ツールバーから (色合い) を選択し、■ を押す

2 または を押して使用する色合いを選択し、■ を押す

次の色効果が選択できます。

- - **標準** (デフォルト)
- - **セピア**
- - **モノクロ**
- - **鮮明**
- - **ネガ**

ホワイトバランス

ライティングの状態にあわせてホワイトバランスを設定すると、より正確な色調を表現することができます。

1 アクティブ ツールバーから (ホワイトバランス) を選択し、■ を押す

2 または を押して使用するホワイトバランスを選択し、■ を押す

次のホワイトバランスが選択できます。

- - **自動**（デフォルト）
- - **晴天**
- - **曇天**
- - **白熱灯**
- - **蛍光灯**

露出補正

露出補正では露光時間を調節し、全体的な明るさを調整することができます。

1 アクティブツールバーから （露出補正）を選択し、 を押す

2 または を押して値を選択し、 を押す

露出補正は 0.5 単位で、－ 2.0EV から +2.0EV まで設定することができます。

シャープネス

シャープネスを調節して、被写体の輪郭を強調することができます。

1 アクティブ ツールバーから （シャープネス）を選択し、 を押す

2 または を押して鮮明度を選択し、 を押す

次の鮮明度が選択できます。

- - ハード
- - 標準（デフォルト）
- - ソフト

コントラスト

コントラストを調節して、被写体の明暗を強調することができます。

1 アクティブ ツールバーから （コントラスト）を選択し、 を押す

2 または を押して値を選択し、 を押す

受光感度

受光感度を上げると、フラッシュを使用しなくても暗い場所での撮影が可能となります。撮影場所が暗ければ暗いほど、それに従い受光感度を上げます。

1 アクティブ ツールバーから （受光感度）を選択し、 を押す

2 または を押して受光感度を選択し、 を押す

次の受光感度が選択できます。

- - **自動**（デフォルト）
- - **低**
- - **中**
- - **高**

静止画 / 動画の設定

静止画設定

静止画の設定メニューから、画質の調整や、撮影後静止画を表示するようにしたり、シャッター音などを設定したりすることができます。

静止画の設定は、次に設定を変更しない限りカメラを閉じてもそのまま保存されます。

設定はメインカメラ、第2カメラでそれぞれ異なります。

1 カメラ起動中に、オプション > 設定 を選択

> アプリ > カメラ > オプション > 設定 の順に選択することもできます。
次の設定をおこなうことができます。

- **静止画画質** - 静止画の画質を次の 5 種類から選択することができます。（メインカメラでのみ有効）
  - **印刷 5M ー大** - (解像度 2592x1944)
  - **印刷 3M ー中** - (解像度 2048x1536)
  - **印刷 2M ー中** - (解像度 1600x1200)
  - **E-mail 0.8M ー中** - (解像度 1024x768) E-mail で画像を送信する場合に選択
  - **MMS 0.3M ー小** - (解像度 640x480) MMS で画像を送信する場合に選択

  画像が高画質になるほど、メモリの消費量が増えます。画像を印刷する場合は **印刷 5M ー大**、**印刷 3M ー中**、**印刷 2M ー中** のいずれかを選択します。
- **アルバムに追加** - ｷﾞｬﾗﾘｰ のアルバムに画像を追加することができます。**はい** を選択すると、利用できるアルバムのリストが開きます。
- **撮影後の静止画確認** - 撮影直後に、撮影した静止画をビューファインダーに表示するには **オン** を選択します。
- **デフォルト静止画名** - 撮影する静止画のデフォルト名を **日付** または **テキスト** から選択します。
  - **日付** - 撮影した日付が表示されます。
  - **テキスト** - デフォルトになるファイル名を入力します。
- **拡大デジタルズーム** - **オン (一時停止)** を選択すると、拡大デジタルズーム領域に入る前にズームを一時停止します。**オン (連続)** を選択すると、拡大デジタルズーム領域まで連続してズームすることができます。ズーム範囲を限定し、解像度が下がるのを防ぎたい場合は **オフ** を選択します。(メインカメラでのみ有効)
- **シャッター音** - カメラのシャッター音を選択します。
- **使用するメモリ** - 静止画の保存先を選択します。
- **画像回転表示** - 画像を正しい方向に回転して保存したい場合に選択します。

- **カメラ設定リセット** - **はい** を選択するとカメラの設定をデフォルト値に戻します。

ビデオ設定

ビデオの設定メニューから、画質の調整や、撮影後ビデオを表示するようにしたり、デフォルトのビデオ名などを設定することができます。

ビデオ設定は、次に設定を変更しない限りカメラを閉じても設定はそのまま保存されます。

1 カメラ起動中に、オプション > 設定 を選択

> **アプリ** > **カメラ** > **オプション** > **設定** の順に選択することもできます。
カメラが静止画モードになっている場合は、**オプション** > **ビデオモード** を選択し、ビデオモードにします。
次の設定をおこなうことができます。

- **ビデオ画質** - ビデオクリップの品質を次の 5 種類から選択することができます。(メインカメラでのみ有効)**TV 高品質**、**TV 標準品質**、**E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質**、および **共有品質**
  - **TV 高品質**、**TV 標準品質** - VGA 解像度 (640x480) .mp4 ファイル形式でビデオを録画します。互換性のある PC や TV でビデオを再生する場合に適した品質です。MMS では .mp4 形式のビデオを送信することができない場合があります。
  - **E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質** - QVGA 解像度（320 x 240）、.mp4 ファイル形式でビデオを録画します。携帯電話でビデオクリップを再生する場合に適した品質です。
  - **共有品質** - QCIF 解像度 (176x144)、.3gp ファイル形式 でビデオを録画します。MMS を利用して、ビデオクリップを送信する場合に選択します。ビデオクリップの容量は、300 kB (時間にすると約 30 秒）に限られているので、MMS を利用して互換性のある機器へ送信するのに適しています。
- **手ブレ補正** - ビデオ録画中の手振れを低減するには、**オン** を選択します。（メインカメラでのみ有効）
- **録音** - ビデオと同時に音声を録音する場合は、**オン** を選択します。
- **アルバムに追加** - **ｷﾞｬﾗﾘｰ** のアルバムにビデオを追加することができます。**はい** を選択すると、利用できるアルバムのリストが開きます。
- **撮影後のビデオ確認** - 撮影直後に、撮影したビデオをビューファインダーに表示するには **オン** を選択します 。
- **デフォルトビデオ名** - 録画するビデオのデフォルト名を **日付** または **テキスト** から選択します。
  - **日付** - 撮影した日付が表示されます。
  - **テキスト** - デフォルトになるファイル名を入力します。

- **使用するメモリ** - ビデオの保存先を選択します。
- **カメラ設定リセット** - **はい** を選択すると、カメラの設定をデフォルト値に戻します。

カメラ起動中にギャラリーを開く

カメラを起動中に、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存した静止画やビデオを確認することができます。

1 レビューキー を押す

ギャラリーに最後に保存された画像が表示されます。

2 もう一度レビューキー を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダが開きます。

3 または を押して、確認する静止画、あるいはビデオを選択し、 を押す

撮影した静止画、あるいはビデオが表示されます。カメラに戻るには を長く押します。

撮影した静止画 / ビデオを編集する

撮影した静止画や **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存してある静止画にエディタ機能を利用して、クリップアートや文字を挿入したりすることができます。ビデオは、ビデオエディタを利用して、編集したり、カスタムビデオクリップを作成することができます。詳細については、「静止画ファイルを編集する」(P.134)、「ビデオファイルを編集する」(P.136) を参照してください。

撮影した静止画 / ビデオを送信する

撮影後に、ビューファインダーに表示されている静止画やビデオを、MMS、E-mail、Bluetooth 接続、赤外線通信を利用して送信することができます。.mp4 形式のビデオファイルは MMS で送信できない場合があります。

・ ギャラリーに保存されている静止画や、ビデオの送信については、「ファイルを送信する」(P.58) を参照してください。

カメラのオプション設定にある、**撮影後の静止画確認**（ビデオモードの場合は、**撮影後のビデオ確認**）を **オフ** にしている場合は、撮影直後、画像がビューファインダーに表示されません。(「静止画設定」P.126)

1 静止画やビデオを撮影する
「静止画の撮影」(P.116)、「動画の撮影」(P.120)

ビューファインダーに撮影した画像が表示されます。

2 アクティブ ツールバーから （送信）を選択

送信方法のリストが表示されます。 を押しても送信方法のリストを表示することができます。

- 通話中に通話相手に画像を送信する場合は、**(通話相手に送信)**を選択します。

次の送信方法を選択することができます。

- **MMS**
  詳細については、「MMS を作成 / 送信する」(P.86) を参照してください。



補足：MMS で送信可能なファイルサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。送信可能かどうかは MMS 設定に依存します。「MMS 設定」(P.93) を参照してください。携帯電話事業者が MMS 送信に推奨するよりも大きなサイズでファイルを送信したい場合は、Bluetooth 接続を使用してファイルを送信してください。

- **Bluetooth**
  詳細については、「Bluetooth 接続でデータを送信する」(P.184) を参照してください。
- **赤外線通信**
  詳細については、「赤外線通信」(P.186) を参照してください。
- **E-mail**
  詳細については、「E-mail を作成 / 送信する」(P.87) を参照してください。
- **Web に投稿**
  詳細については、「オンラインでファイルを共有する」(P.139) を参照してください。

ギャラリー

ギャラリーについて

ギャラリーの各フォルダに、静止画ファイル、ビデオファイル、音楽ファイル、プレイリスト、ストリーミングリンクなどを保存し、整理することができます。

・ ギャラリーでは、フォルダに保存してあるファイルの再生、コピー、および移動などをすることができます。(「ギャラリーの構成」P.56)
・ ギャラリーのアルバム機能を利用して、オリジナルのアルバムを作成したり、編集したりすることができます。(「アルバム」P.132)
・ ビデオファイル、音声クリップ、.ram ファイルは **RealPlayer** で再生します。(「RealPlayer」P.153) 音楽ファイルは、**ﾐｭｰｼﾞｯｸ** (ミュージックプレーヤー) で再生します。(「ミュージックプレーヤー」P.146)

■ ギャラリーのフォルダを開く

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > フォルダ

ギャラリーのフォルダを開き、保存されているファイルを確認します。

カメラで撮影した画像は、自動的にギャラリーに保存されます。



補足 : 他のアプリケーションを起動中に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に最後に保存された画像を見るには、本機側面にあるレビューキー を押します。もう一度レビューキーを押すと **画像とビデオ**フォルダが開きます。

各フォルダに保存されているファイルのリストが表示されます。



・ **画像とビデオ** フォルダでは 、または を押して各ファイルをプレビューすることができます。 、または を押して複数のファイル間を素早く移動することもできます。
・ 静止画を拡大するには、本機側面のズームキーを押します。拡大率が画面左下（ポートレートモードの場合は画面右上）に表示されます。この拡大率は本機には保存されません。
・ 静止画を回転するには、ファイルを開き、**オプション** > **回転** > **左** または **右** を選択します。

- ファイルがメモリカードに保存されている場合、画面に [icon] が表示されます。

補足：Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを利用して、ファイルを移動することが可能です。本機付属の DVD-ROM を参照してください。

■ ギャラリーのアクティブツールバー

画像とビデオ フォルダでは機能を選択する時のショートカットとしてアクティブ ツールバーを使用することができます。アクティブ ツールバーは画像やビデオクリップを開いた場合にのみ有効になります。アクティブ ツールバーをスクロールしてオプションを選択し、[●] を押して様々な機能を選択することができます。利用できるオプションは、状況や選択した画像またはビデオクリップによって異なります。また、アクティブ ツールバーを常に表示するか、キーを押して表示させるかを設定することができます。

アクティブツールバーを常時表示させる

1 **オプション** > **アイコン表示** を選択

アクティブツールバーを必要な時のみ表示させる

1 **オプション** > **アイコン非表示** を選択

アクティブ ツールバーを有効にするには、[●] を押します。

ギャラリーのアクティブツールバーで利用できる機能

[icon]	選択したビデオクリップを再生します。
[icon]	画像やビデオクリップをウェブサイトにアップロードします。(「オンラインでファイルを共有する」P.139)
[icon]	選択した画像やビデオクリップを送信します。
[icon] [icon]	印刷バスケットに画像を追加 / 削除します。(「印刷バスケット」P.138)
[icon]	表示している画像を印刷します。
[icon]	画像のスライドショーを開始します。
[icon]	選択した画像やビデオクリップを削除します。

静止画 / 動画ファイルの利用

> **ギャラリー** > **画像とビデオ**

■ 壁紙に設定する

1 壁紙に設定する画像 > オプション > 画像の使用 > 壁紙に設定 の順に選択

- 設定した壁紙を解除するには、「設定した壁紙を解除する」(P.194) を参照してください。

■ 画像を電話帳へ登録する

1 電話帳に登録する画像 > オプション > 画像の使用 > 電話帳へ登録 の順に選択

電話帳が開きます。

2 画像を登録する連絡先を選択し、OK を選択

■ アルバム

アルバムを利用して、**画像とビデオ** フォルダにある静止画やビデオを整理することができます。アルバムの作成は、**画像とビデオ** のフォルダからおこないます。

新規アルバムを作成する

1 オプション > アルバム > アルバム表示 の順に選択

アルバムのリストが表示されます。

- アルバムの内容を確認するには、アルバムを選択して、[■] を押します。画面にアルバムにあるファイルのサムネイルが表示されるので、ナビゲーションキーを使用して、それぞれのファイルを確認することができます。

2 オプション > 新規アルバム を選択

アルバムの名前を入力する画面が表示されます。

3 アルバムの名前を入力し、OK を選択

4 ギャラリーを開いて、アルバムに追加する画像ファイルを選択

5 オプション > アルバム > アルバムに追加 の順に選択

6 追加先のアルバム > OK を選択

ファイルがアルバムに追加されます。

- アルバムからファイルを削除するには、アルバムを開いて削除するファイルを選択し、C を押します。アクティブツールバーからも削除することができます。
- ファイルはアルバムから削除されますが、**画像とビデオ** フォルダからは削除されません。

■ スライドショー

静止画ファイルを全画面モードで表示して、スライドショーを実行することができます。

スライドショーを開始する

1 静止画を選択し、オプション > スライドショー > 開始 を選択、または、静止画を開きアクティブツールバーで （スライドショー開始）を選択

スライドショーが開始されます。
縦長の静止画の場合、「スライドショーの速度 / ズームを設定する」の **ズームおよびパン** を **オフ** にすると全体が表示されます。

スライドショーの操作

スライドショー再生中に を押すと、画面上に **終了** と **一時停止** が表示されます。

- **一時停止** - スライドショーを一時停止します。
- **再生続行** - 一時停止したスライドショーの再生を続行します。
- **終了** - スライドショーを終了します。
- 画像を手動で送るには、 または を押します。

スライドショーに音楽を挿入する

スライドショー再生時のバックグラウンドミュージックを設定することができます。

1 オプション > スライドショー > 設定 > ミュージック > オン の順に選択

メッセージが表示されます。

2 はい を選択

ミュージックフォルダにある、音楽ファイルリストが表示されます。

3 設定する音楽ファイルを選択し、選択 を選択

- 音量の調節は、本機側面にある音量調節キーを押します。

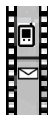
スライドショーの速度 / ズームを設定する

1 オプション > スライドショー > 設定 の順に選択

- **スライド間隔** - スライドショーの速度を設定します。
- **ズームおよびパン** - スライドショーで画像の流れをスムーズにし、画像のズームイン、ズームアウトをランダムにおこなうようにするには **オン** を選択します。

静止画 / 動画ファイルの編集

- **画像とビデオ**フォルダには、画像ファイル、およびビデオファイルがループ状に配置されています。 または、 を押して各ファイルをプレビューします。
- 静止画ファイルやビデオファイルはメールや MMS の添付ファイルとして、また Bluetooth 接続や赤外線通信を利用して受信することができます。受信した静止画ファイルを **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に表示したり、ビデオファイルを **RealPlayer** で再生したりするには、電話機メモリ、または本機に挿入されているメモリカードに保存する必要があります。



- ビデオファイルに封筒アイコンが表示される場合、MMS で送信が可能です。
- ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ に保存されているビデオクリップはｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダには表示されません。ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ のビデオクリップを見るには、「ビデオセンタ」(P.231) を参照してください。

静止画ファイルを編集する

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存してある静止画に、編集機能を利用して、クリップアートや文字などを挿入することができます。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 編集する静止画 > オプション > 編集 > オプション > 効果適用

静止画を切り取る

1 切り取り「 」を選択

切り取り枠のサイズリストが表示されます。

2 サイズを選択 > OK を選択

静止画に四角い選択枠が表示されます。

- 、または を使用して選択枠の大きさを調整することができます。
- 選択枠の右下は、画像に固定されており、動かすことができません。
- **キャンセル**を選択すると、編集画面に戻ります。

3 サイズが決定したら 設定 を選択

選択枠の左上が固定されます。

- 選択を取り消すには、**戻る** を選択します。
- 、または を使用して選択枠の右下を動かし、大きさを調整することができます。

4 もう一度 設定 を選択

- ナビゲーションキーを使用して、選択枠の位置を調整することができます。
- サイズで **手動** を選択した場合は、**設定** は表示されず、**切り取り** が表示されます。

5 切り取り を選択

画像が切り抜かれます。

- 切取りを取り消すには、**オプション** > **取消し** を選択します。編集画面に戻ります。

6 戻る を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

赤目補正をする

1 赤目補正「 」を選択

静止画に十字型のカーソルが表示されます。

- **キャンセル** を選択すると、編集画面に戻ります。

2 ナビゲーションキーを使用して目の位置に合わせ、 を押す

静止画にループ枠が表示されます。

- **オプション** > **取消し** を選択するとカーソルが十字型に戻ります。

・ **オプション** > **効果キャンセル** を選択すると、編集画面に戻ります。

3 ナビゲーションキーを使用してループ枠を目のサイズに合わせて、完了 を選択

・ **オプション** > **取消し** を選択するとカーソルが十字型に戻ります。

4 戻る を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

静止画にクリップアートを挿入する

1 クリップアート 「 」を選択

クリップアートのリストが表示されます。

2 ナビゲーションキーを使用してクリップアートを選択

静止画に選択したクリップアートと、十字型のカーソルが表示されます。

・ **キャンセル** を選択すると、クリップアートの位置が確定されます。

3 ナビゲーションキーを使用してクリップアートを移動し、OK を選択

・ **オプション** > **効果キャンセル** を選択すると編集画面に戻ります。

4 もう一度、完了 を選択

・ **オプション** > **取消し** を選択すると編集画面に戻ります。

5 戻る を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

静止画にテキストを追加する

1 文字「 A 」を選択

テキストの入力画面が表示されます。

・ **キャンセル** を選択すると、編集画面に戻ります。

2 テキストを入力し、OK を選択

入力する文字が確定されます。

3「静止画にクリップアートを挿入する」(P.135)の操作 3 から操作 5 をおこなう

静止画にフレームを挿入する

1 フレーム「 」を選択

2 または を押してフレームを選択し、OK を選択

3 戻る を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

編集中のオプション

・ 編集画面の静止画を全画面表示 / 標準画面表示にするには、 * を押します。

・ 編集画面の静止画を左右に回転させるには、 3 、または 1 を押します。

・ 編集画面の静止画を拡大するには、 5 を押し、拡大した画像を縮小するには、 0 を押します。

ビデオファイルを編集する

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存してあるビデオファイルを編集したり、カスタムビデオクリップを作成することができます。

ビデオ編集では .3gp と .mp4 形式のビデオファイルと、.aac、.amr、.mp3、.wav 形式の音楽ファイルをサポートしています。

補足 : MMS で送信できないサイズが大きいビデオクリップは、Bluetooth で送信することができます。Bluetooth、データケーブル、互換性のあるメモリカードリーダーを使用して、ビデオクリップを互換性のある PC へ送信することもできます。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 編集するビデオ > オプション > 編集

画像やビデオの結合

ビデオクリップに画像やビデオを追加します。

1 **結合 > 画像 またはビデオクリップ を選択**
2 **追加する画像やビデオクリップを選択**

サウンド変更

ビデオクリップに新しいサウンドを追加し、オリジナルのサウンドクリップと置き換えます。

1 **サウンド変更 を選択**
2 **追加するサウンドクリップを選択**

- サポートされていないサウンドクリップがあります。

テキスト追加

ビデオクリップの初めや終わりにテキストを追加します。

1 **テキスト追加 を選択**
2 **追加するテキストを入力 > OK を選択**
3 **始め または 終わり を選択**

テキストを追加する場所を選択します。

ビデオクリップのカット

ビデオクリップに開始マークや終了マークを追加して、ビデオクリップをトリムすることができます。

1 **カット を選択**

クリップカット画面が開きます。

- 選択したビデオクリップを始めから再生するには **オプション** > **再生** を選択します。
- 再生を一時停止するには、 を押します。再生を再開するには、**再生** を選択します。クリップカット画面に戻るには、**停止** を選択します。
- 再生中に音量を調節するには、 または を押します。

補足 : ビデオクリップのスナップショットを撮影するには、 を押すか、または **オプション** > **ｽﾅｯﾌﾟ ｼｮｯﾄ撮影** を選択します。

2 [icon] **または** [icon] **を押してタイムライン上の開始、または終了位置までスクロールする**

3 **オプション > 開始マーク または 終了マーク を選択**

- 開始マークや終了マークを編集するには、タイムライン上の変更したい位置までスクロールし、**オプション** > **開始マーク** または **終了マーク** を選択します。
- マークを削除するには、**オプション** > **削除** > **開始マーク**、**終了マーク** または **すべてのマーク** の順に選択します。
- トリムしたビデオクリップをプレビューするには **オプション** > **マーク範囲再生** を選択します。

4 **完了 を選択**

カットしたビデオクリップが **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。

画像を印刷する

1 [icon] **> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ の順に選択**

2 **印刷する画像を選択し、**[icon] **を押す**

3 **アクティブ ツールバーから** [icon] **(印刷) を選択**

- **オプション** > **印刷** > **印刷** の順に選択することもできます。

画像の編集画面の印刷オプションから、画像を印刷することもできます。

データケーブル、無線 LAN、Bluetooth 接続、あるいは互換性のあるメモリカード（プリンタ側で利用可能な場合）を利用して、プリンタと本機を接続し、画像を印刷することができます。

印刷できるのは、.jpg 形式のファイルに限られます。カメラで撮影した画像は、自動的に .jpg ファイル形式で保存されます。

PictBridge 対応プリンタで印刷する場合は、本機とプリンタを USB ケーブルで接続してから、本機からの印刷オプションを選択してください。

プリンタを選択する

はじめて印刷をする場合、印刷する画像を選択した後に、利用可能なプリンタのリストが表示されます。

本機と PictBridge 対応プリンタを DKE-2 データケーブルで接続した場合、そのプリンタが自動的に選択され画面に表示されます。

デフォルトプリンタが使用できない場合には、他の利用可能な印刷機器が表示されます。詳細については「プリンタの設定」(P.138) を参照してください。

印刷プレビュー

ギャラリーから画像を印刷する場合、印刷プレビューを表示することができます。

印刷するために選択した画像は、定型のレイアウトで画面に表示されます。印刷レイアウトを変更する

には、左右のナビゲーションキーを使用して、選択したプリンタで利用できるレイアウトをスクロールします。1 ページに収まらない画像を選択した場合は、 または を押してスクロールすると、他のページも表示されます。

プリンタの設定

印刷で利用できるオプションは、選択したプリンタの機能により異なります。

> ギャラリー > 画像とビデオ > 印刷する画像 > > アクティブ ツールバーから (印刷)

・ 印刷する画像 > > **オプション** > **印刷** > **印刷** の順に選択することもできます。

デフォルトプリンタを設定する

デフォルトはメモリカードに設定されています。

1 オプション > 設定 > デフォルトプリンタ の順に選択

次のオプションが選択できます。

- **Bluetooth プリンタ**
- **メモリカード**
- **USB**
- **WLAN プリンタ**

2 設定するプリンタを選択 > OK を選択

用紙のサイズを選択する

1 オプション> 設定 > 用紙サイズ の順に選択

2 用紙サイズを選択 > OK を選択

1 ページに印刷する画像数を設定する

1 オプション > 設定 > 画像数 / ページ の順に選択

2 画像数を選択 > OK を選択

コピー枚数を設定する

1 オプション > コピー数 を選択

2 または を押して枚数を選択 > OK を選択

印刷バスケット

画像を印刷バスケットに入れておき、後で互換性のあるプリンタやキオスク端末で印刷することができます。「画像を印刷する」(P.137) を参照してください。印刷バスケットに入れた画像を **画像とビデオ** フォルダやアルバムで見ると、画像の左上部に アイコンが表示されます。

> ギャラリー > 画像とビデオ

印刷バスケットに画像を追加する

1 後で印刷する画像を選択し、 を押す

2 アクティブ ツールバーから (印刷バスケットに追加) を選択

- 印刷バスケットの画像を確認するには、**画像とビデオ** フォルダで印刷バスケットアイコン ( ) を選択します。印刷バスケットに画像を

追加している場合にのみ、このアイコンが表示されます。
- カメラから直接撮影した静止画を印刷バスケットに入れることができます。(「撮影した静止画を印刷バスケットに入れる」P.118)

印刷バスケットから画像を削除する

1 **画像とビデオ フォルダで (印刷バスケットアイコン) を選択し、を押す**

2 **印刷バスケットから削除する画像を開く**

- アルバムから画像を選択する場合は、**オプション** > **アルバム** > **アルバム表示** > 印刷バスケットから削除する画像の順に選択します。

3 **アクティブ ツールバーから (印刷バスケットから削除) を選択**

確認のメッセージが表示されます。

4 **はい を選択**

印刷バスケットの画像を印刷する

1 **画像とビデオ フォルダで (印刷バスケットアイコン) を選択し、を押す**

2 **印刷する画像を選択した状態で、オプション > 印刷 > 印刷 を選択**

- **オプション** > **マーク / マーク解除** を選択し、一度に複数の画像を印刷することもできます。

オンラインでファイルを共有する

ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ を利用するには、別途オンライン画像共有サービスを提供しているサービスプロバイダと契約し、ご自分のアカウントを作成する必要があります。通常、サービスプロバイダのウェブページから申し込むことができます。詳細については「シェアオンライン」(P.213) を参照してください。

ファイルをウェブにアップロードする

1 **アップロードするファイル > オプション > 送信 > Web に投稿 の順に選択**

- アップロードするファイルを開き、アクティブツールバーから を選択し、ウェブにアップロードすることもできます。
- アカウントを作成するには、**オプション** > **新規アカウント追加** を選択します。

ウェブにアップロードしたファイルを見る

1 **オプション > ｵﾝﾗｲﾝｻｰﾋﾞｽを開く を選択**

音楽ファイル / ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟの利用

音楽ファイルは、**ミュージック** フォルダの中に保存されます。効果音などのサウンドクリップは、**ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ** フォルダに保存されます。ミュージックフォルダから、プレイリストを作成したり、サウン

ドクリップフォルダから好きな音楽ファイルを着信音に設定したりすることができます。

> ギャラリー > ミュージック > ミュージック

■ プレイリスト

プレイリストについては、「ミュージックプレーヤー」の「プレイリスト」(P.149) を参照してください。

■ 音楽データをインポートする

音楽データのインポートについては、「サウンドファイルの利用」(P.109) を参照してください。

■ サウンドクリップを着信音に設定する

1 **> ギャラリー > サウンドクリップ の順に選択**
2 **着信音に登録するサウンドクリップ > オプション > 音使用 > 電話帳へ登録、または 着信音に設定 の順に選択**

電話帳、またはモード選択画面が表示されます。

3 **電話帳、またはモードを選択し、◉ を押してチェックマークをつける / 取る**

チェックマークをつけた電話帳、またはモードの着信音が変更されます。

・「音の設定」(P.198) を参照してください。

プレゼンテーション

プレゼンテーション フォルダには、SVG ファイル (スケーラブルベクターグラフィクスファイル) を保存することができます。SVG ファイルは様々なサイズや解像度で、最適な表示や印刷が可能です。

> ギャラリー > プレゼンテーション

■ SVG ファイルを再生する

1 **表示するファイルを選択 > ◉ を押す**

- オプション > 再生 を選択してもファイルが表示されます。

■ SVG ファイルを拡大する

1 **拡大するファイルを選択 > ◉ を押す**

SVG ファイルが開き、画面にカーソルが表示されます。

2 **ナビゲーションキーを使用してカーソルを拡大したい部分に合わせて、オプション (╭) > ズームイン を選択**

- 拡大したファイルを元のサイズに戻すには、戻る を選択します。
- 拡大したファイルを一つ前のサイズに戻すには、オプション > ズームアウト を選択します。
5 または 0 を押してもズームイン、ズームアウトすることができます。

- ファイルを全画面表示するには、**オプション** > **全画面表示** を選択します。標準画面表示に戻すには、**オプション**（ ╭ ）> **標準画面表示** を選択します。
- 画像を左右に 90 度回転させるには、[1] または [3] を、45 度回転させるには、[7] または [9] を押します。

TV 出力モード

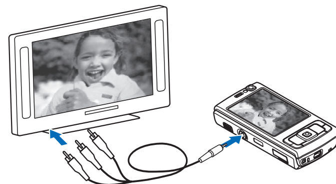
本機と互換性のあるテレビをビデオ出力ケーブルで接続し、撮影した画像やビデオをテレビで見ることができます。

テレビで画像やビデオを見る前に、テレビのアスペクト比など TV 出力の設定をおこなう必要があります。(「TV 出力」 P.203)

■ テレビで画像やビデオを見る

1 ビデオ出力ケーブルを互換性のあるテレビのビデオ入力端子と、本機の AV コネクタに接続

アクセサリ選択画面が表示された場合は、**TV 出力ケーブル** を選択します。



2 ⚙ > ギャラリー > 画像とビデオ > 表示するファイルの順に選択

- 静止画はイメージビューアで表示し、ビデオは RealPlayer で再生します。
- 本機にビデオ出力ケーブルが接続されている場合、ビデオクリップのステレオサウンド、着信音、キー確認音を含む全ての音声はテレビから出力されますが、本機のマイクは通常通り使用することができます。
- 画像を選択すると、テレビに全画面表示されます。サムネイル表示で画像を開きテレビで見ている場合、**ズームイン** はできません。
- ハイライトされたビデオクリップを開いた場合、**RealPlayer** は本機とテレビの両方でビデ

オクリップを再生します。(「RealPlayer」P.153)

ｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダや **RealPlayer** 以外の全てのアプリケーションでも、本機の画面に表示されている内容がテレビ画面にそのまま表示されます。

テレビで画像のスライドショーを見ることができます。スライドショーでは設定した音楽を再生しながら、アルバム内の全てのファイルや選択した画像をテレビに全画面表示することができます。(「スライドショー」P.132)

ホームメディア

本機は UPnP(Universal Plug and Play) に対応しています。無線 LAN アクセスポイント機器や、無線 LAN ルータを使用してホームネットワークを構築し、無線 LAN をサポートしている互換性のある UPnP 機器と接続することができます。

ホームネットワークでは無線 LAN 接続のセキュリティ設定を使用します。無線 LAN アクセスポイント機器と暗号化が使用可能な無線 LAN ネットワークで、ホームネットワーク機能を使用します。

ホームネットワークを利用して、例えば互換性のある UPnP 機器のメディアファイルを本機で表示させることができます。本機のメディアファイルを他の機器で表示 / 再生する機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。



重要： 無線 LAN 接続のセキュリティを向上させるために、利用可能な暗号化手段のいずれかを常に有効にしておいてください。暗号化を使用すると、データへの不正アクセスのリスクが軽減されます。

ホームネットワーク接続中に次の操作をすることができます。

- 他の互換性のある機器からの接続要求を受け入れる。
- ホームネットワーク上の他の機器のメディアファイルを本機で表示 / 再生する。

■ 重要なセキュリティ情報

無線 LAN ホームネットワークを設定する場合、まずアクセスポイント機器で暗号化を有効にし、次にホームネットワークに接続する他の機器で暗号化を有効にします。詳細は機器の取扱説明書を参照してください。パスコードは他人に知られないように注意し、機器とは別の安全な場所に保管してください。

本機の無線 LAN インターネットアクセスポイント設定の確認や変更については、「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.207) を参照してください。

アドホック オペレーティングモードを使用して、互換性のある機器でホームネットワークを構築する場

合、 > **ツール** > **設定** > **接続** > **アクセスポイント** > アクセスポイントを選択 > **WLAN セキュリティモード** で利用可能な暗号化方式を選択してください。これにより、アドホックネットワークへの不要な接続のリスクを軽減することができます。

他の機器が本機やホームネットワークに接続しようとすると、本機に通知されます。身元不明の機器の接続要求を受け入れないでください。

暗号化されていないネットワークで無線 LAN を使用する場合、他の機器とのファイル共有をオフに設定するか、個人的なメディアファイルを共有に設定しないでください。共有設定の変更については 「ホームメディアの設定」(P.143) を参照してください。

■ ホームメディアの設定

無線 LAN を利用して互換性のある UPnP 機器のメディアファイルを本機で表示させるには、無線 LAN ホームインターネットアクセスポイントを作成、設定し、**ホームメディア** アプリケーションの設定をおこなう必要があります。「無線 LAN」(P.179)、と「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.207) を参照してください。

ホームメディア の設定をおこなうと、**ギャラリー** に **ホームメディア** 関連のオプションが表示されますが、この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

最初に **ホームメディア** アプリケーションにアクセスする場合、設定ウィザードが起動するので、ウィザードを利用してホームメディアの設定をおこないます。設定ウィザードを後で利用する場合、 > **ツール** > **外部接続** > **ホームメディア** > **オプション** > **ウィザード実行** の順に選択し、手順に従って設定してください。

ホームメディア設定

> ツール > 外部接続 > ホームメディア > オプション > 設定

次の設定をおこなうことができます。

- **ホームアクセスポイント** - ホームネットワークに接続するごとにホームアクセスポイントを確認するには、**常に確認** を選択します。**ホームメディア** 利用時に自動的に使用されるアクセスポイントを新たに設定するには、**新規作成** を選択します。ホームネットワークで無線 LAN セキュリティ設定を有効にしていない場合、セキュリティ警告が表示されます。操作を続けておこない、後で無線 LAN セキュリティをオンに変更することもできます。また、アクセスポイントの設定を中止して、先に無線 LAN セキュリティをオンに変更することもできます。「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.207) を参照してください。
- **自機名称** - ホームネットワーク接続時に、他の互換性のある機器に表示される本機の名前を設定します。

- **コピー先** - **メモリカード**、または **電話機メモリ** を選択し、ホームネットワーク上の他の機器からメディアファイルを本機にコピーした場合の保存先を設定します。

共有設定

ツール > **外部接続** > **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** > **ｺﾝﾃﾝﾂ共有**

次の設定をおこなうことができます。

- **ネットワークでの公開** - **電話機公開** または **電話機非公開** を選択し、互換性のある機器から本機のメディアファイルを参照するかどうかを設定します。他の設定をすべて終えるまで **電話機公開** に設定しないでください。**電話機公開** に設定すると、ホームネットワーク上の他の UPnP 機器から、本機の **画像とビデオ**フォルダ内の共有に設定されたファイルを見たり、コピーしたりできるようになります。
- **画像とビデオ** - 他の機器と共有するメディアファイルの選択や、**画像とビデオ** の共有状況の確認をおこないます。
- **ミュージック** - 他の機器と共有する音楽ファイルの選択や、共有状況の確認をおこないます。
- フォルダのコンテンツを更新するには **オプション** > **コンテンツ更新** を選択します。

メディアファイルの利用と共有

本機で **ネットワークでの公開** を **電話機公開** に設定している場合、**ｺﾝﾃﾝﾂ共有** で共有に設定した本機のメディアファイルに、ホームネットワーク上の他の UPnP 対応機器からアクセスできます。他の機器が本機のファイルにアクセスできないようにするには、**ネットワークでの公開** を **電話機非公開** に設定します。本機で **ネットワークでの公開** を **電話機非公開** に設定した場合でも、ホームネットワーク上の他の機器の共有に設定されたメディアファイルを見ることができます。

本機に保存されているメディアファイルを、他の UPnP 機器で見る機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

他の機器に保存されているメディアファイルを見る

ホームネットワーク上の他の機器に保存されているメディアファイルを選択し、本機で見るには、次の設定をおこないます。

1 **> ツール > 外部接続 > ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ > ﾎｰﾑﾈｯﾄﾌﾞﾗｳｽﾞ の順に選択**

他の互換性のある機器の検索を開始し、機器の名前が表示されます。

2 **一覧から機器を選択**

3 **選択した機器で見たいメディアの種類を選択**

表示されるファイルの種類は機器によって異なります。

4 メディアファイル、またはフォルダを選択し、オプション > 表示、または 再生 を選択

5 電話機、または ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸ経由 を選択

- ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸ経由 を選択した場合の機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

メディアファイルの共有を停止するには、オプション > 停止、または 戻る を選択します。

ファイル形式や無線 LAN ネットワークの接続形態などによっては、ファイルの表示や再生ができない場合があります。

別の条件でファイルを検索するには、オプション > 検索 を選択します。ファイルの検索結果の表示順を並べ替えるには、オプション > 並べ替え を選択します。機器によっては、このオプションが表示されない場合があります。

メディアファイルのコピー

本機のファイルをコピー / 転送する機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

他の機器のファイルを本機へコピーする

1 > ツール > 外部接続 > ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ > ﾎｰﾑﾈｯﾄﾌﾞﾗｳｽﾞ の順に選択

他の互換性のある機器の検索を開始し、機器の名前が表示されます。

2 一覧から機器を選択

3 メディアの種類 > コピーするファイルを選択

4 オプション > コピー を選択

設定 > コピー先 で指定したコピー先にファイルがコピーされます。

- ｺﾝﾃﾝﾂ共有 をオンにする必要はありません。

メディア プレーヤー

本機には、ミュージックプレーヤー、RealPlayer、Flash プレーヤーの３種類のメディアプレーヤーが搭載されています。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを利用して、音楽ファイルを再生したり、プレイリストを作成し、登録した音楽ファイルを再生したりすることができます。

ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｰﾔｰ は AAC、AAC+、eAAC+、MP3、WMA といった形式のファイルをサポートしています。ただし、すべてのファイル形式や、ファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。

ミュージックプレーヤーを利用してポッドキャストを聞くことができます。ポッドキャスティングとは、RSS や ATOM 技術を使用し、インターネットを介してオーディオやビデオコンテンツを配信し、携帯機器や PC で再生できる仕組みのことです。



警告：音楽を聞く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聞き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

本機への音楽ファイル追加については、「音楽ファイルの転送」(P.151) を参照してください。

著作権保護については、「著作権管理」(P.211) を参照してください。

■ 音楽ファイルを再生する

ミュージックプレーヤー を起動すると、プレイリスト、または以前に再生した音楽ファイルが画面に表示されます。



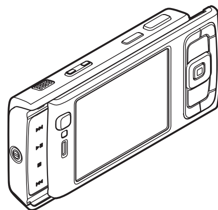
補足：ミュージックプレーヤーを起動するには、◇ を長く押します。◇ を短く押してマルチメディアメニューからミュージックプレーヤーを選択することもできます。(「マルチメディアメニュー」P.40)

1 **> ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ミュージック を選択**



補足：背後へ を選択すると１つ前の画面に戻ります。

2 **本機前面部を下にスライドさせ、メディアキーを開く**



3 メニューから すべての曲、プレイリスト、アーティスト、アルバム、ジャンル、または 作曲者 フォルダを選択

4 再生する音楽ファイル、またはプレイリストを選択し、▶ II を押す

補足：ナビゲーションキーを使用して操作することもできます。

5 ミュージックプレーヤーを終了するには、オプション > 終了 を選択

キー操作

機能	操作
前後のファイルを再生	⏮ または ⏭ を押す
早送り	⏭ を長く押す
巻き戻し	⏮ を長く押す
停止	■ を押す
一時停止	▶ II を押す
音量を調整	音量調節キー ◀ または ▶ を押す

再生中にできること

音楽ファイルを再生中、あるいはミュージックプレーヤーの表示画面から、再生モードを設定したり、再生中の音楽を着信音に設定したりすることができます。



再生しながら待受画面に戻る

1 音楽ファイルを再生中に を押す

待受画面に戻ります。

- 再生中に を 2 回押しても待受画面に戻ります。 を長く押し、他の起動中のアプリケーションを選択することもできます。

補足：待受画面からミュージックプレーヤーに戻るには、 > ミュージック > ミュージック を選択してください。

再生モードの選択

ランダム再生と繰り返し再生を選択することができます。

ランダム再生

1 オプション > シャッフル > オン の順に選択

繰り返し再生

1 オプション > 繰り返し を選択

次の種類を選択することができます。

- **すべて繰り返し** - プレイリストにある音楽ファイルを繰り返し再生します。
- **1 曲繰り返し** - 選択した 1 曲を繰り返し再生します。
- **オフ**

アイコン

- - すべて繰り返し
- - 1 曲繰り返し
- - シャッフル

イコライザ

周波数プリセットを選択し、音楽ファイル再生時の音質を変更することができます。

1 オプション > イコライザ > 設定するプリセットを選択 > ◙ > 使用開始 の順に選択

- プリセットを編集するには、編集するプリセット > **オプション** > **編集** の順に選択し、グラフィックイコライザを調節します。
- 新規プリセットを作成するには、**オプション** > **新規プリセット** > プリセット名を入力 > **OK** を選択します。

オーディオ設定

バランス、**ラウドネス**、**サラウンド** を変更することができます。

1 オプション > オーディオ設定 を選択

視覚化

音楽ファイルの再生中にビジュアライゼーションを表示することができます。

1 オプション > 視覚効果表示 > 視覚効果を選択

プレイリストに追加する

「プレイリストに音楽ファイルを追加する」(P.150)を参照してください。

着信音に設定する

着信音に設定できない音楽ファイルもあります。

1 オプション > 着信音に設定 を選択

メッセージが表示され、現在使用中のモードの音声電話着信音が変更されます。

■ ミュージックライブラリを利用する

> ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ミュージック

ミュージックプレーヤーの音楽ファイルは、ミュージックライブラリに保存されます。ミュージックライブラリからミュージックリストを作成し、リストに音

楽ファイルを追加したり、削除したりすることができます。

再生中 画面からミュージックライブラリを開くには、**オプション** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸﾒﾆｭｰを開く** を選択します。

ミュージックライブラリが表示されます。ミュージックライブラリは次のフォルダで構成されています。

- **すべての曲** - 本機に保存されているすべての音楽ファイルがリストされます。
- **プレイリスト** - 作成したプレイリストごとに表示します。
- **アーティスト** - アーティストごとに表示します。
- **アルバム** - アルバムごとに表示します。
- **ジャンル** - ジャンルごとに表示します。
- **作曲者** - 作曲者ごとに表示します。

ミュージックライブラリを更新する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新します。

1 > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **オプション** > **更新** を選択

更新が完了するとメッセージが表示されます。

ミュージックライブラリの詳細を表示する

1 **ミュージックライブラリで、オプション > ﾐｭｰｼﾞｯｸﾗｲﾌﾞﾗﾘ詳細 を選択**

ミュージックライブラリ詳細リストに **曲数**、**時間**、**電話機メモリ**、**メモリカード** (メモリカードが挿入されている場合)、**更新** の日付が表示されます。

音楽ファイルを削除する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新してください。(「ミュージックライブラリを更新する」P.149)

1 **すべての曲 を選択 > ■ > 削除するファイルを選択**

2 **オプション > 削除 を選択**

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい を選択**

■ プレイリスト

自分の好きな曲をプレイリストに登録し、再生することができます。

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ミュージック** > **プレイリスト**

プレイリストには、新規で追加したプレイリストの他に次のリストが表示されます。

- **再生回数最多曲**
- **最近再生した曲**
- **追加履歴**

プレイリストを作成する

1 オプション > 新規プレイリスト作成 を選択

2 プレイリスト名を入力し、OK を選択

音楽ファイルを追加するかどうか確認のメッセージが表示されます。**はい** を選択すると、プレイリストに追加するファイルの選択画面が表示されます。



補足 : メモリカードが挿入されている場合、プレイリストはメモリカードに保存されます。

プレイリストに音楽ファイルを追加する

1 音楽ファイルを追加するプレイリストを開く > オプション > 曲の追加 を選択

ミュージックフォルダに保存されている音楽ファイルのアーティスト名の一覧が表示されます。アーティストを選択し、 を押すと、そのアーティストの音楽ファイルの一覧が表示されます。 を押すと、一覧を非表示にします。

2 リストから追加するファイルを選択 > を押す

3 完了 を選択

プレイリストにファイルが追加されます。

プレイリストの再生順を変更する

1 再生順を変更するプレイリストを選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 再生順を変更したいファイルを選択 > オプション > リスト整理 を選択

ファイルが選択されます。

3 または でファイルを移動 > 保存 を選択

再生順が変更されます。

- 続けて再生順を変更する場合は、変更するファイル > **選択** > ファイルを移動 > **保存** を選択します。

4 完了 を選択

プレイリストから音楽ファイルを削除する

1 音楽ファイルを削除するプレイリストを選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 削除する音楽ファイルを選択 > オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 はい を選択

プレイリストからファイルが削除されます。

プレイリストを削除する

この操作で削除されるのはプレイリストのみで、プレイリスト内の音楽ファイルは本機からは削除されません。

1 削除するプレイリストを選択 > オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

- 削除するプレイリストを選択して、C を押しても削除できます。

2 はい を選択

その他の設定

ミュージックライブラリにあるすべての曲フォルダから、音楽ファイルを削除したり、整理したり、着信音に設定したりすることができます。

1 > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ミュージック > すべての曲 の順に選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 オプション を選択

次の機能を利用することができます。

- **「再生中」を開く** - 再生中の操作画面が開きます。
- **再生** - ホームネットワークが設定されている場合に表示されます。この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。
- **送信** - **MMS**、**E-mail**（設定してある場合）、**Bluetooth**、**赤外線通信**、**Web に投稿** を利用してファイルを送信します。**Web に投稿** については「オンラインでファイルを共有する」(P.139) を参照してください。
- **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸにｺﾋﾟｰ** - ホームネットワークが設定されている場合に表示されます。この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。
- **削除**
- **マーク / マーク解除**
- **曲の詳細** - 音楽ファイルの詳細情報を確認します。
- **アルバムアート** - トラックごとに再生中画面に表示する画像を選択することができます。

音楽ファイルの転送

■ 音楽を転送する

本機と互換性のある USB ケーブルや Bluetooth 接続を使用して、互換性のある PC や他の対応機器から音楽を転送することができます。Bluetooth については、「Bluetooth 接続」(P.182) を参照してください。

本機のミュージックセレクションを変更した後にライブラリを更新するには、ミュージックメニューで、**オプション** > **更新** を選択します。

音楽の転送に必要な PC の環境は次のとおりです。

・ Microsoft Windows XP オペレーティングシステム (または Microsoft Windows XP 以降)
・ Windows Media Player アプリケーション対応バージョンであること。
・ Nokia Nseries PC Suite をご使用の場合は、同梱の DVD-ROM からインストール。

PCから音楽を転送する

音楽の転送には、次の3つの方法があります。

- 本機を外付けハードドライブとしてPCに表示し、本機対応USBケーブル、またはBluetooth接続を使用してデータファイルを転送します。USBケーブルを使用する場合は、接続モードに**データ転送**を選択します。本機対応のメモリカードを本機に挿入する必要があります。
- 音楽データをWindows Media Playerと同期します。同期するには、本機対応USBケーブルを接続し、接続モードに**ﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｰﾔｰ**を選択します。本機対応のメモリカードを本機に挿入する必要があります。
- Nokia Nseries PC SuiteのNokia Music Managerを使用します。本機対応USBケーブルを接続し、接続モードに**PC Suite**を選択します。

デフォルトのUSB接続モードを変更するには、 > **ツール** > **外部接続** > **USB** > **USBモード**の順に選択します。

Windows Media PlayerとNokia Nseries PC SuiteのNokia Music Managerは、音楽ファイルを転送するのに最適化されています。Nokia Music Managerでの音楽の転送については、Nokia Nseries PC Suiteのヘルプを参照してください。

Windows Media Playerで音楽を転送する

音楽データを同期する機能は、Windows Media Playerアプリケーションのバージョンによって異なります。詳しくは、Windows Media Playerのユーザーガイドやヘルプを参照してください。本機とのご利用はWindows Media Player 11が推奨されます。本書ではWindows Media Player 11の操作手順を記載しています。

手動で同期する

本機と互換性のあるPCを接続し、本機のメモリが不足している場合は、Windows Media Playerは、自動的に手動同期を選択します。手動で同期するには、移動、コピー、または削除する音楽やプレイリストを選択します。

最初に本機を互換性のあるPCと接続した時に、Windows Media Playerに表示される本機の名称を入力する必要があります。

1. **本機をWindows Media Playerと接続後、本機の他に接続されている機器がある場合は、右枠の機器リストから本機を選択**
2. **左側のナビゲーション枠で、PCに保存されている音楽ファイルから同期するファイルを選択**
3. **同期する音楽ファイルを右の「同期リスト」にドラッグしてドロップ**

- 本機の利用可能なメモリ容量が「同期リスト」の上に表示されます。

4 音楽やアルバムを削除する場合は、「同期リスト」から削除するアイテムを選択 > 右クリック > 「リストから削除」を選択

5「同期の開始」をクリックして同期を開始

自動で同期する

1 Windows Media Player で自動同期をおこなうには、「同期」タブをクリックし、「Nokia N95」> 「同期の設定」を選択し、「このデバイスを自動的に同期させる」チェックボックスにチェックを付ける

2「使用可能な再生リスト」枠で、自動で同期したいプレイリストを選択し、「追加」をクリック

選択したアイテムは、「同期させる再生リスト」枠に移動します。

3 自動同期を終了するには、「完了」をクリック

「このデバイスを自動的に同期させる」チェックボックスが選択されている状態で本機を接続すると、Windows Media Player で選択したプレイリストの情報を基に本機のミュージックライブラリが自動的に更新されます。

プレイリストが選択されなかった場合は、すべての PC ミュージックライブラリが同期のために選択されます。PC ミュージックライブラリには、本機のメモリや本機に挿入されているメモリカードの容量以上の音楽ファイルが保存されている場合があるので注意してください。詳細については Windows Media Player のヘルプを参照してください。

自動同期を中止するには、「同期」タブをクリックし、「Nokia N95」>「同期の中止」を選択します。

RealPlayer

RealPlayer では、ビデオクリップなどを再生することができます。ウェブ上のストリーミングコンテンツを、本機に保存せずに再生することも可能です。

RealPlayer は .3gp、.mp4、.rm といった拡張子のファイルに対応しています。ただし、すべてのファイル形式や、ファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。

■ ビデオファイルや音楽ファイルを再生する

電話機メモリ、あるいは互換性のあるメモリカード（電話機に挿入されている場合）に保存されているメディアファイルを RealPlayer で再生することができます。

ギャラリーからメディアファイルを再生する手順については、「ギャラリー」(P.130) を参照してください。

1 > **アプリ** > **メディア** > **RealPlayer の順に選択**

2 オプション > **開く** > **保存ファイルから の順に選択**

- **最近使ったファイル** を選択すると、最近再生したファイルのリストから再生できます。最近再生したファイルリストが画面に表示されます。

3 電話機メモリ または メモリカード を選択 > **OK を選択**

フォルダが表示されます。

4 フォルダを開き、再生するメディアファイルを選択 > **を押す**

本機前面を下にスライドさせ、ランドスケープ（横長表示）にした場合、メディアキーを使用して操作をおこないます。

メディアファイル再生時の操作

機能	操作（RealPlayer からの再生時）
早送り	▶▶▎ または を長く押す
巻き戻し	▎◀◀ または を長く押す
消音	が画面に表示されるまで音量調節キー を長く押す
音声復帰	が画面に表示されるまで音量調節キー を長く押す

機能	操作（RealPlayer からの再生時）
音量調節	音量調節キー 、または を押す

補足：ビデオクリップを全画面表示するには、 2 を押します。もう一度押すと、元のサイズ（標準画面表示）に戻ります。

ストリーミング再生

RealPlayer は rtsp:// という URL を選択すると起動します。サイト上では、.ram ファイルへの http リンクを認識します。ストリーミングご利用中では一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生しています。

無線でストリーミング再生をおこなうには、ギャラリー、ウェブサイト、受信した SMS あるいは MMS に保存されているストリーミングリンクからアクセスしてください。ライブコンテンツのストリーミングを再生する前に、本機はサイトに接続してコンテンツの読み込みを開始します。コンテンツは本機には保存されません。

RealPlayer の設定

RealPlayer のオプション設定では、再生の繰り返しを設定するビデオ設定や、プロキシやネットワークの接続設定を選択することができます。

> **アプリ** > **メディア** > **RealPlayer** > **オプション** > **設定**

ビデオ設定

1 **ビデオ** を選択

次のオプションを選択することができます。

- **繰り返し** - **オン** を選択すると再生終了後、自動的にビデオの再生を繰り返します。

ストリーミング設定

プロキシ設定とネットワーク設定が可能です。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

1 **ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞ** を選択

プロキシ 設定

- **プロキシ使用** - プロキシサーバを利用するには **はい** を選択します。**はい** を選択すると、**ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽ** と**プロキシポート番号** の入力が可能になります

用語：プロキシサーバは、メディアサーバとユーザ間に位置する中間サーバです。サービスプロバイダによっては、映像ファイル、および音楽ファイルを含むブラウザページの表示時間を早くしたり、あるいは、セキュリティを強化するために利用する場合もあります。

ネットワーク 設定

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - ウェブ接続用のアクセスポイントをリストから選択します。
- **オンライン時間** - **ユーザ定義** を選択すると、ネットワークリンクを利用して再生したメディアクリップを一時停止した場合に、**RealPlayer** がネットワークからタイムアウトする時間を設定できます。時間を入力して **OK** を選択します。
- **最小 UDP ポート** - サーバのポート範囲から下限ポート番号を入力します。最小値は 1024 です。
- **最大 UDP ポート** - サーバのポート範囲から、上限ポート番号を入力します。最大値は 65535 です。

補足：ネットワークのバンド幅を設定するには、**オプション** > **詳細設定** を選択してください。

Flash プレーヤー

Flash プレーヤーを利用して、携帯電話用に作成された Flash ファイルを再生することができます。

■ Flash ファイルを再生する

Flash プレーヤーを開くと、対応するファイルリストが画面に表示されます。ファイルマネージャの

「その他」フォルダに対応されているファイルが保存されている場合のみ、画面に表示されます。

1 **> アプリ > メディア > Flash の順に選択**

2 **または を利用して、電話機メモリ または メモリカード を選択**

3 **再生するファイル > オプション > 開く の順に選択**

- 音量は本機側面にある音量調節キーで調節します。

再生中の操作

ファイル再生中に **オプション** （ ）を選択すると、次の操作をおこなうことができます。

- **一時停止** - 解除するには、**オプション** > **再開** を選択します。
- **停止**
- **ミュート** - 解除するには、**オプション** > **ミュート解除** を選択します。
- **リプレイ** - ファイルの最初から再生します。
- **画質** - **低**、**標準**、**高** 画質を選択します。
- **全画面表示** - 全画面表示にします。標準画面に戻るには、**標準画面表示** を選択します。 を押すと、オプションメニューが表示されます。
- **ズームイン** / **ズームアウト** - **ズームイン** すると、**画面に合わせる**、**パンモードオン** / **パンモードオフ** が表示されます。
- **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝについて**
- **詳細表示** - ファイル名やファイル形式などを表示します。



補足 : 停止画面の **オプション** は、再生中画面の **オプション** と内容が異なります。また、停止画面に表示されているファイルを **送信** することができます。

Flash ファイルの管理

フォルダを作成して、ファイルの管理ができます。

> アプリ > メディア > Flash

新規フォルダを作成する

1 **オプション > 整理 > 新規フォルダ の順に選択**

フォルダ名の入力画面が表示されます。

2 **フォルダ名を入力し、OK を選択**

フォルダが作成されます。

Flash ファイルの名前を変更する

1 **名前を変更するファイル > オプション > 名前変更 の順に選択**

名前変更の入力画面が表示されます。

2 **変更名を入力し、OK を選択**

Flash ファイルをフォルダへ移動 / コピーする

1 移動またはコピーするファイル > オプション > 整理 > フォルダへコピー または フォルダへ移動 の順に選択

コピー先が表示されます。

2 移動またはコピー先を選択 > OK を選択

Flash ファイル / フォルダを削除する

1 削除するファイルまたはフォルダ > オプション > 削除 の順に選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

バージョン情報を表示する

1 バージョン情報を表示するファイル > オプション > ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝについて を選択

詳細情報を表示する

ファイル名やファイル形式などが表示されます。

1 詳細を表示するファイル > オプション > 詳細表示 の順に選択

Flash ファイルを送信する

1 送信するファイル > オプション > 送信 の順に選択

2 送信方法を選択

これより先の手順については、「MMS を作成 / 送信する」(P.86)、「Bluetooth 接続」(P.182)、「赤外線通信」(P.186)、「オンラインでファイルを共有する」(P.139) を参照してください。

便利な機能

カレンダー

カレンダー に会議や記念日を登録して、設定した日時に通知を受けたり、To-do リストやメモなどを保存して仕事や用事のスケジュールを管理することができます。

> **アプリ** > **カレンダー**

■ カレンダーを表示する



カレンダーの画面を、月表示、週表示、および To-do リスト表示に切り替えることができます。デフォルトは月表示に設定されています。

エントリを登録すると、月表示の場合、日付の右下隅に小さな三角形が表示されます。

週表示の場合には、メモ、記念日、To-do のアイコンが曜日の下に表示されます。

カレンダー表示を変更する

1 月表示画面で、[＊] を押す

週表示画面が表示されます。

• [＊] を続けて押すと、日表示、To-do リスト表示に画面が切り替わります。

補足： **カレンダー** を開いた時の表示タイプや、週表示の週開始日を指定することが可能です。**オプション** > **設定** から選択します。「カレンダーを設定する」(P.162) を参照してください。

特定の日に移動する

1 日 / 週 / 月 表示で、オプション > 指定日へ移動 を選択

日付の入力画面が表示されます。

2 日付を入力し、OK を選択

指定した日時にカーソルが移動します。

今日の日付に移動する

1 [#] を押す

今日の日付にカーソルが移動します。

■ カレンダーエントリを登録する

カレンダー には、**予定**、**メモ**、**記念日**、**To-do** エントリを登録することができます。

予定を登録する

1 エントリを登録する日を選択

2 オプション > 新規エントリ > 予定 の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

3 それぞれのフィールドに内容を入力する



入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 場所
- 開始時刻
- 終了時刻
- 開始日
- 終了日
- アラーム - イベントを通知するように設定する場合は、**オン** を選択します。アラームの日時を入力します。
- 繰り返し - エントリを一定間隔で繰り返す場合に ◉ を押して選択します。
- 同期 - Nokia Nseries PC Suite などを利用して、互換性のある PC のカレンダーと同期する場合に選択します。

  ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ：カレンダーがオンラインになったときに他のユーザからは予定が見えません。

  パブリック：カレンダーがオンラインになったときにエントリがすべてのユーザに表示されます。

  なし：エントリは同期されません。（「同期」P.191）

4 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。（「詳細データを追加する」P.160）

ｼｮｰﾄｶｯﾄ： ⚙ > **アプリ** > **ｶﾚﾝﾀﾞｰ** > 任意のキー（ 1 ～ 0 ）の順に選択すると、**予定** エントリの入力画面が開きます。

メモを登録する

1 オプション > 新規エントリ > メモ の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 開始日
- 終了日
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。（「詳細データを追加する」P.160）

記念日を登録する

1 オプション > 新規エントリ > 記念日 の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 行事
- 日付
- アラーム - 設定すると毎年その日を通知します。
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。詳細については後述の「詳細データを追加する」を参照してください。

To-do を登録する

1 オプション > 新規エントリ > To-do の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 期限日 - タスクの完了期限を入力します。
- アラーム
- 優先度 -  を押してタスクの重要度を **高**、**標準**、**低** から設定します。
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。詳細については後述の「詳細データを追加する」を参照してください。
- To-do 表示で任意のキーを押すと、To-do ノートエントリが開きます。To-do 表示にするには、「カレンダー表示を変更する」(P.158) を参照してください。
- 完了した To-do に完了マークを付けるには、**オプション** > **完了マーク** を選択します。完了マークを付けると、カレンダーからエントリの表示が消えますが、To-do リストからは削除されません。完了マークを解除するには、全 To-do 表示で、**オプション** > **完了マーク解除** を選択します。

詳細データを追加する

エントリの詳細を入力し、フィールドに追加することができます。エントリを開き、**オプション** > **詳細データの追加** > **新規作成** の順に選択します。

オフィス の **ノート** に登録した内容をエントリに追加することもできます。**オプション** > **詳細データの追加** > **既存ノートを使用** の順に選択します。

補足：カレンダーから新規作成した詳細データは、**オフィス** の **ノート** には登録されません。

アラームを設定する

メモエントリにアラームを設定することはできません。

アラームを登録 / 解除する

1 **アラームを登録するエントリを選択 > オプション > 開く を選択**
エントリ入力画面が表示されます。

2 **アラーム > オン または オフ > OK を選択**

アラーム音を選択する

アラーム音を変更することができます。

1 **オプション > 設定 > ｶﾚﾝﾀﾞｰｱﾗｰﾑ音 の順に選択**
サウンドリストが表示されます。

2 **アラーム音を選択 > 選択 を選択**
- アラーム音にカーソルを合わせると、そのアラーム音を聞くことができます。

アラームが鳴ったときの操作

- アラーム音が鳴っている時に **消音** を選択すると消音になります。**消音** を選択しても、通知メッセージは画面に表示されたままです。
- アラーム音をいったん停止し、5 分後に再開するには、**スヌーズ** を選択します。
- アラーム音が鳴っている時に **停止** を選択すると、アラームが停止します。

カレンダーエントリを送信する

互換性のある機器に、SMS、MMS、E-mail、Bluetooth、赤外線通信を利用して、カレンダーエントリを送信することができます。

1 **送信するカレンダーエントリを選択**

2 **オプション > 送信 > 送信タイプの順に選択**
送信リストが表示されます。
「SMS を作成 / 送信する」(P.85)、「MMS を作成 / 送信する」(P.86)、「E-mail を作成 / 送信する」(P.87)、「Bluetooth 接続」(P.182)、「赤外線通信」(P.186) を参照してください。

E-mail で送信するには、本機のメールボックスが定義されている必要があります。受信する機器により送信方法が限られる場合があります。(「E-mail クライアント設定」P.96)

カレンダーエントリを削除する

1 件削除する

1 **削除するカレンダーエントリを選択**

2 **オプション > 削除 を選択**
- C を押して削除することもできます。

3 **はい を選択**
カレンダーエントリが削除されます。

全件削除する

1 > **アプリ** > **カレンダー** の順に選択
- カレンダーが月表示でない場合は、[*] を押して、月表示にしてください。

2 月表示画面で、**オプション** > **エントリ削除** > **すべてのエントリ** の順に選択

3 **はい** を選択

カレンダーエントリが全件削除されます。

指定日より前のエントリを削除する

日付を指定し、その日より前に登録してあるエントリを削除することができます。

1 月表示画面で、**オプション** > **エントリ削除** > **指定日より前を削除** の順に選択

2 指定日を入力 > **OK** を選択

指定日より前のエントリが削除されます。

補足： メモリ不足を防ぐため、**カレンダー** から過去のエントリを削除することをおすすめします。

カレンダーを設定する

1 > **アプリ** > **カレンダー** > **オプション** > **設定** の順に選択

次のオプションを設定することができます。
- **カレンダーアラーム音** - 「アラームを設定する」(P.161) を参照してください。
- **デフォルト表示** - カレンダーを開いたときに、月表示、週表示、日表示、To-do 表示にするかを選択します。
- **週開始日** - 週表示でカレンダーを開いたときに、先頭にくる曜日を選択します。
- **週表示タイトル** - 週開始日を月曜日にすると選択できます。週表示のタイトルを週番号にするか、週の日付にするかを選択します。週番号は、週開始日を月曜日にすると、画面に表示されます。

電卓

> **アプリ** > **電卓**



注意： この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

計算の実行

1 計算する最初の数字を入力する
- 小数点を追加するには、[#] を押します。

2 使用する演算子を選択し、[■] を押す

3 次の数字を入力する
- 計算を続ける場合は、演算子と数字を入力します。

4 計算を実行するには、「=」を選択し、[■] を押す

計算機のオプション設定

オプションから次の機能が選択できます。

- **前回の結果** - 前回の計算結果を表示します。
- **メモリ** > **保存** - エディタフィールドの数字を保存します。 1 回に 1 つの数字しか保存できません。
- **メモリ** > **再呼び出し** - 保存したメモリを呼び出します。
- **メモリ** > **クリア** - 保存したメモリを削除します。
- **画面クリア** - 画面を消去して新しい計算を開始します。

コンバータ

コンバータでは単位の変換が可能です。例えば、**長さ** の単位を **ヤード** から **メートル** に変換することができます。

本機の **ｺﾝﾊﾞｰﾀ** は簡易版です。四捨五入の際には誤差が生じることがあります。

デフォルトでは値は何も設定されていません。

> **アプリ** > **オフィス** > **ｺﾝﾊﾞｰﾀ**

コンバータを操作する

1 **タイプ** **フィールド >** ▣ **を押す**

タイプリストが表示されます。

2 **変換する値の種類を選択 > OK を選択**

3 **上の 単位 フィールド > 変換元の単位を選択 > OK を選択**

4 **最初の 数量 フィールドを選択 > 変換する値を入力**

5 **下の 単位 フィールド > 変換先の単位を選択 > OK を選択**

下の数量フィールドに変換された値が表示されます。

記号の入力には次のボタンを使用します。

- 小数点 : # を押す
- +, - (温度)、E (指数): * を押す

基本通貨と通貨交換レートの設定

通貨換算をおこなう前に、基本通貨を選択して交換レートを入力する必要があります。

通貨の換算方法

例として、日本円を米ドルへ変換します。

1 **タイプ フィールド > 通貨 > OK の順に選択**

2 **単位フィールド > 自国 > OK の順に選択**

自国通貨を日本円と考えます。

3 **オプション > 通貨レート を選択**

4 **外貨フィールドを選択 > 交換レートを入力 > 完了 を選択**

- 交換レートは、自国通貨を 1 とした場合の変換先通貨の比率になります。ここでは日本円を 1 とした米ドルの値を入力します。
- フィールドの「外貨」表示を、実際の通貨名に変更することができます。**オプション** > **通貨名変更** を選択し、を押し、例えば「米ドル」と入力します。
- 設定したフィールドを削除するには、**オプション** > **通貨削除** を選択します。

5 上の数量フィールドを選択し、変換元の値を入力

下の数量フィールドに換算された金額が表示されます。

基本通貨を変更する場合は、基本通貨にする通貨を選択 > **オプション** > **基本通貨に設定** を選択します。



注意：基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがゼロになるので、新しいレートを入力する必要があります。

ノート

本機のノートにテキスト文書を入力することができます。ノートを他の互換性のある機器に送信したり、受信したテキストファイル（.txt ファイル形式）をノートに保存したりすることが可能です。

> アプリ > オフィス > ノート

ノートを作成する

1 オプション > 新規ノート > 内容を入力 > 完了 を選択

ノートが登録されます。

ノートを送信する

1 送信するノート > オプション > 送信 > 送信タイプの順に選択

詳細については、「SMS を作成 / 送信する」(P.85)、「MMS を作成 / 送信する」(P.86)、「E-mail を作成 / 送信する」(P.87)、「Bluetooth 接続」(P.182)、「赤外線通信」(P.186) を参照してください。

Quickoffice

Quickoffice アプリケーションを使用すると、他の機器で作成した Microsoft Word 文書や、Microsoft Excel 文書、Microsoft PowerPoint プレゼンテーション、テキストファイルを本機で見ることができます。すべてのファイル形式や、機能をサポートしているわけではありません。Apple Macintosh で作成されたファイルはサポートしていません。

> **アプリ** > **オフィス** > **Quickoffice** の順に選択すると、電話機メモリや、互換性のあるメモリカード (電話機に挿入されている場合) に保存されている

.doc、.xls、.ppt、.txt 形式のファイルの一覧が表示されます。

それぞれ対応するアプリケーションでファイルを開くには、ファイルを選択し、[■] を押します。ファイルを並べ替えるには、**オプション** > **並べ替え** の順に選択します。

Quickword、**Quicksheet**、**Quickpoint**、**Quickmanager** タブを開くには、[◎]、または[◎]を押します。

Quickword

Quickword を使用すると、Microsoft Word 文書を本機に表示できます。

Quickword は Microsoft Word 97、2000、XP、2003 の .doc と .txt 形式で保存された文書に対応しています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.167) を参照してください。

Word 文書を表示する

1 [メニュー] > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

Word 文書の一覧が表示されます。

2 文書を選択し、[■] を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **ズーム** - ズームインやズームアウトができます。
- **移動** - 文書の先頭 / 末尾への移動や、移動位置の指定ができます。
- **検索オプション** - **検索** を選択し、文書内の文字を検索します。
- **自動スクロール開始** - 文書を自動的にスクロールできます。
- **自動スクロール終了** - 文書の自動スクロールを停止します。
- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞにｱｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾄﾞ** - 編集機能をサポートする Quickword にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

文書内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

Quicksheet

Quicksheet を使用すると、Microsoft Excel ファイルを本機に表示できます。

Quicksheet は、Microsoft Excel 97、2000、XP、2003 の .xls 形式で保存されたスプレッドシートファイルをサポートしています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.167) を参照してください。

スプレッドシートを表示する

1 > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

2 を 1 回押す

Excel 文書の一覧が表示されます。

3 文書を選択し を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **ワークシート** - ワークシート間の切替をおこないます。
- **ズーム** - ズームインやズームアウトができます。
- **表示範囲変更** - 現在開いているワークシート内をブロック単位でナビゲートできます。画面には行と列を含むブロックが表示されます。行や列を表示するには、ナビゲーションキーを使用してブロックを選択し、**OK** を選択します。
- **サイズ変更** - 行や列の幅を調整できます。
- **枠を固定** - 強調表示した行、列、またはその両方を表示したままスプレッドシート内を移動できます。**枠固定解除** を選択して解除することができます。
- **検索オプション** - **検索** を選択し、スプレッドシートの値や数式に含まれる文字を検索します。
- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞに切り替え** - 編集機能をサポートする Quicksheet にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

スプレッドシート内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

Quickpoint

Quickpoint を使用すると、Microsoft PowerPoint プレゼンテーションを本機の画面に表示できます。

Quickpoint は Microsoft PowerPoint 2000、XP、2003 の .ppt 形式で作成されたプレゼンテーションをサポートしています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.167) を参照してください。

プレゼンテーションを表示する

1 > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

2 を 2 回押す

プレゼンテーションの一覧が表示されます。

3 文書を選択し を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **全画面表示** - プレゼンテーションを全画面表示に切り替えます。
- **アウトライン** - アウトライン表示で、プレゼンテーションのアウトライン項目を展開するには、**展開** を選択します。
- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞにｱｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾄﾞ** - 編集機能をサポートする Quickpoint にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

スライド表示、アウトライン表示、ノート表示の間で切り替えをおこなうには、 または を押します。

 または を押すと、プレゼンテーションの次または前のスライドに移動できます。

■ Quickmanager

Quickmanager を使用して、アップデートやその他の有用なアプリケーションなどのソフトウェアをダウンロードすることができます。ダウンロードしたソフトウェアの料金はクレジットカードでお支払いいただけます。
「ダウンロードが完了するまで課金は発生しません」と表示される場合がありますが、ダウンロード中は通信料がかかります。

ダウンロードしたコンテンツによっては、コンテンツに対応したアプリケーションが自動的に起動されない場合があります。

Quickword、Quicksheet、Quickpoint を編集機能をサポートするバージョンにアップグレードするには、ライセンスを購入する必要があります。

Quickmanager を開く

1 > **アプリ** > **オフィス** > **Quickoffice** > **Quickmanager** の順に選択

■ 詳細情報

Quickword、**Quicksheet**、**Quickpoint** に関して問題が発生した場合は、http://www.quickoffice.com (英語) にアクセスして、詳細情報をご覧ください。

電子メールによるサポートもおこなっています。電子メールアドレスは次のとおりです。
supports60@quickoffic e.com(英語)

音声メモ

 > **アプリ** > **メディア** > **音声メモ**

本機の音声メモ機能では、音声メッセージを録音したり、通話中の会話を録音したりすることができます。
録音した音声ファイルはギャラリーに保存されます。

音声メモは、データ通信中、またはパケットデータ通信中に使用すると録音できない場合があります。

音声を録音する

1 録音（ ● ）が選択されている状態で、 を押す

音声メッセージの録音が開始されます。

2 停止 を選択して録音を終了する

通話中の音声を録音する

1 通話中に、 > アプリ > メディア > 音声メモ の順に選択

2 録音（ ● ）が選択されている状態で、 を押す

録音中は、通話者双方に 15 秒間隔でビープ音が聞こえます。

3 停止 を選択して録音を終了

Adobe Reader

Adobe Reader を使用すると、PDF 文書を本機の画面に表示できます。

このアプリケーションは、携帯電話機などモバイル機器に格納された PDF 文書用に最適化されています。そのため、PC 版と比較すると限定的な機能しかありません。

PDF 文書を表示する

1 > アプリ > オフィス > Adobe PDF の順に選択

最近使用した PDF 文書の一覧が表示されます。

- 電話機メモリや、互換性のあるメモリカード (本機に挿入されている場合) に保存されている文書を検索したり、開いたりするには、**オプション** > **ファイル参照** を選択するか、 > **ツール** > **ファイル** の順に選択してください。

2 文書を選択し、 を押す

オプション を選択して、ズーム、検索、表示変更、送信などをおこなうことができます。

詳細情報

詳細情報については、http://www.adobe.com (英語) を参照してください。

アプリケーションについての質問、提案、情報の共有については、http://adobe.com/support/forums/main.html(英語) にアクセスし、Symbian OS user forum の Adobe Reader を参照してください。

ラジオ (ネットワークサービス)

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **Radio**

はじめて Visual Radio を開いたときに、ウィザードを利用してラジオステーションを登録することができます。

ラジオ機能を利用して FM ラジオを聞いたり、本機にお気に入りのラジオステーションを登録することができます。Visual Radio サービスを提供しているラジオステーションを聞く時には、ラジオ番組に関連したビジュアル情報を見ることができます。Visual Radio では、パケットデータ（ネットワークサービス）を利用します。本機では、ラジオを聞きながら、他の機能を利用することができます。

Visual Radio サービスを提供しているラジオステーションについては、http://www.visualradio.com (英語) を参照してください。

Visual Radio は日本国内では対応されておりません。

ラジオをご利用になる前に

ラジオを利用するには、次の条件が必要です。

- 本機の電源がオンになっている。
- 有効な USIM カードが挿入されている。
- ラジオステーション、およびネットワークオペレータが各サービスに対応している。
- ラジオサーバに接続するために、インターネットアクセスポイントが定義されている。（日本国内で FM ラジオを聞く場合は、アクセスポイントを設定する必要はありません。）
- ラジオステーションを正しく定義した Visual Radio ID を入手している。（日本国内では Visual ID はご使用になれません。）

Visual Radio サービスを利用できない場合には、そのラジオステーションが、Visual Radio をサポートしていない可能性があります。Visual Radio サービスは、全世界の全地域でサービス可能というわけではありません。

ラジオ放送の音声品質は、ラジオ局の受信範囲により地域ごとに異なります。

ラジオを聞く

- FM ラジオを聞くためには、互換性のある有線のヘッドセットが必要です。FM ラジオは、無線機器のアンテナ以外のアンテナに依存します。FM ラジオが正しく機能するには、互換性のあるヘッドセットまたはアクセサリを本機に取り付ける必要があります。
- 本機に搭載のラウドスピーカー、あるいは互換性のあるヘッドセットからラジオを聞くことができます。ヘッドセットのリード線はラジオのアンテナとして利用されるので、リード線を小さく一つに束ねることは避けてください。
- ラジオを聞きながら、電話をかけたり、電話を受けたりすることが可能です。通話を開始すると、ラジオがオフになります。



警告： 音楽を聞く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聞き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

選局する

1 または を選択し を押す、あるいはメディアキー または を長く押してチューニング



ラジオステーションの検索を開始します。ラジオステーションにチューニングされると、検索がストップします。

- 音量は、本機側面にある音量調節キー または を押して調節します。

ラジオステーションを自動で設定する

パケットデータ接続を使用して、ラジオステーションを自動で設定することができます。はじめて **Radio** を開いたときにはウィザードが起動するので、指示に従って設定をおこないます。アクセスポイント選択画面が表示された場合は、「Application Connection」を選択します。

1 オプション > ｽﾃｰｼｮﾝﾌｫﾙﾀﾞ を選択

場所の一覧が表示されます。

2 Asia > 日本 > 地域、都市を選択

設定可能なステーションの一覧が表示されます。

3 オプション > すべてのｽﾃｰｼｮﾝ保存 を選択

- 個別にステーションを保存する場合は、ステーションを選択した状態で、**オプション** > **ステーション** > **保存** を選択します。

ラジオステーションを手動で設定する

1 オプション > 手動チューニング を選択

周波数の入力画面が表示されます。

2 周波数を入力し、OK を選択

ラウドスピーカーを使用する

ラウドスピーカーを利用する場合にも、本機とヘッドセットを接続したままにしてください。ヘッドセットのリード線が、ラジオのアンテナとして機能します。アンテナとして機能させるため、リード線を一つに束ねることは避けてください。

1 オプション > ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰｽﾋﾟｰｶｰ有効 を選択

待受画面に戻る

ラジオをつけたまま、待受画面に戻ることができます。

1 オプション > ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞで再生 を選択

- を押して待受画面に戻ることもできます。

ラジオステーションを登録する

ステーションリストに、ラジオステーションを登録することができます。

ステーションリストに登録する

現在聞いているラジオステーションを、ステーションリストに登録することができます。

1 または を選択し、を押してチューニング

- メディアキー ▶▶| または |◀◀ を長く押してチューニングすることもできます。

2 オプション > ステーション保存 を選択

3 ステーション番号を選択 > 選択 を選択

4 ステーション名を入力 > OK を選択

ステーションリストに登録されます。

補足 : 登録したラジオステーションへのショートカットを、マルチメディアメニューに追加することができます。(「ショートカットを変更する」P.41)

ステーションリストを開く

1 オプション > ステーション を選択

- ステーションリストで **オプション** > **ステーション** を選択すると、ステーションの編集、移動、削除などがおこなえます。

ビジュアルコンテンツの表示

日本国内では対応されておりません。

コンテンツを表示する

選局したラジオステーションで利用できるコンテンツを表示することができます。

1 を選択、または、**オプション** > **ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｻｰﾋﾞｽ開始** の順に選択

ビジュアルサービス ID がラジオステーション用に登録されていない場合は、ラジオステーションなどから ID を受信します。

Visual Radio の設定

日本国内では対応されておりませんが、**開始音** の設定は可能です。

Visual Radio のオプションから次の設定が可能です。

1 オプション > 設定 を選択

- **開始音** - ラジオを開始する際に、起動音を鳴らすには **オン** を選択します。
- **自動起動サービス** - ステーションリストに登録済みで、ビジュアルラジオサービスを提供しているラジオステーションを選択した際に、ビジュアルサービスを自動的に表示させるには、**はい** を選択します。
- **アクセスポイント** - Visual Radio のデータ接続に利用するアクセスポイントを選択します。通

常の FM ラジオを聞く場合には、アプリケーションのアクセスポイントを設定する必要はありません。
- **現在の地域** - ラジオステーション用に現在の地域を選択します。電波の状態によっては、このオプションは表示されない場合があります。

Zip Manager

Zip manager を利用して、ファイルを圧縮することができます。ファイルを圧縮するとファイル容量が減り、互換性のある機器に送信するときなどに便利です。

> **アプリ** **>** **オフィス** **>** **Zip**

アーカイブフォルダとアーカイブファイルの一覧が表示されます。

■ ファイルを圧縮する

最初にアーカイブファイル (zip ファイル) を作成し、作成したアーカイブファイルに、圧縮するファイルを追加します。

1 オプション > 新アーカイブ を選択

アーカイブ名の入力画面が表示されます。

2 アーカイブ名を入力し、OK を選択

作成したアーカイブが開きます。

3 オプション > アーカイブに追加 を選択

4 圧縮するファイルを選択し、■ を押す

圧縮したファイルは、電話機メモリ、およびメモリカード (本機に挿入されている場合）に保存することができます。

■ zip ファイルを解凍する

1 解凍するアーカイブファイルを選択し、■ を押す

アーカイブ内のファイルの一覧が表示されます。

2 解凍するファイルを選択し、オプション > 抽出 を選択

- **オプション** > **マーク / マーク解除** を選択し、複数のファイルを選択することもできます。

3 抽出先のメモリとフォルダを選択

■ アーカイブの管理

オプション を選択して、設定の変更、ファイルの移動やコピー、送信などをおこなうことができます。**開く**、**ファイル**、**マーク / マーク解除**、**送信**、**設定**、**情報** などを選択することができます。

バーコードリーダー

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ を利用して、雑誌に掲載されている QR コードなどを本機のカメラから読み取ることができます。コードには、URL リンクや E-mail アドレス、電話番号などの情報が含まれています。

コードを読み取る

1 > **アプリ** > **オフィス** > **ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ** **の順に選択**

2 **ｺｰﾄﾞ読み取り** **を選択**

3 **カメラ起動スイッチをスライドし、レンズカバーを開く**

4 **読み取るコードを画面内に表示する**

コードの読み取りが終了すると、読み取った情報が画面に表示されます。

本機は電池の消耗を防ぐため、約 1 分間コードが読み取られなかったり、どのキーも押されなかった場合には、スタンバイモードになります。読み取りや、保存情報の確認を続けるには、 を押します。

読み取った情報を保存する

1 **コードを読み取る（「コードを読み取る」(P.173) ステップ 1 〜 4 を参照）**

2 **オプション** > **保存** **を選択**

- 読み取った情報は、.bcr 形式で **保存データ** フォルダに保存されます。

以前に読み取った情報を表示する

1 > **アプリ** > **オフィス** > **ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ** **の順に選択**

2 **保存データ** > **表示する情報** > **を押す**

コードから読み取った URL リンク、電話番号、E-mail アドレスなどが表示されます。

- **保存データ** > **オプション** を選択して、読み取った情報を利用することができます。

セキュリティ

操作用暗証番号（ロックコード）の変更

操作用暗証番号（ロックコード）を変更できます。このコードには、5桁の数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

1 ロックコード を選択

2 設定されているロックコードを入力 > OK を選択

- お買い上げ時のロックコードは、「12345」に設定されています。

3 新規ロックコードを入力 > OK を選択

4 新規ロックコードを再入力 > OK を選択

ロックコードを変更しました が表示されます。

PIN コードの設定

PIN/PIN2 コードを変更できます。このコードは、4 ～ 8 桁の数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。コードを忘れた場合は、携帯電話事業者へお問い合わせください。PIN/PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN コードがロックされます。PIN ロックを解除するには、PIN ロック解除コード (PUK) を入力します。(「PIN ロック解除コード (PUK)」P.36)

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

PIN/PIN2 コードを変更する

1 PIN コード または PIN2 コード を選択 > OK を選択

- PIN コードを変更する場合は、**PIN コード要求** を **オン** にしてください。

2 現在、設定されている PIN(PIN2) コードを入力

新規 PIN(PIN2) コードを入力する画面が表示されます。

- お買い上げ時の PIN コード、PIN 2コードは、ともに「9999」に設定されています。

3 新規 PIN(PIN2) コードを入力

4 新規 PIN(PIN2) コードを再入力

PIN コードを変更しました (**PIN2 コードを 変更しました**) が表示されます。

PIN コード要求を設定する

電源を入れたときに、PIN コードを入力するよう設定します。

1 **PIN コード要求** を選択

2 **オン** を設定

3 PIN コードを入力

コードを確認しました が表示されます。

無断で利用されたくないとき

本機の操作を禁止する (電話機ロック)

1 ⏻ を短く押す

リストが表示されます。

2 **電話機ロック** を選択

3 ロックコードを入力し、**OK** を選択

- **コードを確認しました** が表示され、電話機がロックされます。
- 操作用暗証番号 (ロックコード) については、「操作用暗証番号 (ロックコード)」(P.36) を参照してください。



注意 : 本機がロックされているときでも、オフラインモードで本機にプログラムされている海外の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、電話機ロックが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.260) を参照して電話をかけてください。

自動ロックまでの時間を設定する

本機が自動的にロックされ、正しいロックコード (操作用暗証番号) を入力しない限り本機を使用できない設定ができます。自動ロックされるまでの時間は分単位で設定することができます。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

1 **電話機自動ロック時間** を選択

2 **ユーザ定義** を選択

3 本機が自動的にロックされるまでの時間を入力

4 ロックコードを入力

コードを確認しました が表示されます。

USIM 変更時に本機をロックする

本機が認識していない USIM カードが挿入された場合に、ロックコードを要求するかどうかを設定すること

ができます。本機には、所有者のカードを識別するためのリストが保持されます。

1 SIM ｶｰﾄﾞ変更時にロック を選択

2 はい を選択

3 ロックコードを入力

コードを確認しました が表示されます。

電話と USIM の設定



注意：次の機能は現在ご利用になれません。

- **限定ユーザグループ**
- **SIM サービス確認**

証明書管理

証明書管理について

デジタル証明書は安全性を保証するものではなく、ソフトウェアの供給元を検証するために使用するものです。

オンライン銀行、その他のサイトやリモートサーバに接続して機密情報を転送する場合は、デジタル証明書を使用してください。また、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするときに、ウィルスなどの悪意のあるソフトウェアのリスクを軽減したり、ソフトウェアの信頼性を確認したりする場合にも使用してください。



重要：証明書を使用することで、リモート接続やソフトウェアインストールに関わるリスクを大幅に軽減できますが、強化されたセキュリティを有効に活用するには証明書を正しく使用する必要があります。証明書が存在しても、それだけで保護されるわけではありません。強化されたセキュリティを有効にするには、本物の信頼できる正しい証明書が証明書管理に格納されている必要があります。証明書には有効期限があります。証明書が有効であるはずなのに、失効した証明書 や 有効になっていない証明書 が表示される場合は、本機の現在の日時が正しいかどうかを確認してください。

証明書機関リストを表示する

> ツール > 設定 > 一般 > セキュリティ > 証明書管理

- 本機にあらかじめ登録されている証明機関が表示されます。
- 個人証明書を表示する場合は、 を押します。

証明書の詳細情報を表示する

- サーバの正しい供給元は、サーバの証明書の署名と有効期間がチェックされたときにのみ確認できます。

・ サーバの供給元が不確かな場合や、本機に正しいセキュリティ証明書がない場合は、本機の画面にメッセージが表示されます。

1 証明書を選択し、オプション > 証明書詳細 を選択

証明書の詳細が表示されます。または、証明書の有効性がチェックされ、次のメッセージが表示される場合があります。

- **信頼されていない証明書です** - アプリケーションで証明書を使用するように設定されていません。
- **失効した証明書** - 選択した証明書の有効期間を過ぎています。
- **有効になっていない証明書です** - 選択した証明書の有効期間がまだ始まっていません。
- **証明書は壊れています** - 証明書を使用できません。証明書の発行者にお問い合わせください。

■ 信頼設定を変更する

設定を変更すると、ウェブでのページ閲覧や、アプリケーションやファイルのダウンロードができなくなる場合があります。

1 証明書を選択し、オプション > 信頼度設定 を選択

証明書に応じて、選択した証明書を使用できるアプリケーションのリストが表示されます。表示されるアプリケーションは証明書によって異なります。例えば、次のように表示されます。

- **Symbian ｲﾝｽﾄｰﾙ**：**はい** - この証明書は、新しい Symbian オペレーティングシステムアプリケーションの供給元を証明できます。
- **インターネット**：**はい** - この証明書は、サーバを証明できます。
- **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｲﾝｽﾄｰﾙ**：**はい** - この証明書は、新しい Java アプリケーションの供給元を証明できます。
- **ｵﾝﾗｲﾝ証明書確認**：サーバからダウンロードする際に、証明書を確認します。

2 オプション > 信頼度設定編集 を選択し、内容を変更する

各種設定をお買い上げの状態に戻す

1 > ツール > 設定 > 一般 > ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定 の順に選択

2 はい を選択

- 電話機は自動的に再起動され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 再起動には時間がかかる場合があります。
- お客様が保存したデータは影響されません。

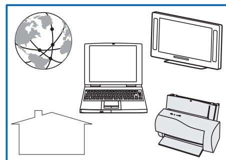
3 ロックコードを入力し、OK を選択

- お買い上げ時のロックコードは、「12345」に設定されています。

ｾｷｭﾘﾃｨﾓｼﾞｭｰﾙ は、ソフトバンクの USIM カードでは対応しておりません。

外部接続

接続について

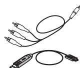




無線LAN

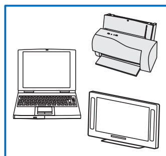
Bluetooth

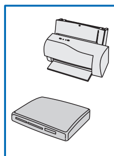


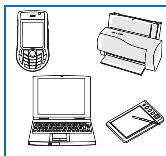




赤外線







無線 LAN 機器、UPnP (Universal Plug and Play) 機器との接続には、無線 LAN を使用してください。「無線 LAN」(P.179) を参照してください。

ファイルの転送や、互換性のあるアクセサリとの接続などには Bluetooth テクノロジーを使用してください。「Bluetooth 接続」(P.182) を参照してください。

互換性のある機器への転送や同期などには赤外線を使用してください。「赤外線通信」(P.186) を参照してください。

プリンタや PC など互換性のある機器と接続するには、同梱されている Nokia Connectivity Cable DKE-2 を使用してください。「データケーブル」(P.187) を参照してください。

データの転送やバックアップには、Micro SD カードを使用してください。「メモリカードの利用」(P.64) を参照してください。

無線 LAN

本機は無線 LAN をサポートしています。無線 LAN を利用してインターネットへの接続や、互換性のある無線 LAN 機器との接続が可能です。無線 LAN を使用して互換性のある UPnP(Universal Plug and Play) 機器と接続するには「ホームメディア」(P.142) を参照してください。

無線 LAN を使用するには、無線 LAN が利用できる環境で、本機を無線 LAN に接続する必要があります。

フランスなど、一部の国 / 地域では、無線 LAN の使用が制限されています。詳細については、ご利用になる地域の行政機関にお問い合わせください。

無線 LAN を使った操作や、他の操作を実行中にバックグラウンドで無線 LAN を使用した場合、電池の消費量が増し、電池の消耗が早くなります。

本機は次の無線 LAN 機能をサポートしています。

- IEEE 802.11b/g 標準規格
- 使用周波数帯 : 2.4GHz 帯
- 最大 128bit の WEP (Wired equivalent privacy) キー、WPA(Wi-Fi Protected Access)、802.1x 暗号化方式
  ネットワークがサポートしている場合、これらの機能が使用されます。

無線 LAN 接続

無線 LAN を使用するには、無線 LAN アクセスポイント (IAP) を作成する必要があります。インターネットに接続する必要があるアプリケーションを使用する場合に、このアクセスポイントを使用します。「無線 LAN インターネットアクセスポイント」(P.181) を参照してください。



重要：無線 LAN 接続のセキュリティを向上させるために、利用可能な暗号化手段のいずれかを常に有効にしておいてください。暗号化を使用すると、データへの不正アクセスのリスクが軽減されます。

無線 LAN インターネットアクセスポイントを使用してデータ接続を行った場合に、無線 LAN 接続が確立されます。データ接続を終了すると、無線 LAN 接続が終了します。接続の終了については 「接続状況」(P.181) を参照してください。

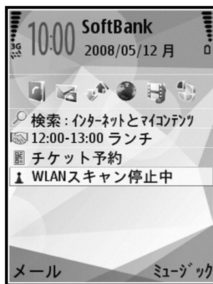
通話中やパケットデータ接続中でも無線 LAN を使用することができます。同時に複数の無線 LAN アクセスポイント機器に接続することはできませんが、複数のアプリケーションで同じインターネットアクセスポイントを使用することができます。

無線 LAN が利用可能な場合、オフラインモードでも無線 LAN を使用することができます。有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。無線 LAN 接続を確立する場合は、適用されるあらゆる安全上の要件に従うようにしてください。



補足 : 本機を識別する MAC アドレスを確認するには、待受画面で ***#62209526#** と入力してください。

待受画面から無線 LAN を利用する



カスタム待受画面 が **オン** に設定されている場合、待受画面に無線 LAN の接続状況が表示されます。待受画面から利用可能な無線 LAN を検索したり、ウェブにアクセスしたりすることができます。WLAN 検索が停止中で、無線 LAN に接続していない場合、接続状況には **WLAN スキャン停止中** が表示されます。

利用可能な無線 LAN を検索する

1 **待受画面で WLAN スキャン停止中 へスクロールし、[■] を押す**

更新中 と表示されます。

2 **WLAN ネットワークを検出 > [■] > WLAN 検索 を選択**

利用可能な無線 LAN の一覧が表示されます。

3 **使用する WLAN ネットワーク > [■] を押す**

アクセスポイントが定義され、選択した WLAN ネットワークに接続されます。

保護された無線 LAN ネットワークに接続する

保護された無線 LAN ネットワーク（[アイコン]）を選択した場合、パスコードの入力を求められます。非公開ネットワークに接続する場合、正しいネットワーク名（ SSID - service set identifier）を入力する必要があります。非公開無線 LAN ネットワークに接続するために新しいアクセスポイントを作成するには、**WLAN 検索** > **非公開 WLAN** > **新規 WLAN** を選択します。画面の指示に従って設定してください。

インターネットにアクセスする

無線 LAN を検索し、**WLAN ネットワークを検出** が表示された場合、インターネットアクセスポイント（IAP）を定義し **インターネット** を開始します。

1 **待受画面で WLAN ネットワークを検出 または無線 LAN 名を選択 > [■] > Web ブラウズ開始 を選択**

2 **無線 LAN を選択し、[■] を押す**

アクセスポイントが定義されていない場合、アクセスポイントが自動的に定義され、**インターネット** が開きます。

無線 LAN に接続中は、インターネットアクセスポイント (IAP) 名が待受画面に表示されます。このアクセスポイントを使用して ウェブにアクセスするには、アクセスポイント名 > [■] > **Web ブラウズ開始**、または **Web ブラウズ継続** を選択します。無線 LAN 接続を終了するには、待受画面に表示される WLAN 接続状況を選択し、オプションから **WLAN 接続解除** を選択します。

無線 LAN の検索を終了する

1 **待受画面に表示される WLAN 接続状況へスクロールし、◙ を押す**

オプションが表示されます。

2 **WLAN スキャンをオフ を選択**

■ WLAN ウィザード

WLAN ウィザードでは無線 LAN へ接続したり、無線 LAN 接続を管理したりすることができます。WLAN ウィザードを開くと、無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されます。

> **ツール** > **WLAN**

無線 LAN インターネットアクセスポイント

1 **オプション を選択**

次のオプションを選択することができます。

- **Web ブラウズ開始** - **インターネット** を開始します。
- **更新** - 利用可能な無線 LAN のリストを更新します。
- **WLAN ネットワークフィルタ** - 表示されたネットワークのリストにフィルタをかけます。次に無線 LAN を検索する時に、選択されたネットワークは検索対象から外されます。
- **詳細** - ネットワークの詳細情報を表示します。接続中のネットワークを選択した場合、その接続の詳細情報が表示されます。
- **アクセスポイント定義** - 無線 LAN のインターネットアクセスポイント（IAP）を定義します。
- **アクセスポイント編集** - インターネットアクセスポイント（IAP）の設定を変更します。
  無線 LAN には次の 2 つの **WLAN ネットワークモード** があります。
  - **インフラストラクチャ** - インフラストラクチャモードでは、無線 LAN アクセスポイントを介した無線機器間の相互通信と、有線 LAN ネットワークとの通信の 2 種類の通信が可能です。
  - **アドホック** - アドホックモードでは機器間で直接データの送受信を行うことができます。アドホックネットワークのインターネットアクセスポイントを作成するには、「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.207) を参照してください。

■ 新規無線 LAN アクセスポイントを作成する

無線 LAN アクセスポイントの新規作成については、「アクセスポイント」(P.206) を参照してください。

接続状況

接続状況 を使用してインターネットアクセスポイントを定義することができます。

> **ツール** > **外部接続** > **接続状況**

■ データ接続

接続状況から、現在アクティブな GSM および WCDMA ネットワーク、無線 LAN の接続状況を確認することができます。

1 使用ﾃﾞｰﾀ接続 を選択

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ などに接続中の場合は、接続の名称が表示されます。



注意：実際に請求される通話のご利用時間は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算などによって異なる場合があります。

データ接続を終了する

- 1 件ずつ接続を終了するには、終了する接続を選択 > **オプション** > **切断** の順に選択します。
- すべての接続を終了する場合は、**オプション** > **すべて切断** を選択します。

接続の詳細を表示する

接続に関する詳細情報 (ベアラ、状態、送受信データ量など）を表示します。接続の種類により、詳細の表示内容は異なります。

1 詳細を表示する接続を選択 > オプション > 詳細 の順に選択

■ 無線 LAN

利用可能な無線 LAN を検索することができます。

1 有効な WLAN を選択

利用可能な無線 LAN の一覧が表示されます。一覧ではネットワークモード (**ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ** または **アドホック**)、電波強度インジケータと、次のアイコンが表示されます。

- - 暗号化されたネットワーク
- - ネットワークに接続中

2 オプション を選択

次のオプションを選択することができます。

- **詳細** - ネットワークの詳細情報を表示します。
- **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ定義** - 選択した有効な無線 LAN のアクセスポイントが定義されます。
- **再読み込み** - 利用可能な無線 LAN の一覧を更新します。

Bluetooth 接続

本機では Bluetooth を利用して、携帯電話、PC、およびヘッドセットやカーキットなどの互換性のある機器やアクセサリと、ワイヤレスで接続することが可能です。静止画、ビデオ、音楽ファイル、およびノートなどを互換性のある機器に送信したり、互換性のある PC と接続してファイルを転送したり、互換性のあるプリンタと接続し、静止画を印刷したりすることも可能です。(「画像を印刷する」P.137)

Bluetooth では、電波を利用して通信を確立するので、本機と接続先の機器が見通し線上に置かれている必要はなく、

10 メートル以内に配置されていれば通信が可能です。ただし、通信中には壁やその他の電子機器などの障害物による干渉を受ける可能性があります。

本機は Bluetooth Specification 2. 0 に準拠しており次の Bluetooth プロファイルをサポートしています : Advanced Audio Distribution Profile、Audio/Video Remote Control Profile、Basic Imaging Profile、Basic Printing Profile、Dial-up Networking Profile、File Transfer Profile、Hands-Free Profile、Headset Profile、Human Interface Device Profile、Object Push Profile、SIM Access profile、Synchronisation Profile。Bluetooth 技術をサポートする他の機器間の相互運用性を保証するため、Nokia が認定した本機用のアクセサリを使用してください。本機との互換性については、Bluetooth 機器の各メーカーにご確認ください。

地域によっては、Bluetooth の使用が制限される場合があります。ご利用になる地域の行政機関や携帯電話事業者にご確認ください。

Bluetooth 技術を使用する機能を実行したり、他機能の使用中にバックグラウンドで Bluetooth を使用する機能を実行したりすると、電池の消費量が増え、電池の消耗が早くなります。

本機がロックされている場合は、Bluetooth を利用することができません。(「セキュリティ」P.174)

Bluetooth を設定する

Bluetooth を利用するには、Bluetooth をオンにして、自機名称を他の機器に公開する必要があります。はじめて Bluetooth メニューを開くと、本機の名称を入力する画面が表示されます。

1 > ツール > Bluetooth の順に選択

次の設定をすることができます。

- **Bluetooth** - 他の互換性のある機器と接続するには、まずこの設定を **オン** にします。Bluetooth 接続をオフにするには **オフ** を選択します。
- **自機名称公開** - **全機器に公開** を選択すると、Bluetooth を利用している他の機器に本機名が表示されます。**時間設定** を選択すると、公開する時間を設定することができます。**非公開** を選択すると相手機器に本機名が表示されません。
- **機器名** - Bluetooth 利用時に、他の機器から確認できる本機の名称を定義します。
- **リモート SIM モード** - 互換性のあるカーキットなど他の機器がネットワークに接続するために、本機の USIM カードを使用できるようにするには **オン** を選択します。詳細については「リモート SIM モード」(P.187) を参照してください。

利用上の注意

Bluetooth を使用していない時は、**Bluetooth** > **オフ** にするか、**自機名称公開** > **非公開** にしてください。

身元不明の機器とペアリングしたり、そのような機器からの接続要求を受け入れたりしないでください。これにより、本機を有害なコンテンツから保護することができます。

Bluetooth 接続でデータを送信する

Bluetooth を利用して、一度に複数の互換性のある機器と接続することができます。例えば、本機で Bluetooth 接続のヘッドセットを使用しながら、他の互換性のある機器にファイルを送信することも可能です。

データを送信する

1 **各アプリケーションから送信するアイテムを選択**

例）ギャラリーに保存されている画像を送信する
ｷﾞｬﾗﾘｰ > **画像とビデオ** > 送信するファイルを選択

2 **オプション > 送信 > Bluetooth の順に選択**

接続可能な範囲にある Bluetooth 機器の検出を開始します。機器が検出されると画面にその機器のアイコンと機器名が表示されます。

- アイコン
  -  - PC
  -  - 携帯電話
  -  - オーディオ、またはビデオ機器
  -  - その他
- Bluetooth 機器の検出を中断するには、**停止** を選択します。接続先の機器が検出されたら、**停止** を選択すると時間の短縮になります。
- Bluetooth がオフの場合は、メッセージが表示されるので、オンにしてください。

3 **画面に表示された Bluetooth 機器のリストから接続する機器を選択**

接続先が受信を承諾し、接続が確立すると画面に **データ送信中** と表示されます。

- ペアリング（相互認証）が必要な機器を選択すると、データを送信する前にトーンが鳴り、パスコードの入力を求められます。(「機器をペアリングする」P.185)


補足：Bluetooth 機器の検出時、機器によっては固有のアドレス（機器アドレス）しか表示されない場合があります。本機のデバイスアドレスを確認するには、待受画面で ***#2820#** と入力します。


補足：Bluetooth を利用して、テキストを送信するには、**ノート** を開き、文章を入力して、**オプション** > **送信** > **Bluetooth** の順に選択します。

Bluetooth 接続のステータスを確認する

- 待受画面に ✱ が表示されると、Bluetooth 接続が起動中です。
- (✱) が点滅している場合、接続先機器へ接続を試みています。
- (✱) が点滅せずに表示されている場合、Bluetooth で通信中です。

機器をペアリングする

本機と他の Bluetooth 機器をペアリングすると、認証済みとなり、次回の通信からその機器の識別が容易になります。認証済みの機器は、認証済み機器画面（ ）に表示されます。

ペアリングを実行するには、独自のパスコード (1-16 桁) を作成し、ペアリング先の機器とそのパスコードを交換する必要があります。ユーザインターフェースが備わっていない機器の場合、パスコードは工場出荷時に設定されています。作成したパスコードは 1 回の使用に限り有効です。

1 > **ツール** > **Bluetooth** > > **認証済み機器画面 ( ) の順に選択**

2 **オプション** > **機器検索** **を選択**

- 認証済み機器を検出すると、機器名の右横に が表示されます。

3 **ペアリングする機器をリストから選択**

パスコードの入力画面が表示されます。

4 **パスコード (1 ～ 16 桁）を本機に入力**

5 **同じパスコードをペアリング先の機器にも入力**

6 **ペアリングが確立すると、認証済み機器画面に機器名が表示される**

自動接続するかどうかメッセージが表示されます。詳細は後述の「Bluetooth 機器を自動接続する」を参照してください。

オーディオアクセサリなど機器によっては、ペアリングすると自動的に本機と接続される場合もありますが、自動的に接続されない場合はアクセサリを選択し、**オプション** > **オーディオ機器に接続** を選択します。

Bluetooth 機器を自動接続する

Bluetooth 機器をペアリングすると、機器を自動接続するかどうかを聞かれます。自動接続を設定すると、その機器との接続を通知なしで確立することができ、個別の認証は必要ありません。この設定は、自分が所有している互換性のある PC やヘッドセットなどの機器や、信頼できる所有者の機器間で使用してください。機器が認証されると、認証済み機器名の右横に、 が表示されます。

1 **認証済み機器画面 ( ) を選択**

2 **リストから設定する機器を選択** > **オプション** > **自動接続を設定** **を選択**

自動接続を解除する

自動接続を解除すると、この機器からの接続要求は、毎回個別に認証する必要があります。

1 **認証済み機器画面 ( ) を選択**

2 **解除する機器を選択** > **オプション** > **自動接続を解除** **を選択**

ペアリングを解除する

1 **認証済み機器画面 ( ) を選択**

2 **解除する機器を選択** > **オプション** > **削除** **を選択**

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

3 はい を選択

すべてのペアリングを解除する

1 オプション > すべて削除 を選択

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

Bluetooth 接続でデータを受信する

Bluetooth 接続でデータを受信すると、トーンが鳴り、確認メッセージが表示されます。

1 画面に Bluetooth の受信要求が表示

機器名もメッセージ内に表示されます。

2 はい を選択

データを受信すると、✉ が画面上部に表示され、受信のメッセージが表示され、**メール** の **受信メール** フォルダに保存されます。

- Bluetooth 接続で受信したメールのタイトルの前には、 が表示されます。(「メール受信」P.88)

Bluetooth 接続をオフにする

1 > ツール > Bluetooth の順に選択

2 Bluetooth > ◙ > オフ にする

赤外線通信

本機では赤外線通信を利用して、ビジネスカードやカレンダーノート、メディアファイルなどを互換性のある機器に送信することができます。

赤外線通信をご利用になる前に

- IR (赤外線) ビームを人の目に向けたり、他の IR 機器を妨害したりしないようにしてください。本機は、クラス 1 レーザ製品です。
- 本機と他の赤外線機器を 1 メートル以内に配置し、間に物を置かないでください。
- 赤外線ポートが互いに向き合った位置にあることを確認してください。

赤外線通信の利用

データを送信する

1 受信側の機器を赤外線受信可能状態にする

データの受信側が、赤外線通信ポートを有効にする必要があります。

2 各アプリケーションから送信するデータを選択し、オプション を選択

3 送信 > 赤外線通信 を選択

- 赤外線ポートを有効後、1分以内に転送が開始されない場合は、接続がキャンセルされます。再度接続を試みてください。

データを受信する

1 > **ツール** > **外部接続** > **赤外線** **の順に選択**

送信側より先に赤外線通信ポートを有効にします。

2 **データの受信が終了すると、待受画面に** **新着メッセージがあります□件** **と表示**

- 赤外線通信で受信したアイテムはすべて **受信メール** フォルダに入ります。
- 赤外線通信で受信した新規メッセージのタイトルの前には が表示されます。

赤外線通信のステータスを確認する

- 画面に が点滅している場合、接続先機器へ接続を試みているか、接続が失敗しています。
- 赤外線の接続が有効になると、画面に が点滅せずに表示されます。

リモート SIM モード

リモート SIM モードで、互換性のあるカーキットなどを接続する場合には、本機で Bluetooth をオンに設定し、リモート SIM モードを有効にします。(「Bluetooth を設定する」P.183) モードを有効にする前に、カーキットなどの他の機器と本機をペアリングをする必要があります。ペアリングは他の機器からおこない、16 桁のパスコードを入力して他の機器を認証します。(「機器をペアリングする」P.185) リモート SIM モードは他の機器から開始します。

本機でリモート SIM モードをオンに設定している場合、待受画面に **リモート SIM** が表示されます。ワイヤレスネットワークへの接続はオフになり、電波強度インジケータに が表示され、SIM カードサービスやセルラーネットワーク圏内での機能などが利用できません。

本機がリモート SIM モードに設定されている場合、カーキットなど、本機と接続した互換性のあるアクセサリからのみ発信 / 受信をおこなうことができます。リモート SIM モードを使用している間は、本機にプログラムされている海外の緊急電話番号を除き、本機から通話を行うことができません。本機から通話するには、まずリモート SIM モードを終了する必要があります。本機がロックされている場合は、最初にロックコードを入力してロックを解除する必要があります。

リモート SIM モードを終了するには、 を押し、**ﾘﾓｰﾄ SIM ﾓｰﾄﾞ終了** 選択します。

データケーブル

> **ツール** > **外部接続** > **USB**

USB モード では、本機と他の機器を USB ケーブルで接続する場合に、その接続先を指定します。

接続時に確認 を **はい** に設定すると、本機に USB ケーブルを接続するごとに、接続先を選択します。

接続時に確認 を **いいえ** に設定した場合や、接続中に **USB モード** を変更したい場合は、**USB モード** で接続先を選択します。

1 USB モード > を押す

2 接続先を次から選択し、OK を選択

- **PC Suite** - Nokia Nseries PC suite や Nokia Photos など Nokia PC アプリケーションを使用する場合に選択します。
- **データ転送** - 互換性のある PC と本機との間でデータを転送する場合に選択します。電話機のメモリカードを外付けハードディスクとして使用します。電話機にメモリカードが挿入されていない場合、この機能は使用できません。
- **画像印刷** - 互換性のあるプリンタを使用して画像を印刷する場合に選択します。(「画像を印刷する」P.137)
- **ﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｰﾔｰ** - Windows Media Player で音楽ファイルを転送する場合に選択します。(「Windows Media Player で音楽を 転送する」P.152)

データ転送

今まで使用していた互換性のある Nokia の電話機から本機へ、電話帳やカレンダーエントリなどのデータを Bluetooth 接続や赤外線通信を利用して転送することができます。互換性のない電話機の場合は、本機にメッセージが表示されます。転送可能なデータの種類は、機種によって異なります。他の機器に同期機能が搭載されている場合は、同期によってデータを転送することも可能です。

オフラインモードでもデータ転送は可能です。有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。

他の機器から転送されたコンテンツは、本機の対応するアプリケーションの保存領域にコピーされます。転送にかかる時間は、転送するデータ量によって異なります。いったん転送を解除して、後ほど再開することもできます。

Bluetooth でデータを転送する

Bluetooth でデータを転送するには、相互の機器が Bluetooth 機能に対応している必要があります。

1 > ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > ﾃﾞｰﾀ転送 の順に選択

転送方法が表示されます。

- はじめてデータ転送メニューに入ると、データ転送に関する情報が表示されるので、**続行** を選択してください。
- ２回目以降は、**同期開始**、**受信開始**、**送信開始** アイコンが表示されます。アイコンを選択すると、以前に接続した電話機名が表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**その他** を選択してください。(「データの同期 / 受信 / 送信」P.189)

2 Bluetooth を選択

メッセージが表示されるので、相手の機器の Bluetooth をオンにしてください。

- 本機の Bluetooth がオフになっているとオンにするようメッセージが表示されるので、**はい** を選択します。

3 続行 を選択

- はじめてデータ転送をおこなう場合は、Bluetooth 機器の検索が開始されます。
- ２回目以降の操作については、「データの同期 / 受信 / 送信」(P.189) を参照してください。

4 接続する機器を選択する

パスコード定義のメッセージが表示されます。

5 OK を選択

本機にパスコード（1～16桁）の入力画面が表示されます。

6 本機にパスコードを入力 > OK を選択

相手の機器にパスコードの入力画面が表示されます。

7 接続先にも同じパスコードを入力

接続が確立すると、本機にデータ選択画面が表示されます。

- 転送できるデータは電話機により異なります。
- 電話機の機種によっては、**データ転送** アプリケーションは、メッセージとして送信されます。相手の機器に **データ転送** アプリケーションをインストールするには、メッセージを開いて、画面に表示されるインストラクションに従ってください。

8 本機に転送するデータを選択 > OK を選択

転送が完了するとメッセージが表示されます。

■ 赤外線通信でデータを転送する

赤外線通信でデータを転送するには、相互の機器が赤外線機能に対応している必要があります。

1 「Bluetooth でデータを転送する」の操作 1

2 赤外線通信 を選択

メッセージが表示されるので、相手の機器の赤外線通信機能を有効にします。

- お互いの赤外線ポートが向き合うように、機器を配置してください。

3 本機の 続行 を選択

接続中のメッセージが表示され、接続が完了すると、データ選択リストが表示されます。

- 転送できるデータは、電話機により異なります。

4 本機から転送するデータを選択 > OK を選択

転送が完了するとメッセージが表示されます。

■ データの同期 / 受信 / 送信

最初のデータ転送後に、新たにデータを転送する場合は、相手の機器により、次の操作を選択してください。

- （**同期開始**）- 相手の機器が同期をサポートしている場合、本機とデータの同期をおこないます。同期は双方向におこなわれ、同期中にどちらかの機器でデータ

が削除されると、もう一方の機器でもデータが削除されます。同期で削除したデータを復元することはできません。

- (**受信開始**) - 相手の機器からのデータを本機で受信します。受信をおこなうと、相手の機器から本機へデータが転送されます。相手の機種によっては、相手の機器のオリジナルデータを削除するかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。
- (**送信開始**) - 本機から相手の機器へデータを送信します。

相手の機種によって、**ﾃﾞｰﾀ転送** でデータを転送できない場合、データを **Nokia フォルダ** (電話機メモリの **C:\Nokia**、またはメモリカードの **E:\Nokia**）に保存して、そこから転送することができます。転送するフォルダを選択した場合、データは相手の機器の対応するフォルダと同期されます。データを受信する場合も同様に対応するフォルダのデータが同期されます。

データを同期する

相手の機器が同期をサポートしている場合は、両方の機器でデータを最新の状態に保つことができます。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** > (**同期開始**) **の順に選択**

以前に接続した電話機のリストが表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**その他** を選択します。

2 同期する電話機を選択 > **続行 を選択**

画面にメッセージが表示されるので、指示に従ってください。

- 以前に接続した時と同じ転送方法で同期を開始します。

同期は双方向におこなわれ、両方の機器のデータが同じになります。同期中にどちらかの機器でデータが削除されると、もう一方の機器でもデータが削除されます。同期で削除したデータを復元することはできません。

■ ショートカットを使った転送

データ転送後に、転送設定をショートカットとして保存することができます。保存したショートカットを使用して、後で再度転送をおこなうことができます。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** **の順に選択**

2 保存したショートカットを選択

転送後には、転送のログが表示されます。

■ ショートカットを編集する

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** **の順に選択**

2 編集するショートカット > **ショートカット設定 を選択**

同期データタイプ、**競合時の設定**、**接続タイプ**、**自動接続を許可**、**ショートカット名** を編集することができます。

■ 転送ログを確認する

前回行った転送のログを表示することができます。

1 ⚙ > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** > **オプション** > **ログ表示** の順に選択

■ データ競合の処理

転送されるアイテムが本機と相手の機器の両方で修正された場合、本機では修正を自動的にマージしようとします。マージができなかった場合、転送でデータの競合がおこります。競合を解決するには、**オプション** > **ショートカット設定** > **競合時の設定** で、**個別に確認**、**本電話機を優先**、または **相手電話機を優先** のいずれかを選択します。

その他データ通信

■ PC 接続

本機は、さまざまな PC 接続アプリケーションとデータ通信アプリケーションで使用できます。Nokia Nseries PC Suite を使用すると、電話帳、カレンダー、To-do、画像などを、本機と互換性のある PC との間で同期させることができます。インストールできる PC の環境については「Nokia Nseries PC Suite」(P.251)を参照してください。

本機をモデムとして使用する

本機は、Bluetooth 接続、赤外線、データケーブルで互換 PC と接続することによって、E-mail の送受信やインターネットへの接続用モデムとして使用できます。インストール手順の詳細については、Nokia Nseries PC Suite のヘルプ機能を参照してください。



補足 : 最初に Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC と本機を接続する場合は、Nokia Nseries PC Suite に搭載されている 接続ウィザードをお使いください。

赤外線でデータ通信をおこなう

1 ⚙ > **ツール** > **外部接続** > **モデム** > **接続** の順に選択

・ 本機と PC の赤外線ポートが互いに向き合っており、間に障害物がないことを確認してください。(「赤外線通信」P.186)

■ 同期

⚙ > **ツール** > **同期**

同期 を利用して、ノート、カレンダー、電話帳などを、互換性のある PC、あるいはインターネット上にある各種カレンダーや、アドレス帳などのアプリケーションと同期することができます。同期の設定を定義したり、変更したりすることも可能です。

同期プロファイルでは、サーバ上のリモートデータベースや互換性のある機器と同期するために必要な設定をおこないます。

新しい同期プロファイルを作成する

1 **オプション** > **新規同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** を選択

メッセージが表示されます。
- 既存のプロファイルの値をコピーする場合は、**はい**、新しく値を設定する場合は、**いいえ** を選択します。

2 次の機能を設定し、完了 を選択

同期プロファイル名 - プロファイルの名前を入力します。

アプリケーション - 各種アプリケーションの同期設定をおこないます。

- **同期に含める** - そのアプリケーションを同期する場合は、**はい** を選択します。
- **ﾘﾓｰﾄﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ** - リモートサーバ上の各アプリケーションのデータベースへのパスを入力します。
- **同期タイプ** - **両方向** (双方向の同期)、**サーバ側を更新**、**電話機側を更新** のいずれかを選択します。

接続設定 - 同期用サーバに対する設定をおこないます。

- **サーババージョン** - 同期サーバのバージョンを選択します。
- **サーバ ID** - サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **データベアラ** - **Bluetooth** または **インターネット** を選択します。USB ケーブルで接続する場合は、「データケーブル」(P.187) を参照してください。
- **アクセスポイント** - アクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - 正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名** - 同期サーバに使用するユーザ ID。正しい ID については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **パスワード** - パスワードを入力します。正しい値についてはサービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **同期要求を許可** - 同期サーバが同期を開始できるように設定するには、**はい** を選択します。
- **全同期要求を自動承認** - サーバが初期化した同期を開始する前に、本機がメッセージを表示するように設定するには、**いいえ** を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

データを同期する

同期 のメイン表示では、他の同期プロファイルや同期させるデータの種類を表示することができます。

1 同期プロファイルを選択 > オプション > 同期 を選択

データベアラ で **Bluetooth** を選択した場合、Bluetooth で他機器の検索が開始されます。前回使用した機器がある場合は、その機器名が表示されます。
- Bluetooth がオフの場合、オンにするようにメッセージが表示されます。

2 相手先を選択 > ◙ を押す

同期のステータス (「完了」または「未完了」) が、画面下部に表示されます。同期が完了すると、メッセージが画面に表示されます。

- 完了前に同期を中断するには、**キャンセル** を選択します。
- 電話機側から同期ができない場合、Nokia Nseries PC suite を利用して PC 側から同期をおこなってください。

プロファイルを編集する

1 変更する同期プロファイルを選択 > オプション > 同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ編集 を選択

同期プロファイルを削除する

1 削除するプロファイルを選択 > オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 はい を選択

デバイスマネージャ

携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門からサーバプロファイルや各種構成設定を受信できる場合があります。これらの構成設定には、データ接続用のアクセスポイント設定や、本機内の各種アプリケーションで使用する設定などがあります。

サーバに接続して、本機用の構成設定を受信する

1 > ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > デバイス > > 受信するプロファイル > オプション > 設定開始 の順に選択

サーバプロファイル設定

を押して、**プロファイル** タブを選択

新しいサーバプロファイルを追加するには、**オプション** > **新規ｻｰﾊﾞﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** を選択してください。正確な設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

- **サーバ名** - 構成サーバの名前を入力します。
- **サーバ ID** - 構成サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **サーバパスワード** - お客様の電話機をサーバに識別させるパスワードを入力します。
- **セッションモード** - セッションモードを選択します。
- **アクセスポイント** - サーバに接続するときに使用するアクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - サーバの URL アドレスを入力します。
- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名** / **パスワード** - ユーザ名とパスワードを入力します。
- **構成を許可** - サーバに接続して、本機用の構成設定を受信するには、**はい** を選択します。
- **全要求自動承認** - サーバからの構成設定の受信を許可するかどうか確認したうえで受信するようにするには、**いいえ** を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

ディスプレイ設定

テーマ設定

> **ツール** > **設定** > **一般** > **カスタマイズ** > **テーマ**

1 **一般** > **テーマを選択し、オプション** > **適用を選択**

使用中のテーマには、✓ が表示されます。

- テーマを設定する前にプレビューするには、**オプション** > **プレビュー** を選択します。

壁紙を設定する

1 **壁紙** > **画像 を選択**

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されている静止画のリストが開きます。

2 **壁紙に設定する静止画を選択**

設定した壁紙を解除する

1 **壁紙** > **デフォルト を選択**

パワーセーバーの表示を変更する

1 **ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰ を選択**

2 **日時表示、テキスト表示、または アニメーション を選択**

- **アニメーション** を選択した場合、**ｱﾆﾒｰｼｮﾝﾌｧｲﾙ**、**ｱﾆﾒｰｼｮﾝ表示時間**、**ライト点灯時間** を設定します。**オプション** > **プレビュー** で設定した **アニメーション** を確認することができます。設定内容を変更するには、**オプション** > **変更** を選択します。
- **ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰ起動時間** を設定する場合は、「画面」(P.201) を参照してください。

日時設定

> **アプリ** > **時計** > **オプション** > **設定**

時計表示設定

1 **時計のタイプ を選択**

2 **■ を押して、アナログ または デジタル を選択**

時刻表示形式 あるいは **時刻区切り文字** も設定することができます。

日付時刻設定

1 **時刻** > **時刻を入力** > **OK を選択**

2 **日付** > **日付を入力** > **OK を選択**

- ダイヤルキー、またはナビゲーションキーを使用して入力することができます。

- **ネットワーク時刻** を **自動更新** に設定すると、携帯電話ネットワークを使用して本機の時刻、日付、タイムゾーンが更新され、時刻の誤差が調整されます (ネットワークサービス)。日本国内ではタイムゾーンが更新され、それに伴い日時も変更されますが時刻の誤差調整は行なわれません。海外においては、ローミングネットワークが対応している場合は時刻の誤差も調整されます。
- **日付形式**、**日付区切り文字** を設定することもできます。

アラームを設定する

1 > **アプリ** > **時計** > を押す

アラームタブが開きます。

2 オプション > **新規アラーム** を選択

次の設定をおこないます。

- **アラーム時刻**
- **説明** - アラームの説明を入力します。
- **繰り返し** - **繰り返しなし**、**毎日**、**毎週**、**アラーム曜日** から選択します。**アラーム曜日** を選択すると、**オプション** > **設定** > **アラーム曜日** で指定した曜日に毎週アラームが設定されます。
- **アラーム曜日** - **繰り返し** で **繰り返しなし**、または **毎週** を選択した場合に、曜日を指定することができます。

3 完了 を選択

待受画面に が表示されます。

4 アラームが鳴ったときに停止する場合は、停止 を選択

- **スヌーズ** を選択した場合、アラームはいったん停止しますが、約 5 分後に再び鳴り始めます。
- アラーム音を変更する場合は、**オプション** > **設定** > **アラーム音** を選択します。

> **アプリ** > **時計** > **オプション** > **新規クイックアラーム** の順に選択し、アラーム時刻を入力して、繰り返しのないアラームを設定することもできます。

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。**停止** を選択すると、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は **いいえ** を選択します。電話をかけたり受けたりする場合は **はい** を選択します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、**はい** を選択しないでください。

アラームを変更する

1 変更するアラームを選択 > オプション > アラーム変更 > を押す

2 設定を変更し、完了 を選択

■ アラームを削除する

1 解除するアラームを選択 > オプション > アラーム削除 の順に選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

アラームが削除されます。

■ 世界時計

> アプリ > 時計 > を 2 回押す

都市を追加する

1 オプション > 都市追加 を選択

- 都市名の最初の文字を入力します。(「都市を設定する」P.32)

2 都市を選択し、 を押す

- 最大 15 都市まで設定することができます。

現在地の設定をする

1 設定する都市を選択し、オプション > 現在の都市に設定 > はい の順に選択

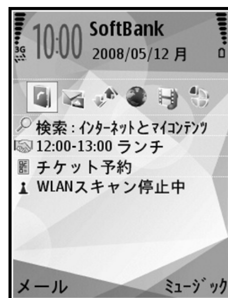
- 時刻とタイムゾーンが合っているかを確認してください。

夏時間のある都市に設定すると、**時計** の現在時刻表示画面の右横に、 が表示されます。

カスタム待受画面

待受画面から頻繁に使用するアプリケーションを起動したり、予定などを素早く確認したりすることができます。

画面上部にデフォルトとして設定されたアプリケーションのアイコンが表示され、その下にカレンダー、To-do など保存されている予定が表示されます。



> ツール > 設定 > 一般 > カスタマイズ > 待受画面のキー設定

■ カスタム待受画面を設定 / 解除する

1 カスタム待受画面 > オプション > 変更 > オン または オフ の順に選択

- デフォルトではオンになっています。オフにすると待受画面からショートカットアイコンや、予定の表示が消えます。
- カスタム待受画面がオンの場合、待受画面で使用できる標準のナビゲーションキーショートカットが使用できなくなります。

■ 起動するアプリケーションを変更する

1 ショートカット、または カスタム待受画面設定 を選択

- **カスタム待受画面設定** は **カスタム待受画面** が **オン** の場合に表示されます。

2 ショートカットを選択し、オプション > 変更 を選択

ショートカットとして設定できるアプリケーションのリストが表示されます。

3 アプリケーションを選択し、OK を選択

補足：ソフトキー（左・右）、ナビゲーションキー（上・下・左・右）、決定キーに登録されているショートカットを変更することができます。（「待受画面のキー設定」P.201）ナビゲーションキーと決定キーは **カスタム待受画面** がオフの場合に表示されます。

■ ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを設定する

1 > ツール > 設定 > 一般 > カスタマイズ > 画面 > ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ の順に選択

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを変更することができます。（「画面」P.201）

■ メインメニュー表示を変更する

リスト表示 / アイコン表示を選択する

メインメニュー表示をリスト表示またはアイコン表示に変更することができます。

1 > オプション > メニュー表示変更 > アイコン、または リスト の順に選択

アニメーションアイコンを使用する

1 > オプション > ｱｲｺﾝｱﾆﾒｰｼｮﾝ > オン の順に選択

アプリケーションを移動する

アプリケーションを移動して位置を変更したり、新しいフォルダを作成することができます。

1 > 移動するアプリケーションを選択 > オプション > 移動、フォルダへ移動 または 新規フォルダ の順に選択

英語表示に切り替える

1 > ツール > 設定 > 一般 > カスタマイズ > 言語 > 表示言語 > English の順に選択

本機が自動的に再起動し、選択した言語表示となります。

音の設定

モードの設定

本機ではあらかじめ、次のモードが登録されています。これらのモードをお好みで変更することもできます。

・ **通常モード** - 初期設定では電話やメールの着信音、キー確認音や警告音がオン、バイブレータがオフの設定になっています。お買い上げの際は、このモードが設定されています。
・ **マナーモード** - 初期設定では、着信音がオフ、バイブレータがオンになっています。(「マナーモード」P.34)
・ **会議モード** - 初期設定では、着信音がもっとも小さい音量で、ビープ音が鳴る設定になっています。
・ **屋外モード** - 初期設定では、着信音がもっとも大きい音量に設定されています。
・ **ﾎﾟｹﾍﾞﾙﾓｰﾄﾞ** - 初期設定では、着信音がオフ、バイブレータがオンに設定されています。
・ **ｵﾌﾗｲﾝﾓｰﾄﾞ** - ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。(「オフラインモード」P.35)



補足 : 現在選択されているモードは、待受画面の上部で確認できます。**通常モード** が使用されている場合は、現在の日付だけが表示されます。

■ 使用するモードを変更する

1 ⓘ を短く押す

モードリストが表示されます。

2 ◎または◎を押してモードを選択し、OK を選択

• > **ツール** > **モード** > モード選択 > **オプション** > **開始** を選択して、変更することもできます。

■ 新しいモードを作成する

1 > ツール > モード > オプション > 新規モード作成 の順に選択



補足 : **発信者名を発音** > **オン** を選択すると、電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときに、その人の名前を着信音と同時に発声することができます。あらかじめ **電話帳** に通話相手の登録をしておく必要があります。(「声で電話をかける」P.67)

・ 作成した新規モードを削除するには、削除するモード > **オプション** > **モード削除** の順に選択します。

着信音量の設定

1 > **ツール** > **モード** > **モード選択** > **オプション** > **カスタマイズ** の順に選択

2 **着信音量** を選択

3 または を押し、音量レベルを選択

- 音量レベルは、1～10 段階から選択できます。
- 変更した音量レベルを選択したまま数秒間待つと、自動的に着信音が再生され、設定した音量を確認することができます。

着信パターンの設定

> **ツール** > **モード** > **モード選択** > **オプション** > **カスタマイズ**

■ 着信音を設定する

著作権で保護されているファイルは着信音に設定できません。

1 **着信音** を選択

着信音のリストが表示されます。

2 または を押し、着信音を選択



- メモリカードに保存されている着信音には、 が表示されます。
- 着信音リストから着信音を試聴することができます。試聴する着信音を選択し、数秒待つと着信音が再生されます。再生音を停止する場合は、いずれかのキーを押します。
- **テレビ電話着信音**、**メッセージ受信音**、**E-mail 受信音** についても同様に設定することができます。

■ 着信音の再生方法を設定する

1 **着信音の再生方法** を選択

2 **通常着信音**、**次第に大きく**、**再生一回**、**ビープ音一回**、**着信音なし** から選択

■ バイブレータを設定する

1 **バイブレータ** を選択

2 **オン** を選択

- バイブレータが有効となります。

効果音 - キー確認音の設定

1 > **ツール** > **モード** > モード選択 > **オプション** > **カスタマイズ** の順に選択

2 **キー確認音** を選択

3 または を押し、キー確認音量レベルを選択

- 音量レベルは、オフ～レベル 3 から選択できます。
- キー確認音リストから各レベルを選択すると、その音量が再生され、実際のキー確認音量を確認することができます。

発信者名を発音、**警告音** についても同様に設定することができます。

3D 着信音

3D 着信音では着信音に 3D 効果を設定することができます。すべての着信音で 3D 効果をサポートしているわけではありません。

> **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **3D 着信音**

3D 効果を有効にする

1 **3D サウンド効果** > **オン** を選択

3D 効果を変更する

1 **音源の動き** を選択

2 リストから音源の動きを選択 > **OK** を選択

効果は着信音によって異なります。

3D 効果を調整する

次の設定を変更し、3D 効果を調整することができます。この設定はすべての着信音で有効であるとは限りません。**音源の速度** と **ドップラー効果** については、**音源の動き** のすべてのオプションに対応するとは限りません。

- **音源の速度** - 音源が移動するスピードを設定します。
- **音場効果** - エコーのレベルを調節します。お好きな効果音を選択します。効果は着信音によって異なります。
- **ドップラー効果** - **オン** に設定すると、着信音の音の高さが変化し、音が低くなったり高くなったりします。**音源の動き** で選択したオプションによっては、表示されない場合があります。

補足： 3D 効果を適用した着信音を聞いてみるには、**オプション** > **着信音テスト** を選択します。

その他の設定

一般設定

カスタマイズ

> **ツール** > **設定** > **一般** > **カスタマイズ**

本機の一般的な設定を変更したり、デフォルト値に戻したりすることができます。

画面

1 画面 を選択

明るさ - ディスプレイの表示を明るくしたり暗くしたりできます。画面の明るさは、 または で調整してください。

フォントサイズ - 画面に表示される文字とアイコンの大きさを調節します。

パワーセーバー起動時間 - タイムアウト時間が過ぎるとパワーセーバーが表示されます。

ウェイクアップメッセージ / ロゴ - 本機の電源を入れると、ウェイクアップメッセージまたはロゴが数秒間表示されます。デフォルト画像を使用する場合は、**デフォルト** を選択し、ウェイクアップメッセージ (英字で最大 50 文字まで) を入力する場合は、**テキスト** を選択します。また、**ギャラリー** で写真や画像を選択する場合は、**画像** を選択します。

ライト点灯時間 - バックライトがオフになるまでのタイムアウト時間を選択します。

待受画面のキー設定

1 待受画面のキー設定 を選択

カスタム待受画面 - 待受画面でアプリケーションのショートカットを表示します。(「カスタム待受画面」P.196)

ショートカット - 待受画面でショートカットを左ソフトキー (または右ソフトキー) に設定するには、**左ソフトキー** または **右ソフトキー** を選択し、リストからアプリケーションを選択します。


補足：リストからアプリケーションを選択することにより、ナビゲーションキーのショートカットを登録することもできます。**カスタム待受画面** がオンである場合、ナビゲーションキーのショートカットは使用できません。

カスタム待受画面設定 - カスタム待受画面に表示するアプリケーションを選択します。あらかじめ **カスタム待受画面** が **オン** となっている必要があります。

オペレータロゴ - この設定はオペレータロゴを受信して保存している場合にのみ表示され、オペレータロゴを表示するかどうかを選択できます。

言語の設定

1 言語 を選択

表示言語 - 本機の表示言語を変更すると、日時の表示形式や計算などで使用する区切り記号も変わります。**自動** を使用すると、USIM カードの情報に応じて言語が選択されます。表示言語を変更すると、本機が再起動します。

補足：表示言語 の設定変更は、本機のすべてのアプリケーションに影響します。この変更は設定を再度変更するまで変わりません。

日本語予測 - 本機のすべてのエディタに対して日本語予測文字入力を **オン** または **オフ** に設定できます。

予測辞書リセット - 日本語予測辞書をリセットします。変換した文字は、自動的に変換候補リストに記録されます。お客様がユーザ辞書に登録した単語や頻繁に使用する単語が、変換候補リストの上位に表示されます。変換候補リストは初期値にリセットされますが、お客様がユーザ辞書に登録した単語は影響を受けません。

英語予測 - 本機のすべてのエディタに対して英語予測文字入力を **オン** または **オフ** に設定できます。

ｷｰ入力ﾀｲﾑｱｳﾄ - テキスト入力時に、次の文字にカーソルが移動するまでの時間を選択することができます。

アクセサリ設定

> ツール > 設定 > 一般 > アクセサリ > アクセサリを選択

アイコン

本機にアクセサリを接続すると、待受画面にアイコンが表示されます。

- 互換性のあるイヤホンマイク接続中
- カーキット接続中

ヘッドセット、**ヘッドホン**、**無線カーキット**、**外部スピーカー**、**TV 出力**、**文字電話** を選択し、**オプション** > **開く** を選択します。次の設定をおこなうことができます。（文字電話のアクセサリは現在国内では販売されておりません。）

表示されるオプションはアクセサリによって異なります。

デフォルトモード - 特定のアクセサリを接続した場合に、開始されるモードを設定します。(「着信パターンの設定」P.199)

自動応答 - 着信してから約５秒後に、自動応答するように設定します。着信音が **ビープ音一回** または **着信音なし** に設定されている場合は、自動応答は無効となります。

ライト - タイムアウト時間が過ぎた後、ライトをオンにしたままの状態にするか、オフにするかを設定します。この設定はアクセサリによって設定できない場合があります。

TV 出力

TV 出力の設定を変更するには、**TV 出力** > **オプション** > **開く** を選択します。次の設定をおこなうことができます。

デフォルトモード - ビデオ出力ケーブルを本機に接続した場合に、開始されるモードを設定します。

TV 画面サイズ - TV の縦横比 (アスペクト比) を **標準** または **ワイドスクリーン** から選択します。

TV システム - TV と互換性のあるアナログビデオ信号システムを選択します。

ちらつき防止フィルタ - TV 画面のちらつきを防止するには **オン** を選択します。ちらつき防止フィルタはすべての TV 画面で画像のちらつきを低減するわけではありません。

■ 位置情報機能

> **ツール** > **設定** > **一般** > **位置情報機能**

位置情報取得方式

本機の位置を確認するために使用する位置情報方式を選択します。

- **Bluetooth GPS** - Bluetooth 接続で互換性のある外部 GPS 受信機を使用します。
- **アシスト型 GPS** - アシスト型 GPS(A-GPS) を使用します。
- **内蔵 GPS** - 本機に内蔵されている GPS 受信機を使用します。
- **ﾈｯﾄﾜｰｸﾍﾞｰｽ** - セルラーネットワーク (ネットワークサービス) からの情報を使用します。

位置情報サーバ

A-GPS の **アクセスポイント** と **サーバアドレス** を設定します。あらかじめサービスプロバイダの **位置情報サーバ** が定義されている場合、設定を変更できない場合があります。

電話機設定

■ 通話設定

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話**

発信者番号通知 (ネットワークサービス) - 詳細については、「発信者番号通知」(P.83) を参照してください。

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話番号通知 - インターネット電話利用時に、通話相手にインターネット電話番号を通知する場合は、**オン** を選択し、非通知にする場合は、**オフ** を選択します。

割込通話サービス (ネットワークサービス) - 詳細については、「割込通話サービス」(P.81) を参照してください。

インターネットコールウェイティング - 通話中にインターネット電話を着信したことを通知するには、**有効** を選択します。

インターネット着信通知 - インターネット電話を着信したことを通知するには、**オン** を選択します。**オフ** を選択した場合、着信しても通知されませんが、不在着信を知らせるメッセージが表示されます。

デフォルト電話タイプ - を押して電話をかけるときに **インターネット電話** をデフォルトとして使用する場合は、**インターネット電話** を選択します。インターネット電話サービスが利用できない場合、通常電話が使用されます。

通話拒否時 SMS 送信 - 電話に応答できない理由を知らせる SMS を発信者に送信する場合は、**オン** を選択します。(「電話にでられないとき」P.69)

通話拒否時定型文 - 応答を拒否したときに SMS で送信する本文を入力します。

テレビ電話の静止画 - テレビ電話がかかってきた場合に映像送信を拒否できます。映像のかわりに表示する静止画を選択します。

国際アクセスコード置換 - 日本から国際電話をかけるときに使用する特定の国際電話アクセス番号がある場合は、**オン** を選択して、国際電話アクセス番号を入力します。+ 記号で始まる電話番号を電話帳に保存し、国コードが 81 でない（81 は日本の国コード）場合、その番号に電話をかけると、+ 記号がここで保存したアクセス番号に置き換えられます。保存したアクセス番号が使用されていない国から通話するときは、**オフ** を選択します。この設定は、電話、テレビ電話、データ通信、FAX 通信の場合のみ有効ですが、携帯電話事業者間のローミング契約によって異なることがあります。詳細については、「世界対応ケータイサービスガイド」を参照してください。

自動リダイヤル - **オン** を選択すると、電話がつながらない場合に最大 10 回まで自動的に電話をかけ直すことができます。自動リダイヤルを停止するには、 を押します。

通話時間表示 - 通話中に通話時間を本機に表示させる場合は、**オン** を選択します。

通話後の情報表示 - 通話後のおおよその通話時間を本機に表示させる場合は、**オン** を選択します。

ワンタッチダイヤル - **オン** を選択すると、ワンタッチダイヤルキー（ 2 ～ 9 ） を長く押すことで、そのキーに登録した番号に電話をかけることができます。(「ワンタッチダイヤルで電話をかける」P.67)

エニーキーアンサー - **オン** を選択すると、どのキー（ 、 、 、 は除く) を押しても、かかってきた電話に応答できるようになります。

ネットワーク

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **ネットワーク**

本機は、GSM ネットワークと WCDMA ネットワークを自動的に切り替えることができます。GSM ネットワークの場合、待受画面に が表示されます。WCDMA ネットワークの場合は 3G が表示されます。

ネットワークモード - デフォルトの **デュアルモード** が選択されている限り、ネットワークパラメータと携帯電話事業者間でのローミング契約に基づいて、本機が自動的に GSM または WCDMA ネットワークを使用します。ローミングについて詳しくは、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。



警告：GSM ネットワークだけを使用するよう設定し、選択したネットワークが使用できない場合は、緊急電話を含むすべての電話が発信できなくなる、またはネットワーク接続が必要になる機能が使用できなくなります。

携帯電話事業者選択 - **自動** を選択すると、本機がネットワークを検索して利用可能なネットワークの 1 つを選択するように設定されます。**手動** を選択すると、ネットワークリストでネットワークを手動で選択できます。手動で選択したネットワークが切れると、エラー音が鳴って、ネットワークを再接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択するネットワークは、ソフトバンクとローミング契約している必要があります。



用語：ローミング契約とは、2 つ以上の携帯電話事業者間の契約です。ある携帯電話事業者のユーザが他の携帯電話事業者を使用できるようになります。

セル情報表示 - **オン** を選択すると、本機がマイクロセルラーネットワーク (MCN) 技術に基づくセルラーネットワークで使用中であることが表示されるとともに、セル情報の受信を開始するように設定されます。

接続設定

> **ツール** > **設定** > **接続**

本機は、GSM ネットワークの GPRS などのパケットデータ接続に対応しています。本機を WCDMA や GSM ネットワークで使用する場合は、複数のデータ接続を同時に使用したり、複数のアクセスポイントで 1 つのデータ接続を共有したり、通話中にデータ接続を使用中のままにしたりできます。

データ接続を確立するには、アクセスポイントが必要となります。次の種類のアクセスポイントを指定することができます。

- MMS の送受信をおこなう MMS アクセスポイント

・ WML や XHTML ページを表示するインターネットアプリケーション用のアクセスポイント
・ E-mail の送受信をおこなうインターネットアクセスポイント (IAP)

別のサービスプロバイダのアクセスポイントを設定し、各アプリケーションでそのアクセスポイントを使用する設定に変更した場合は、ソフトバンクのサービスがご利用できなくなります。

アクセスポイント

- パケットデータアクセスポイント

- 無線 LAN アクセスポイント

本機にアクセスポイントがすでに設定されている場合があります。

が表示されているアクセスポイントは、保護されています。編集や削除はできません。

補足：WLAN ウィザードを使って無線 LAN アクセスポイントを作成することができます。(「待受画面から無線 LAN を利用する」P.180)

新規アクセスポイントを作成する

1 アクセスポイント > オプション > 新規アクセスポイントの順に選択し、項目を入力

接続名 - わかりやすい名前を入力します。

データベアラ - データ接続の種類を選択します。選択したデータ接続に応じて、特定の設定フィールドだけが設定可能になります。

- データ接続を使用できるようにするには、ネットワークサービスプロバイダがこの機能に対応しているとともに、必要な場合に、お客様の USIM カードでこの機能を有効にする必要があります。
- 赤のアスタリスクが表示されているフィールドには、入力が必要です。他のフィールドは、特にサービスプロバイダからの指示がない限り、空欄のままにできます。
- 既存のアクセスポイントをコピーして、新規アクセスポイントを作成するには、**オプション** > **アクセスポイント複製** を選択します。
- 詳細については、サービスプロバイダの指示に従ってください。
- アクセスポイントの内容を変更する場合は、**オプション** > **編集** を選択します。
- アクセスポイントを削除するには、 C を押します。

アクセスポイント設定

1 アクセスポイント > 設定するアクセスポイントを選択

アクセスポイント名 - アクセスポイント名はパケットデータネットワークや WCDMA ネットワークと接続する場合に必要で、サービスプロバイダから入手できます。

ユーザ名 - ユーザ名はデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、ユーザ名では大文字と小文字が区別されます。

パスワード確認 - サーバにログインするたびに新しいパスワードを入力する必要がある場合や、本機にパスワードを保存したくない場合は **はい** を選択します。

パスワード - パスワードはデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

認証 - **標準** または **安全** を選択します。

ホームページ - お客様の設定内容に応じて、URL アドレスまたは MMS センターのアドレスを入力します。

オプション > **詳細設定** を選択し、詳細設定をおこなうこともできます。

- **ネットワークタイプ** - 使用するインターネットプロトコルのタイプとして、**IPv4** または **IPv6** を選択します。
- **電話機 IP アドレス** (IPv4 のみ) - 電話機の IP アドレスを入力します。
- **DNS アドレス** - **1 次 DNS アドレス** には、1 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。**2 次 DNS アドレス** には、2 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。これらのアドレスを入手するには、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** - プロキシサーバを設定します。
- **プロキシポート番号** - プロキシサーバのポート番号を設定します。

無線 LAN アクセスポイント設定

1 **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** > **設定するワイヤレス LAN アクセスポイントを選択**

設定については無線 LAN サービスプロバイダの指示に従ってください。

WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸ名 - **手動入力** または **ﾈｯﾄﾜｰｸ名検索** を選択します。既存のネットワークを選択した場合、そのネットワークのアクセスポイント機器の設定によって **WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞ** と **WLAN ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ** が設定されます。

ネットワーク状態 - ネットワーク名を表示させるかどうかを設定します。

WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞ - 無線 LAN アクセスポイント経由でインターネットに接続するには **ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ** を選択します。アドホックネットワークを確立し、無線 LAN アクセスポイント機器を経由せず機器間で直接データの送受信をおこなう場合は、**アドホック** を選択します。アドホックネットワークでは、全ての機器が同じ **WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸ名** を使用する必要があります。

WLAN ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ - 使用する暗号化を **公開ネットワーク**、**WEP**、**802.1x**(アドホックネットワークでは設定できません)、または **WPA/WPA2** から選択します。**公開ネットワーク** を選択した場合、暗号化は使用されません。ネットワークがサポートしている場合にのみ、WEP、802.1x、WPA を使用することができます。

WLAN セキュリティ設定 - 選択したセキュリティモードの設定をおこないます。

WEP セキュリティ設定 :

- **使用する WEP キー** - WEP キー番号を選択します。WEP キーは４つまで作成することができます。無線 LAN アクセスポイント機器でも同様の設定をおこなう必要があります。
- **認証タイプ** - 本機と無線 LAN アクセスポイント機器間の認証タイプを **オープン** または **共有** から選択します。
- **WEP キー設定** - **WEP 暗号化** (キーの長さ)、**WEP キー形式** (**ASCII** または **16 進**)、**WEP キー** (選択された形式の WEP キーデータ) を入力します。

802.1x/**WPA/WPA2** セキュリティ設定 :

- **WPA/WPA2** - 認証方法を選択します。EAP(extensible authentication protocol) プラグインを使用する場合は **EAP** を選択し、パスワードを使用する場合は **事前共有キー** を選択します。それぞれ次の設定をおこないます。
- **EAP プラグイン設定** (**EAP** を選択した場合) - 設定についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **事前共有キー** (**事前共有キー** を選択した場合) - パスワードを入力します。無線 LAN アクセスポイント機器で、同じパスワードを入力する必要があります。
- **WPA2 のみモード** (**WPA/WPA2** を選択した場合) - TKIP(Temporal Key Integrity Protocol) を使用するかどうかを設定します。

ホームページ - ホームページを設定します。

オプション > **詳細設定** を選択し、詳細設定をおこなうこともできます。

- **IPv4 設定** : **電話機 IP アドレス** (本機の IP アドレス) を指定することができます。**電話機 IP アドレス** を指定した場合、**サブネットマスク** (サブネット IP アドレス)、**ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ** (ゲートウェイ) を指定する必要があります。また、**DNS アドレス** に、1 次 /2 次 DNS サーバの IP アドレスを指定することもできます。アドレスについてはサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **IPv6 設定** > **DNS アドレス** - **自動**、**固定**、または **ユーザ定義** から選択します。

- **アドホックチャンネル** (**アドホック** を選択した場合のみ) - 手動で 1 ～ 11 のチャンネル番号を入力する場合は **ユーザ定義** を選択します。
- **ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** - プロキシサーバのアドレスを入力します。
- **プロキシポート番号** - プロキシポート番号を入力します。

パケット接続

1 パケット接続 を選択

パケットデータ設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響します。

パケット接続 - **可能時** を選択していて、パケットデータ対応のネットワーク圏内にいる場合、本機がパケットデータネットワークに登録されます。また、パケットデータ接続が開始されると、接続 (例えば、E-mail の送受信) が速くなります。**必要時** を選択した場合は、パケットデータ接続を必要とするアプリケーションや操作を開始する場合にのみパケットデータ接続が使用されます。パケットデータ通信圏にいないときに **可能時** を選択すると、定期的にパケットデータ接続が試みられます。

アクセスポイント - このアクセスポイント名は、お客様のコンピュータのパケットデータモデムとして本機を使用する場合に必要になります。

高速パケットアクセス - WCDMA ネットワーク上で HSDPA を有効にしたり、無効にしたりします。HSDPA については、「高速ダウンロード」(P.40) を参照してください。

ワイヤレス LAN

1 ワイヤレス LAN を選択

WLAN 応答状態表示 - 無線 LAN が利用可能な場合に、▪▪ を表示するかどうかを設定します。

ネットワークスキャン - **WLAN 応答状態表示** を **オン** に設定した場合、無線 LAN を検索してインジケータをアップデートする頻度を設定します。

オプション > **詳細設定** を選択して詳細設定を確認することができます。無線 LAN の詳細設定の変更は推奨されておりません。

SIP 設定

SIP (Session Initiation Protocol) 設定は、SIP を使用する特定のネットワークサービスを利用する場合に必要になります。設定はサービスプロバイダから、特別な SMS などで受信します。これらの設定プロファイルは **SIP 設定**で参照、削除、作成することができます。

インターネット電話設定

新しくインターネット電話プロファイルを作成するには、**インターネット電話** > **オプション** > **新規プロファイル** を選択します。

既存のプロファイルを編集するには、**オプション** > **編集** を選択します。

構成

本機ではご使用になれない機能です。

アプリケーション

本機のアプリケーションの設定を変更するには、 > **ツール** > **設定** > **アプリケーション** を選択します。設定はそれぞれのアプリケーションから設定オプションを選択しても変更することができます。

ボイスキー

登録されている音声コマンドを発声するだけで、アプリケーションや電話機機能を起動することができます。音声コマンドは、ボイスダイヤルと同じように本機に登録されます。(「声で電話をかける」P.67)

> **ツール** > **ユーティリティ** > **ボイスキー**

アプリケーションやモードを起動する

1 待受画面で （右ソフトキー）を長く押して、ボイスタグを発声する

ボイスタグを確認する

例：**モード** のボイスタグを再生して確認する

1 > ツール > ユーティリティ > ボイスキー > モード > 各モードを選択 > オプション > 再生 の順に選択

登録されているボイスタグが再生されます。

ボイスタグを設定 / 変更する

新規アプリケーションを追加する

1 オプション > 新規アプリケーション登録 を選択

2 リストから追加するアプリケーションを選択

追加したアプリケーションのボイスタグは、自動的に作成されますが、次の操作で変更することができます。

ボイスタグを変更する

1 アプリケーションを選択し、オプション > コマンド変更 を選択

2 新しいボイスタグをテキストで入力

短すぎる語や略語、頭字語を使用しないようにします。

3 オプション > 再生 を選択し、変更されたボイスタグを確認

設定を変更する

1 オプション > 設定 を選択

- **シンセサイザ** > **オフ** にすると、ボイスタグを発声したときに、電話機に登録されているボイスキーを再生しません。
- **音声認識を削除** を選択すると、電話機の主なユーザが変更となった場合に、音声認識をリセットすることができます。

著作権管理

コンテンツの所有者は、著作権などの知的所有権を保護するために、さまざまな種類のデジタル著作権管理 (DRM) テクノロジーを使用する場合があります。本機では、DRM によって保護されたコンテンツにアクセスするために、さまざまな種類の DRM ソフトウェアを使用します。本機では、WMDRM 10、OMA DRM 1.0、OMA DRM 2.0 によって保護されたコンテンツにアクセスできます。特定の DRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツの所有者は、その DRM ソフトウェアの、DRM によって保護されている新たなコンテンツにアクセスする機能を無効にするように要求できます。無効にすると、本機内に既に存在する、DRM によって保護されているコンテンツの更新ができなくなる場合があります。DRM ソフトウェアを無効にしても、他の種類の DRM によって保護されているコンテンツの使用や、DRM によって保護されていないコンテンツの使用には影響がありません。

デジタル著作権管理 (DRM) によって保護されているコンテンツには、そのコンテンツを使用する権利を定義する、関連付けられたアクティベーションキーが付属しています。

本機に WMDRM によって保護されたコンテンツが保存されている場合、本機のメモリがフォーマットされると、そのコンテンツとアクティベーションキーの両方が失われます。本機に保存されているファイルが破損したときも、アクティベーションキーとそのコンテンツが失われる場合があります。アクティベーションキーまたはコンテンツを失うと、本機で同じコンテンツを使用できなくなる場合があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

アクティベーションキーが特定の USIM カードと関連付けられている場合、本機にその USIM カードが挿入されている場合にのみ、保護されたコンテンツにアクセスすることができます。

> アプリ > メディア > 著作権

有効なキー - 1 つ以上のメディアファイルに関連付けられた有効なキーのリストが表示されます。

無効なキー - メディアファイルの使用時間を使い果たしたか、ファイルの使用期限が過ぎた場合、または、保護されているメディアファイルが本機に保存されているが、関連付けられたキーがない場合に表示されます。

未使用のキー - 関連付けられたメディアファイルが本機に保存されていないキーのリストが表示されます。

メディアファイルの使用時間を追加購入したり、使用期間を延長したりするには、著作権管理キーを選択して、**オプション** > **新規キー取得** を選択します。サービスメッセージを受信できない場合は、著作権管理キーを更新できません。(「サービスメッセージ」P.94)

表示されるオプションはキーによって異なります。

ファイルの有効状態や送信可否などの詳細情報を表示するには、著作権管理キーを選択して、■ を押します。

Nokia N95 アプリケーション

本機のアプリケーションに加え、本機や PC にアプリケーションをインストールして、より多くの機能をお楽しみいただけます。

ここでは Nokia N95 アプリケーションを簡単に紹介しています。

ご使用の際には、ダウンロードまたは DVD-ROM からインストールした各アプリケーションのヘルプ機能も参照してください。

Nokia N95 アプリケーションについての情報は、ノキアのサイト（http://www.nokia.co.jp）でも確認いただけます。ご質問はハローノキアまでお問い合わせください。(「ノキアコンタクトセンター」P.263)

- **シェアオンライン** - mixi および VOX などのオンラインシェアリングサービスを利用し、画像やビデオなどをウェブ上で共有することができます。mixi の操作方法については、「SoftBank X02NK らくらくスタートブック」を参照してください。
- **検索** - 電話機 / メモリカードにあるコンテンツ、地域のサービス、インターネットページ検索などがおこなえます。
- **ﾈｯﾄ電話** - インターネット電話サービスをご利用いただけます。（事前にインターネット電話サービスに加入する必要があります。）
- **ダウンロード** - 本機と互換性のあるアプリケーションがダウンロードできます。
- **Lifeblog** - 同梱されている DVD-ROM の Nokia Photos 1.0 を PC にインストールし、本機の Lifeblog と一緒にブログをお楽しみいただけます。
- Nokia Nseries PC Suite - PC にインストールし、本機と PC を接続してご利用いただけます。

パケット定額制をご利用でない場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。海外では、パケットローミング費用が別途かかりますのでご注意ください。

シェアオンライン

互換性のあるオンラインアルバムやブログなどオンラインシェアリングサービスを利用して、画像やビデオファイルをウェブ上で共有することができます。コンテンツのアップロード、下書きの保存または編集、アルバムコンテンツの閲覧などができます。サービスプロバイダによって、サポートされるコンテンツタイプが異なる場合があります。サポートされるファイルタイプを確認する場合は、**オプション** > **サービス情報**を参照します。

はじめに

コンテンツをオンラインで共有するには、オンラインシェアリングサービスプロバイダのサービスに加入する必要があります。サービスプロバイダのウェブページからサービスの申し込みができる場合があります。サービス加入についての詳細は、サービスプロバイダ にお問い合わせください。

利用可能なサービスを確認する

1 > **アプリ** > **ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** を選択
- 「アプリケーションのオンライン接続を許可しますか？」と表示されます。

2 **はい**を選択
- アクセスポイント選択画面が表示された場合、「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
- 利用可能なサービスが表示されます。

アカウントを設定する

シェアオンラインアプリケーションを使用するには、ユーザ名とパスワードの設定をおこないます。サービスプロバイダによっては、新規アカウントの作成方法が異なる場合があります。

1 > **アプリ** > **ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** を選択

2 **オプション** > **新規アカウント追加** を選択

3 **サービスプロバイダを選択**
- 「アカウントを持っていますか？」と表示されます。
- **サービス更新**を選択し、新規サービスを確認することもできます。

4 **はい**を選択

5 **アカウント情報を設定 > 戻る**
- 「追加しますか？」と表示されます。

6 **はい**を選択

ウェブに投稿する

1 > **ｷﾞｬﾗﾘｰ** > **画像とビデオ** > **オプション** > **送信** > **Web に投稿** > **投稿先** からサービスを選択

2 **投稿画面** > **オプション**を選択

次の項目を設定できます。
- **Web に投稿** - 選択したサービスへのアップロードを開始します。
- **移動** - ファイルが複数ある場合にファイルの並べ替えをします。
- **テキスト追加** - ファイルにキャプションを追加します。
- **挿入**または**新規アイテム挿入** - 保存済みのファイルを選択するか、新しいファイルを取得して挿入します。
- **削除** - 投稿からファイルを削除します。
- **詳細情報表示** - 選択したファイルに関する情報を表示します。

- **画像表示** - 投稿する画像ファイルを表示します。
- **設定** - シェアオンラインの設定をします。

投稿画面ではサービスプロバイダでサポートされている場合のみ、次の編集をおこなうことができます。

- タグを追加するには、**タグ :** フィールドにスクロールして追加します。
- メディアファイルのプライバシーレベルを設定するには、**表示 :** フィールドまでスクロールし、**デフォルト**、**パブリック**または**プライベート**を選択します。

3 オプション から Web に投稿

- アクセスポイント選択画面が表示された場合、「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
- ウェブへの投稿をキャンセルし、作成したアイテムを下書きとして保存するには、**キャンセル** > **下書きとして保存** を選択します。下書きは、 > **アプリ** > **ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** > **オプション** > **送信ボックス**に保存されます。

サービスプロバイダによって使用できるオプションは異なります。

オンラインサービスを使用する

オンラインサービスを利用して、投稿した画像やビデオを参照したり、電話機に保存された下書きや送信したアイテムを確認したりできます。

1 > アプリ > ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ > オプションを選択

次の操作をおこなうことができます。

Web を開く [サービス名]- サーバに接続し、選択したサービスをウェブ上で開きます。

新規投稿 - オンラインアルバムへの新しい投稿を作成します。

最近の投稿 - 最近投稿された画像やビデオを表示します。

送信ボックス - 送信待ちになっている投稿や下書きとして保存された投稿の表示や管理をおこないます。

デフォルトに設定 - サービスに接続する際にアカウントをデフォルトとして設定します。

サーバから更新 - サービスの取得を開始します。

開始 - 選択したサービスを有効にします。

編集 - アカウント設定を編集します。

サービス情報 - サービスがサポートするファイルタイプなどを表示します。

新規アカウント追加 - 選択したサービス用に新しいアカウントを作成します。**サービス更新**を選択し、利用可能なサービスプロバイダのリストを更新することもできます。

設定 - シェアオンラインの設定を編集します。

サービスプロバイダによって使用できるオプションは異なります。

シェアオンライン設定

 > **アプリ** > **ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** > **オプション** > **設定**

サービスプロバイダ

サービスプロバイダのリストが表示され、サービスの詳細を確認することができます。サービスプロバイダがサポート対象とする画像やビデオのフォーマットなどの詳細を表示する場合は、サービスを選択して を押します。

選択したサービスプロバイダを削除するには、**オプション** > **削除**を選択します。

「利用可能なサービスを確認する」(P.214) でダウンロードされたサービスプロバイダの設定は変更できません。

マイアカウント

既存アカウントの編集や新規アカウントの作成をおこなうことができます。サービスプロバイダによっては、新規アカウントの作成方法が異なる場合があります。

1 **既存アカウント > オプション > 編集 の順に選択**
   - 新規アカウントを作成する場合は、**オプション** > **新規アカウント追加**の順に選択します。

アカウント名 - アカウント名を入力します。

ユーザ名と**パスワード** - オンラインサービスに加入したときに作成したアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

画像投稿サイズ - サービスに投稿される画像のサイズを選択します。

アプリケーション設定

表示画像サイズ - 投稿編集画面に表示される画像サイズを選択します。この設定は、投稿する画像のサイズには影響しません。

表示文字サイズ - 投稿編集画面の文字サイズを選択します。

詳細設定

ダウンロード間隔と**ﾛｰﾐﾝｸﾞ中のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ**はフィード機能に対応しているサービスのみ有効です。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ- サービス接続に使用するアクセスポイントを選択します。

ダウンロード間隔 - サービスからコンテンツを更新する頻度を設定します。

ﾛｰﾐﾝｸﾞ中のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ - ローミング中にサービスからコンテンツを自動的に更新するには**有効**を選択します。加入しているサービスのネットワークエリア外でコンテンツを更新すると料金が高くなる場合があります。

画像ﾃﾞｰﾀをすべて公開 - すべての画像データを自動的に公開するには**有効**を選択します。

検索

検索アプリケーションを利用して、Web サイトや画像を検索したり、電話機やメモリカードに保存されているファイルやデータを検索したりできます。

利用できる検索サービスは、国や地域によって変わる場合があります。

検索アプリケーションはメモリを多く使用します。検索と同時に他のアプリケーションを使用すると、他のアプリケーションが終了する場合があります。

■ インターネット検索

インターネットに接続し、Web ページを検索します。検索結果は、モバイル用に要約されたページが表示されます。

1 > **検索** > **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索** > を押す

2 検索プロバイダ > を押す

- 利用可能なサービスプロバイダが複数ある場合は、**オプション** > **サービス選択**を選択し、サービスプロバイダを選択します。

3 検索キーワードを入力し、検索する

- ネットワーク接続方法を選択する場合があります。「検索の設定」(P.219) を参照してください。
- アクセスポイント選択画面が表示された場合は、「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。
- 検索フィールドで、# を連続して短く押すと、入力モードを変更することができます。
- 検索フィールドの入力した文字をクリアするには、C を押します。

4 検索結果を選択 > を押す

- 検索結果の詳細情報を表示します。

検索結果を表示する

検索結果について、次のオプションが選択できます。

詳細 - 検索結果の詳細情報を表示します。決定キーを押しても詳細を表示できます。

次の検索結果、または**前の検索結果** - すべての検索結果を表示します。ナビゲーションキー右、またはナビゲーションキー左を押して検索結果を表示することもできます。

絞り込み検索 - 検索キーワードを追加して再度検索し、結果を絞り込みます。

ﾌﾞｯｸﾏｰｸへ追加 - 検索結果をブックマークに追加します。

ローカル検索

検索サービスを利用して、地域サービスやビジネス情報を検索することができます。利用できる検索エンジンやサービス内容は国や地域によって異なります。検索エンジンのダウンロードが必要となる場合があります。

1 > **検索** > **オプション** > **設定** > **国 / 地域**から**国を選択** > **戻る**
   - 国 / 地域名の最初の文字を入力すると、合致する国 / 地域のリストが表示されます。
   - グローバルな検索を提供する検索プロバイダは複数の国や地域で利用できます。
2 **インターネット検索** > を押す
3 **検索プロバイダ** > を押す
4 **必要な検索キーワードを入力し、検索する**
5 **検索結果を選択** > を押す
   - 詳細情報から電話番号や地図、URL などが利用できる場合があります。

ローミング

国や地域を移動する際、地域設定が自動的に変更される場合があります。国または地域の設定を変更することで、その地域に関連性の高い情報にアクセスすることができます。海外で利用する場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

国や地域を移動すると、その地域の新しい検索サービスが利用可能となる場合があります。**オプション** > **更新を確認**を選択し、使用できるサービスを確認します。新しい検索サービスが利用できる場合は、**オプション** > **ダウンロード**を選択します。

■ 画像検索

インターネット上の画像を検索します。検索結果にはサムネイル、タイトル、および URL がリストで表示されます。インターネットの画像検索は、検索プロバイダが対応している必要があります。

1 > **検索** > **インターネット検索** > を押す
2 **検索プロバイダ** > を押す
   - 利用可能なサービスプロバイダが複数ある場合は、**オプション** > **サービス選択**で、サービスプロバイダを選択します。
3 **検索オプションで画像オプションを選択**
4 **検索キーワードを入力し、検索する**
5 **検索結果を選択** > を押す
   - 検索結果の詳細情報を表示します。
   - 画像は、画像ビューアで開いたり、**ギャラリー**に保存したりできます。
   - 画像を表示するには、を押します。

■ マイコンテンツ検索

電話機やメモリカードに保存されているファイルやデータを検索することができます。

1 マイコンテンツからコンテンツカテゴリを選択 > ◙ を押す

- 画面下部の検索フィールドにキーワードを入力して検索することもできます。

2 検索結果を選択 > ◙ を押す

- 検索結果の詳細情報を表示します。

キーワードを入力すると、検索結果がカテゴリ別に自動的にフィルタされます。検索結果には、カテゴリを示すアイコンが表示されます。また、キーワードと検索結果が一致する場合は、最近アクセスした検索結果が上部に表示されます。

■ 検索の設定

> 検索 > オプション > 設定

次の設定をおこなうことができます。

国 / 地域 - 国または地域を変更することができます。

接続 - 使用するアクセスポイントやネットワーク接続の許可 / 拒否を選択できます。

検索サービス - マイコンテンツ検索のカテゴリを選択したり、検索プロバイダの有効 / 無効を選択したりできます。

一般 - 検索履歴を消去したり、クイックヘルプ表示（サイトのタイトルをポップアップで表示）の有効 / 無効を切り替えたりすることができます。

ネット電話

インターネット電話サービス (ネットワークサービス) を利用して、インターネットで電話をかけたり電話を受けたりすることができます。

注意：このサービスについては、ご利用になるネットワーク環境によって異なります。本機のネット電話は、Yahoo!BB には対応しておりません。サードパーティのインターネット電話サービスをご利用になる場合は、お客様ご自身の責任でインターネット電話サービス用のアプリケーションをインストールしてください。

インターネット電話で通話するには、本機がインターネット電話サービスに接続されている必要があります。必要に応じて「接続設定」(P.205) の「SIP 設定」(P.209) を参照し、インターネット電話サービスプロバイダの指示に従って設定をおこなってください。

> ツール > 外部接続 > ﾈｯﾄ電話

インターネット電話サービスに接続するには、本機がワイヤレス LAN アクセスポイントなどの接続ネットワーク受信地域内で使用される必要があります。

重要：無線 LAN 接続のセキュリティを向上させるために、利用可能な暗号化手段のいずれかを常に有効にしておいてください。暗号化を使用すると、データへの不正アクセスのリスクが軽減されます。

フランスなど、一部の国 / 地域では、無線 LAN の使用が制限されています。詳細については、ご利用になる地域の行政機関にお問い合わせください。

利用可能なアクセスポイントは、インターネット電話サービスプロバイダによって異なります。

初めて**ﾈｯﾄ電話**を起動する際、「ダウンロードを起動してサービス設定を取得しますか？」と表示される場合があります。必要に応じてインターネット電話サービス設定（サードパーティアプリケーション）を取得してください。

インターネット電話サービスに接続するには、リストから利用可能なネットワークを選択し、**オプション** ＞ **サービスに接続**を選択します。保存されたネットワークは、☆付きでリストの一番上に表示されます。接続の確立をキャンセルする場合は、**キャンセル**を選択します。

サービスへの接続を確立した後に、使用したワイヤレス LAN ネットワークをアクセスポイントとして保存することができます。

オプションを選択し、次の操作や設定がおこなえます。インターネット電話サービスプロバイダにより利用可能なオプションは異なります。

サービスに接続 - インターネット電話サービスへの接続が可能な状態の場合、サービスの接続を確立します。

サービスから切断 - インターネット電話サービスへの接続を切断します。

サービス変更 - 本機が複数のサービスに接続されているときに、利用するインターネット電話サービスを選択します。このオプションは、設定されたサービスが 1 件以上利用可能なときに表示されます。

サービス設定 - 新規のサービスを設定します。このオプションは、設定されていないサービスがある場合に表示されます。

ネットワーク保存 - 接続中のネットワークを保存します。前回保存したネットワークは、☆付きで接続ネットワークのリストに表示されます。このオプションは、保存されていないワイヤレス LAN ネットワークに接続されているときに表示されます。

非表示ﾈｯﾄﾜｰｸ使用 - 非表示ワイヤレス LAN ネットワークを使用してインターネット電話サービスに接続します。

更新 - 接続ネットワークのリストを手動で更新します。このオプションは、使用したいワイヤレス LAN ネットワークがリストに表示されない場合に使用します。リストは、約 15 秒毎に自動的に更新されます。

設定 - 設定を変更します。

終了 - アプリケーションを終了します。

本機が一度に接続できるワイヤレス LAN アクセスポイントは 1 件だけです。同じアクセスポイントを使用するインターネット電話サービスを 2 件以上利用する場合は、本機が複数のサービスに同時に接続される場合があります。利用されるインターネット電話サービスは、**ネット電話**の接続ネットワークのリストに表示されます。サービスを変更するには、**サービス変更**を選択します。

インターネット電話サービスに接続中は、 が待受画面に表示されます。

インターネット電話サービスとアクセスポイントが利用可能な状況であれば、ショートカットを選択して、サービスに接続することができます。インターネット電話サービス接続中にショートカットを選択すると、サービスから切断するかどうかメッセージが表示されます。

インターネット電話をかける

待受画面からかける

1 待受画面 > 電話番号またはアカウント名を入力 > を押す

- 数字モードと文字入力モードを切り替えるには、# を長く押します。
- 電話を終了するには、 を押します。

インターネット電話が優先通話タイプとして設定されており、本機がインターネット電話サービスに接続されている場合、電話をかけるときにインターネット電話がデフォルトで使用されます。設定方法は、「優先通話タイプを設定する」(P.222) を参照してください。

電話帳からかける

1 > 電話帳を選択

2 インターネット電話をかける連絡先を選択

3 オプション > インターネット電話を選択

通信履歴からかける

1 > ツール > 通信履歴 > 発着信履歴 を選択

2 不在着信履歴、着信履歴、または発信履歴からインターネット電話をかける連絡先を選択

3 オプション > インターネット電話を選択

本機はインターネット (インターネット電話) を介した音声電話に対応しています。本機から緊急電話番号に電話をかける場合、最初に携帯電話ネットワークが使用されます。携帯電話ネットワークで緊急電話番号に電話がかからなかった場合、本機はお客様が契約しているインターネット電話プロバイダを介して緊急電話をかけようとします。既存の携帯電話の性質上、緊急電話には携帯電話ネットワークの使用が推奨されます。携帯電話ネットワークのサービスエリア 内では、緊急電話をかける前に本機の電源

がオンになっており、電話がかけられる状態であることを確認してください。インターネット電話を使用しての緊急電話は、無線 LAN ネットワークが有効であるか、インターネット電話のプロバイダが緊急電話の機能に対応しているかどうかによります。インターネット電話での緊急電話については、契約されているインターネット電話サービスプロバイダにお問い合わせください。

設定

> **ツール** > **外部接続** > **ﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **設定**

優先通話タイプを設定する

1 **デフォルト通話タイプ** > **オプション** > **変更** を選択

2 **携帯電話** または **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話**を選択

- > **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **デフォルト電話タイプ** > **オプション** > **変更**から**通常電話** または **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話**を選択することもできます。
- **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話**に設定しても、サービスが利用できない場合は、自動的に通常電話がかかります。

サービス設定

> **ツール** > **外部接続** > **ﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **設定** > **[サービス名] の設定**

サービスの設定を確認するには、**ログインタイプ**を選択し、次の設定をおこないます。

手動 - インターネット電話サービスに手動でログインします。

自動 - インターネット電話サービスに自動的にログインします。接続可能なネットワークが検出されると、本機が自動的にインターネット電話サービスに接続されます。この機能を設定すると待受画面上部に が表示されます。

ログインタイプを**自動**に設定すると、本機は定期的に無線 LAN ネットワークの検出をおこないます。検出中は電池の消費量が増し、電池の消耗が早くなります。

保存済み接続ﾈｯﾄﾜｰｸ - インターネット電話サービスで認識された接続ネットワークを確認します。これらのネットワークは自動ログインに使用され、接続ネットワークリストに☆付きで表示されます。リストから削除するには、**オプション** > **削除**を選択します。

サービス設定編集 - サービス特有の設定を表示します。このオプションは、サービス特有のソフトウェアプラグインが本機にインストールされている場合のみ使用できます。

ダウンロード

ダウンロードでは、本機と互換性のあるコンテンツ、サービス、アプリケーションの購入、ダウンロード、更新などがおこなえます。ゲーム、着信音、壁紙、アプリケーション、その他のコンテンツに簡単にアクセスできます。サービスプロバイダから提供されたカタログやフォルダの中に、アイテムが分類されています。利用可能なコンテンツは、サービスプロバイダによって異なります。

ダウンロード は、お客様が契約されているネットワークサービスを使用して最新のコンテンツにアクセスします。ダウンロードサーバの内容は定期的に更新されます。ダウンロードには、英語のアイテムがあらかじめ含まれています。**ダウンロード**から利用可能な情報や追加のアイテムについては、各アイテムのサービスプロバイダやサプライヤー、またはメーカーにお問い合わせください。

カタログリストを更新する

> **ダウンロード**

1 オプション > リスト更新を選択

- サービスプロバイダのサーバに接続し、最新のコンテンツが提供されます。
- 使用頻度の高いアイテムだけを表示させ、リストからフォルダやカタログを表示させないようにするには、非表示にするアイテムを選択し、**オプション** > **非表示**を選択し、再度表示するには、**オプション** > **すべて表示**を選択します。

アイテムを購入する

ダウンロードのメインビュー、フォルダ、カタログで選択したアイテムを購入することができます。

1 オプション > 購入を選択

- サブメニューが開き、アイテムのバージョンを選択したり、価格情報を確認したりできます。サービスプロバイダによって利用可能なオプションは異なります。
- 無料のアイテムをダウンロードする場合は、**オプション** > **取得**を選択します。

ダウンロードの設定

1 オプション > 設定を選択

2 設定を変更 > 戻るを選択

変更できる設定は次の通りです。

アクセスポイント - サーバ接続時に使用するアクセスポイントを定義する場合は、**ユーザ定義**から「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。接続時毎にアクセスポイントを確認する場合は、**常に確認**を選択します。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ後に開く - ダウンロード後、コンテンツを自動的に起動するには、**はい**を選択します。

プレビュー確認 - コンテンツやアプリケーションのプレビュー版を自動的にダウンロードするには、**いいえ**を選択します。プレビュー版をダウンロードする前に確認メッセージを表示させるには、**はい**を選択します。

購入確認 - コンテンツやアプリケーションを購入する前に確認メッセージを表示させるには、**はい**を選択します。**購入**を選択後すぐに購入の手順を開始する場合は、**いいえ**を選択します。

Nokia Lifeblog

> **アプリ** > **メディア** > **Lifeblog**

Nokia Lifeblog は、本機で収集したアイテムなどをマルチメディアダイアリーとしてウェブに投稿、更新する携帯電話と PC のためのソフトウェアです。Nokia Lifeblog は、マルチメディアコンテンツの履歴を自動的に記録し、画像、ビデオ、サウンド、SMS、MMS を管理することができます。ブログには時間順に掲載されるので、ブラウズ、検索、共有、公開、バックアップなどが簡単におこなえます。

Nokia Lifeblog は、Nokia Nseries PC Suite の Nokia Photos とご使用いただけます。同梱の DVD-ROM から PC にインストールします。Nokia Lifeblog 用に推奨するブログサービスは、Six Apart の TypePad(http://www.typepad.jp) です。Nokia Photos PC アプリケーションで F1 を押し、ヘルプを参照できます。

PC にインストールする

次の操作で PC に Nokia Photos をインストールします。

1 **製品パッケージに同梱されている DVD-ROM を挿入**
2 **Nokia Nseries PC Suite をインストールする (USB 接続用 Nokia Connectivity Cable ドライバーを含む)**
3 **Nokia Photos PC アプリケーションをインストール**

Microsoft .NET3.0 および Microsoft DirectX が PC にインストールされていない場合は、Nokia Photos 1.0 アプリケーションと同時にインストールされます。

PC 接続

USB ケーブル接続

本機と互換性のある PC を USB ケーブルを使って接続することができます。

1 **Nokia Nseries PC Suite をインストール**

2 本機と PC を USB データケーブル で接続

3 モード選択 : 画面で PC Suite を選択

- USB ケーブルについては、「データケーブル」(P.187) を参照してください。
- Nokia Nseries PC Suite をインストール後、はじめて本機と PC を接続する時に、PC が本機に対応するドライバをインストールします。このインストールには時間がかかる場合があります。

4 PC で Nokia Photos を起動

Bluetooth 接続

電話機と互換性のある PC を Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用して接続することもできます。

1 PC に Nokia Nseries PC Suite がインストールされていることを確認

2 Nokia Nseries PC Suite の Connection Manager を使用し、電話機と PC が Bluetooth ワイヤレステクノロジーで認証済みかどうかを確認

3 電話機と PC の Bluetooth を起動

Bluetooth については、本書の「Bluetooth 接続」(P.182)、または PC 付属の説明書を参照してください。

■ 電話機と PC 間でコピーする

新規または編集されたアイテムを電話機から PC、PC から電話機にコピーできます。

1 電話機を PC に接続

2 PC の Nokia Photos を起動

3 Nokia Photos で、「ファイル」>「同期」> 同期する電話機を選択

電話機にある新規アイテムが PC にコピーされます。PC から電話機にコピーする場合は、PC 画面の同期トレーにあるアイテムが電話機にコピーされます。

■ タイムラインとお気に入りを閲覧する

電話機の Nokia Lifeblog を起動すると、**タイムライン**ビューが開いてマルチメディアアイテムが表示されます。保存されているお気に入りアイテムを開くには、**オプション** > **お気に入り表示**を選択します。

PC の Nokia Photos では、タイムラインのタグを開くと日付順にアイテムが表示されます。

■ ウェブに投稿する

Nokia Lifeblog のアイテムを共有するには、お客様のインターネットブログに投稿して公開します。

最初にブログサービスのアカウントを作成する必要があります。アイテムの投稿先として使用するブロ

グを作成し、ブログアカウントを Nokia Lifeblog に追加します。
Nokia Lifeblog 用に推奨するブログサービスは、Six Apart の TypePad(http://www.typepad.jp) です。

ブログアカウント設定

新規アカウントを追加した場合や、既存のブログを編集した場合、アカウントの設定をする必要があります。

1 **オプション > 設定 > ブログを選択**
- PC の Nokia Photos では、画面右下のアイコン「Web へ投稿」をクリックしてアカウントを作成します。

2 **オプション > 新規アカウントを選択**
- **サーバアドレス**は、ブログのアドレスを入力します。ブログサービスから与えられるアドレスです。
- **アクセスポイント**は、「Application Connection」、または利用可能な無線 LAN アクセスポイントを選択します。

電話機からウェブに投稿

1 **タイムラインまたはお気に入りで、ウェブに投稿するアイテムを選択**

2 **オプション > Web サービスに投稿を選択**
- この機能をはじめて使用する場合は、サーバからブログリストの取得を開始します。

3 **投稿先を選択**
新規のブログを作成した場合、**オプション** > **ブログリスト更新**を選択して、ブログリストを更新できます。

4 **投稿するタイトルと本文を入力**

5 **オプション > 送信を選択**

PC からウェブに投稿

1 **PC の Nokia Photos を起動**

2 **「整理」タブの「お気に入り」や「タイムライン」などから、ウェブに投稿するアイテムを選択**

3 **「ファイル」>「Web へ投稿」を選択**

4 **投稿先を選択**

5 **投稿するタイトルと本文を入力**
- コメントフィールドに長い文章を入力することもできます。

6 **送信ボタンをクリックして送信**

■ アイテムをインポートする

電話機の .jpg 画像のほかに、別の情報源 (CD、DVD、ハードディスクにあるフォルダなど) から .jpg 画像、.3gp、.mp4 ビデオクリップ、.amr サウンドファイル、.txt テキストファイルなどを Nokia Photos にインポートできます。

PCから画像やビデオをNokia Photos PCアプリケーションにインポートするには、「ファイル」>「インポート」を選択します。

Nokia Podcasting

Nokia Podcastingでは、パケット通信や無線LANを使用してポッドキャストの検索や申し込み、ダウンロードをおこなうことができ、本機で音声や画像ポッドキャストを再生、管理、共有することができます。

国内でポッドキャストのサイトが検索されない場合は、英語で検索すると海外のサイトが検索されます。

ポッドキャスト番組のエピソードとは、例えば、番組の第1話、第2話などに相当します。ポッドキャスト番組を登録すると、エピソードの一覧を見ることができます。

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **Podcasting**

ミュージックプレーヤーからも **Podcasting** を起動することができます。

Podcasting を終了するには、必ず **オプション** > **終了** を選択します。

■ 設定

Nokia Podcastingを利用する前に、**接続** と **ダウンロード** の設定をおこないます。

接続には無線LAN（WLAN）が推奨されます。

使用可能な無線LANを検索するには、 > **ツール** > **外部接続** > **接続状況** > **有効な WLAN** の順に選択します。インターネットアクセスポイントを定義するには、**オプション** > **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ定義** を選択します。

接続設定

1 オプション > 設定 > 接続 の順に選択

次の設定をおこなうことができます。

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットに接続するアクセスポイントを選択します。「Application Connection」、または利用可能な無線LANアクセスポイントを選択します。
- **サービス URL 検索** - **検索** で使用するポッドキャスト検索サービスを設定します。(「検索」P.228)

ダウンロード設定

1 オプション > 設定 > ダウンロード の順に選択

次の設定をおこなうことができます。

- **保存先** - ポッドキャストの保存先を設定します。保存領域を最適に利用するために、メモリカードへの保存が推奨されます。
- **更新間隔** - ポッドキャストをアップデートする頻度を設定します。

- **次回更新日** - 次にポッドキャストを自動アップデートする日付を指定します。
  特定のデフォルトアクセスポイントが選択され、Nokia Podcasting が起動している場合にのみ、自動アップデートがおこなわれます。Nokia Podcasting が起動していない場合、自動アップデートはおこなわれません。
- **次回更新時刻** - 次にポッドキャストを自動アップデートする時間を指定します。
- **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ制限 (%)** - ポッドキャストのダウンロードに使用するメモリサイズを、選択した保存先の全容量に対する割合（%）で指定します。
- **上限を超える場合** - ポッドキャストのダウンロードで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ制限 (%)** を超えた場合に行なう処理を設定します。

アプリケーションが自動的にポッドキャストを読み出すように設定すると、サービスプロバイダのネットワークを介して大量のデータ送信がおこなわれます。接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。

ネットワーク接続を切断するには、**Podcasting** のメイン画面で、**オプション** > **切断** を選択します。

デフォルト設定に戻す

1 オプション > 設定 > オプション > デフォルトに戻す の順に選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

検索

検索 > 検索するキーワードを入力

キーワードやタイトルでポッドキャストを検索することができます。検索では、**オプション** > **設定** > **接続** > **サービス URL 検索** で指定したポッドキャスト検索サービスを使用して検索をおこないます。



補足：検索ではポッドキャスト番組の紹介にあるタイトルやキーワードで検索をおこない、特定のエピソードの検索はおこないません。検索では、一般的なトピックで検索する方がヒットする件数が多くなります。

ポッドキャストに番組を登録する

1 登録するポッドキャスト番組 > オプション > 登録 を選択

確認のメッセージが表示されます。

- 複数の番組を一度に **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** に登録することもできます。(「マークをつける」P.40)

2 はい を選択

その他検索画面でできること

表示されるオプションは、状況によって異なります。

検索結果 > **オプション**

- **新規検索** - 新たに検索を開始します。
- **Web ページを開く**（ネットワークサービス）- ポッドキャスト番組のウェブサイトを表示します。

・ **説明** - ポッドキャストの番組の詳細を表示します。
・ **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄに移動** - 視聴可能な登録済みのポッドキャストが表示されます。(「ポッドキャスト」P.230)
・ **送信** - 選択したポッドキャスト番組を他の互換性のある機器に送信します。
・ **マーク / マーク解除** - (「マークをつける」P.40)

ディレクトリ

ディレクトリを利用して、新しいポッドキャスト番組を探すことができます。

ディレクトリを開く

1 ディレクトリ > ディレクトリフォルダを選択し、◉ を押す

選択したディレクトリフォルダが更新されます。更新が完了するとフォルダの色がグレーから黄色に変わります。

- ディレクトリには、人気のあるポッドキャスト番組のリストやテーマフォルダが含まれている場合があります。

2 ◉ を押し、フォルダを開く

- ポッドキャスト番組を登録するには、タイトルを選択し、◉ を押します。ポッドキャスト番組を登録すると、**ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** を利用してエピソードのダウンロード、管理、再生をすることができます。

ディレクトリ / フォルダを追加する

1 ディレクトリ > オプション > 新規 > Web ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ、または フォルダ の順に選択

- **Web ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ** を選択した場合、**タイトル** と .opml(Outline Processor Markup Language) の **URL** を入力し、**完了** を選択します。
- **フォルダ** を選択した場合、**フォルダ名** を入力し **OK** を選択します。

ディレクトリ / フォルダ / ウェブへのリンクを編集する

1 編集するディレクトリフォルダを選択し、オプション > 編集 を選択

ディレクトリフォルダを送信する

ディレクトリフォルダを MMS や Bluetooth を使用して送信することができます。

1 オプション > 送信 を選択

opml ファイルをインポートする

本機に保存してある .opml ファイルをインポートすることができます。

1 オプション > OPML ﾌｧｲﾙｲﾝﾎﾟｰﾄ を選択

2 電話機メモリ、またはメモリカードを選択 > OK を選択

3 .opml ファイルを選択し、インポート

opml ファイルを受信する

Bluetooth などで .opml ファイルを受信した場合、ファイルを開いて、**ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ** の **受信** フォルダにファイルを保存します。**受信** フォルダを開いて、ポッドキャスト番組を選択し **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** に登録します。

■ ポッドキャスト

登録したすべてのポッドキャストの一覧が表示されます。

ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > **オプション**

表示されるオプションは、状況によって異なります。

- **更新** - 新しいエピソードをダウンロードするために、ポッドキャスト番組を更新します。ダウンロードを中止するには、**オプション** > **更新中止** を選択します。
- **新規ポッドキャスト** - ポッドキャスト番組の URL を入力して、新規登録します。
- **編集** - ポッドキャスト番組の URL を編集します。
- **削除** - ポッドキャスト番組とそのエピソードを削除します。
- **送信** - MMS や Bluetooth を使用して、ポッドキャストを opml ファイルとして互換性のある他の機器に送信することができます。
- **マーク / マーク解除** - 一度に複数のポッドキャスト番組の更新、削除、送信などをおこなうには、マークをつけてから処理をおこないます。(「マークをつける」P.40)
- **詳細** - ポッドキャスト番組の詳細情報を表示します。
- **Web ページを開く** - ポッドキャスト番組のウェブサイトを開きます。
  アクセスポイントを設定していない場合や、パケットデータ接続中にユーザ名とパスワード入力が表示された場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

■ エピソードのダウンロード

ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ や **検索** を使用したり、URL を入力したりしてポッドキャスト番組を登録すると、**ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** でエピソードの管理、ダウンロード、再生をおこなうことができます。

1 **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > 登録したポッドキャスト番組のタイトルを選択 > ◉ を押す**
   エピソードのタイトル一覧が表示されます。それぞれのエピソードの下に、ファイル形式、ファイルサイズ、いつアップロードされたのかが表示されます。
2 **エピソードのタイトルを選択 > オプション > ダウンロード を選択**
   - ダウンロードを中止する場合は、**オプション** > **ダウンロード中止** を選択します。

- 一度中止したダウンロードは、**ダウンロード続行** を選択して、ダウンロードを続けることもできます。
- 同時に複数のエピソードをダウンロードすることもできます。
- ダウンロード中や、中止したダウンロードのエピソードを再生するには、エピソードを選択 > **オプション** > **プレビュー再生** の順に選択します。
- **ダウンロード削除** を選択して、ダウンロードしたエピソードを削除することができます。
- **新ｱｲﾃﾑとしてﾏｰｸ** / **旧ｱｲﾃﾑとしてﾏｰｸ** - エピソードを新 / 旧アイテムとしてマークをつけると、アイコンの色が変わります。

コメントを残したり、投票をしてポッドキャストの作成者と情報のやり取りができるポッドキャストもあります。情報の交換のためインターネットに接続するには、**オプション** > **コメント表示** を選択します。

表示されるオプションは、状況によって異なります。

ダウンロード中はエピソードのアイコンがグレーから白に変わり、ダウンロードが完了すると黄色に変わります。

ダウンロードを完了したポッドキャストは、 > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** フォルダに保存されます。必要に応じてミュージックライブラリを更新してください。(「ミュージックライブラリを更新する」P.149)

■ エピソードの視聴と管理

ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > ポッドキャスト番組のタイトル >

登録したポッドキャストのエピソードの一覧が表示されます。

エピソードを再生する

1 ダウンロードしたエピソードを選択し、オプション > 再生 を選択

- > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** を選択しても再生することができます。ビデオポッドキャストは、 > **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** > **マイビデオ** から再生することができます。(**マイビデオ**から再生できないビデオポッドキャストもあります。)

その他エピソード一覧画面でできること

1 **オプション** を選択

- **詳細** - エピソードの詳細を表示します。
- **説明** - ポッドキャスト番組の詳細情報を表示します。

ビデオセンタ

ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ（ネットワークサービス）では、パケット通信や無線 LAN を利用して、互換性のあるインター

ネットビデオサービスのビデオクリップをダウンロードしたり、ストリーム再生したりすることができます。互換性のある PC から本機へビデオクリップを転送し、ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ で再生することもできます。

ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ は **RealPlayer** でサポートしているファイル形式と同じファイル形式をサポートしています。(「RealPlayer」P.153)

サービスプロバイダが提供するコンテンツには、無料のものと有料のものがある場合があります。料金については、サービスで確認するか、または各サービスプロバイダにお問い合わせください。

ビデオセンタでビデオを再生し、他のアプリケーションを起動すると、起動したアプリケーションが正常に動作しない場合があります。ビデオセンタを終了してから他のアプリケーションを起動してください。

> ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ

新規サービス追加

インターネットに接続し、利用可能なサービスをブラウズして ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ のメイン画面に追加することができます。

1 、 を押し、新規サービス追加 を選択

サーバへ接続する確認メッセージが表示されます。

2 はい を選択し、サーバに接続

3 サービスを選択

ビデオの検索と再生

1 ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > 接続したいビデオサービスを選択

サービスに接続すると、利用可能なコンテンツが表示されます。

2 カテゴリ別にビデオを表示するには、 、 を押し、タブを選択 (利用可能な場合)

3 ビデオの情報を表示するには、オプション > ビデオ詳細 を選択

- ストリーム再生できるビデオクリップと、本機にダウンロードしてから再生するビデオクリップがあります。
- ビデオクリップをダウンロードするには、**オプション** > **ダウンロード** を選択します。ダウンロードを中止するには、**オプション** > ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｷｬﾝｾﾙ を選択します。

4 ビデオのストリーム再生や、ダウンロードしたビデオの再生には、オプション > 再生 を選択

- ビデオクリップの再生中の操作には、本機前面部を下方向にスライドしメディアモードにして、メディアキーを使用します。
- 音量を調節するには、本機側面の音量調節キーを使用します。 、 を押して音量を調整することもできます。

ダウンロード中にアプリケーションを終了しても、ダウンロードはバックグラウンドでおこなわれます。ダウンロードしたビデオは、**ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** の **マイビデオ** に保存されます。

■ インターネットビデオ

インターネットビデオは、RSS ベースのフィードを使用して、配信されたビデオクリップです。設定を利用して、新しいフィードを **インターネットビデオ** に追加することができます。(「設定」P.234)

1 ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > インターネットビデオ を選択

フィードが表示されます。

- フィードの追加、削除をおこなうには、**オプション** > **フィード登録** > **オプション** を選択し、操作を選択します。

2 フィードで利用可能なビデオを表示するには、スクロールし、■ を押す

- ビデオの詳細情報を表示するには、**オプション** > **ビデオ詳細** を選択します。

3 ビデオをダウンロードするには、ビデオを選択し、オプション > ダウンロード を選択

- ダウンロードしたビデオを再生するには、メディアキー▶❚❚を押します。

■ ダウンロードしたビデオの再生

ダウンロードしたビデオやダウンロード中のビデオは **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** の **マイビデオ**に保存されます。ダウンロードしたビデオを再生するには、メディアキー▶❚❚ を押します。

互換性のある PC から本機にビデオクリップを転送することもできます。転送したビデオを表示するには、**ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** > **マイビデオ** を選択します。**ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** でビデオクリップを再生できるようにするには、ビデオクリップを**電話機メモリ(C:\Data\My Videos フォルダ)**、または互換性のあるメモリカード**(E:\My Videos フォルダ)**に保存する必要があります。Nokia Nseries PC suite で利用可能なファイルマネージャなどを使用して、正しいロケーションにファイルを転送してください。

ビデオクリップ再生中の操作

ビデオクリップを再生中の操作は、本機前面部を下方向にスライドさせメディアモードにして、メディアキーを使用してください。音量の調節には、音量調節キーを使用してください。

ビデオクリップを保護する

本機のメモリや互換性のあるメモリカードの空き容量が足りない場合、新しいビデオクリップをダウンロードすると、一番古い再生済みのビデオを自動的に削除します。🗑 は削除予定のビデオを示します。

次の操作で自動的に削除されるのを防ぐことができます。

1 保護するビデオクリップ > オプション > 保護 を選択

保護されたビデオクリップの左上には が表示されます。

- 保護を解除するには、**オプション** > **保護解除** を選択します。

ビデオクリップを削除する

1 削除するビデオクリップ > オプション > 削除 を選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

ビデオクリップを移動する

1 移動するビデオクリップ > オプション > 整理 を選択

2 新規フォルダ、電話機ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ / ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにｺﾋﾟｰ、または 電話機メモリへ移動/メモリカードへ移動 を選択

設定

サービスを設定する

1 ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > オプション > 設定 > ビデオサービス選択 の順に選択

2 ビデオサービスを選択するには、ビデオオンデマンド を選択

- インターネットビデオフィードの追加 / 削除は、**インターネットビデオ** を選択します。リストに表示されていない、新しいインターネットビデオフィードを追加するには、**オプション** > **フィード追加** を選択します。サービスプロバイダから受信したサービス名とアドレスを入力してください。サービスによっては、サービスプロバイダから受信したユーザ名とパスワードが必要な場合があります。

3 アプリケーションで表示したいサービスを選択

その他の設定をおこなうには、**オプション** > **設定** を選択し、次のオプションを選択します。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - データ接続に使用するアクセスポイントを選択します。ファイルのダウンロードにパケットデータアクセスポイントを利用すると、サービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要な場合があります。接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。

ﾍﾟｱﾚﾝﾀﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ - 未成年がビデオセンタのアダルトコンテンツを閲覧できないように設定することができます。

優先するメモリ - ダウンロードしたビデオクリップを、本機のメモリ、または互換性のあるメモリカードのどちらに保存するかを選択します。選択したメモリ

がいっぱいになった場合、他のメモリが利用可能な場合は、他のメモリにコンテンツを保存します。他のメモリにも空きスペースがない場合、既に見たビデオクリップの一番古いものを自動的に削除します。

画像 - ビデオサービスのビデオリストで、サムネイル画像を表示するかどうかを選択します。

GPS 機能

GPS とは

GPS(Global Positioning System: 全地球測位システム) は、ラジオ波を利用した世界規模のナビゲーションシステムであり、24 個の衛星とその運用状況をモニターする基地局で構成されています。本機には、GPS 受信機が内蔵されています。

本機に搭載されている GPS 受信機などの GPS 端末は、衛星から放射される低周波ラジオ信号 (low-power radio signals) を受信して、衛星信号が届くまでの時間を計測します。GPS 受信機は、電波信号の受信にかかった時間をもとに、メートル単位の精度で位置情報を算出することができます。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

GPS（Global Positioning System）は米国政府により運用されているシステムで、その精度とメンテナンスの責任はすべて米国政府にあります。位置データの精度は米国政府による GPS 衛星の調整によって影響を受けることがあり、米国の国防総省の民生 GPS 政策や、米国連邦電波航法プランに基づいて変化する場合があります。精度は、衛星の不適切な配置により影響されることもあります。GPS 信号の可用性や質は、建物や地形的な障害物のほか、気象状態の影響を受けることがあります。GPS 受信機は、GPS 信号を受信できるように屋外でのみ使用します。

いかなる GPS も正確な位置の測定には使用できません。位置特定やナビゲーションにおいて、携帯無線ネットワークおよび GPS 受信機の位置データのみに依存しないようにしてください。

本機は A-GPS（アシスト型 GPS）をサポートしています。
A-GPS（アシスト型 GPS) は、GPS の性能を向上されるための補助データの検索にパケットデータ接続を使用します。これにより、本機が衛星からの信号を受信してから、現在位置を計測するまでの時間が短縮されます。

A-GPS はネットワークサービスです。

本機は Nokia A-GPS サービスを使用できるようにあらかじめ設定されています。必要な場合にのみ、

Nokia A-GPS サービスサーバから、補助データが取得されます。

A-GPS 設定

> **ツール** > **設定** > **一般** > **位置情報機能**

Nokia A-GPS サービスから補助データを取得するためのアクセスポイントは、「Application Connection」を使用します。(「位置情報機能」P.203)

GPS 機能を有効 / 無効にする

1 **位置情報取得方式** > **アシスト型 GPS** > **有効** を選択

- Bluetooth GPS など、他の GPS 機能を **有効**、または **無効** に設定することもできます。

A-GPS のアクセスポイントを設定する

1 **位置情報サーバ** > **アクセスポイント** を選択

- 本サービスでは無線 LAN のアクセスポイントを使用することはできません。

GPS 受信機



GPS 受信機は、本機底部に搭載されています。受信機を使用する場合は、天空がはっきりと見える場所で、本機前面部をスライドしてダイヤルキーが開いた状態で、約 45 度の角度で、本機をまっすぐに持ちます。GPS 接続が確立するのに、数秒から数分かかる場合があります。車内での接続には、より長い時間がかかります。

受信機は、電池からの電力を必要とします。GPS を利用すると電池の消耗が早くなる場合があります。

衛星信号について

本機の GPS 受信機が衛星信号を受信できない場合には、次のことを考慮してください。

- 屋内にいる場合は、より高精度の信号を受信するため屋外に出てください。
- 本機のスライドが閉じている場合は、前面部を上にスライドし、ダイヤルキーが見える状態にしてください。

- 屋外にいる場合は、より広い場所に移動してください。
- 本機の GPS アンテナを手で覆っていないかどうか確認してください。アンテナの位置は、「GPS 受信機」(P.236) を参照してください。
- 天候状態が悪い場合は、信号強度に影響が出る場合があります。
- GPS 接続を確立するのに、数秒から数分かかることがあります。

衛星の状態

> **ツール** > **外部接続** > **GPS データ** > **位置** > **オプション** > **衛星状態**

本機が見つけた衛星の数と、本機で衛星信号を受信しているかどうかを確認することができます。本機が衛星を見つけた場合、衛星情報画面で、衛星ごとにバーが表示されます。表示されるバーの長さは、衛星信号の強さを表しています。バーが長くなれば、それだけ衛星信号が強いということを表しています。本機が位置を特定するための十分な情報を衛星から受信すると、バーの色は黒に変わります。

現在地の座標を測定するためには、最初に４つの衛星からの信号を本機で受信する必要があります。最初の位置測定がおこなわれた後は、３つの衛星で現在地の座標を測定することが可能となります。しかし、通常は衛星の数が多いほど、測定は正確になります。

■ 位置情報提供

サービスプロバイダがサービスを提供している場合、本機の現在位置を確認するために要求を送信することがあります。本機が提供した位置情報に基づき、サービスプロバイダは、天気情報や交通状態などの地域情報を配信する場合があります。

位置提供要求を受信した場合、リクエストメッセージが画面に表示されます。現在位置の送信を許可する場合は、**承認**、要求を拒否する場合は、**拒否** を選択します。

地図 - Nokia Maps

このアプリケーションは海外での利用を想定しています。日本国内の地図情報については NAVITIME のご使用をおすすめします。X02NK に搭載されている A-GPS 機能では、S!GPS ナビのサービスはご利用いただけません。

> **地図**

地図 を利用して、現在位置を確認したり、他国や都市の住所、Web アドレスなどの検索、路線情報の確認、あるいは特定の位置情報を保存して、その情報を互換性のある機器に送信することができます。

地図のご利用には次の内容を参照してください。

- 「GPS 機能」(P.235)

・「GPS 受信機」(P.236)
・「地図を利用する」(P.238)
・「地図で利用できるサービス」(P.243)
・「ルート案内」(P.245)
・「ランドマーク」(P.247)
・「GPS データ」(P.248)

地図 では GPS 機能を利用します。本機では、情報取得方式の設定をすることができます (「位置情報機能」P.203)。正確な位置情報を知るためには、本機の GPS 機能、または外部 GPS 受信機を使用してください。

ほとんどすべてのデジタル地図には、ある程度不正確で不完全な部分があります。本機でダウンロードした地図のみに依存しないようにしてください。

地図を利用する前に

地図 を最初に利用するときに、現在位置の地図情報をダウンロードするための、インターネットアクセスポイントの定義が必要になる場合があります。設定したアクセスポイントは、後で変更することができます。

アクセスポイントを設定する

1 **オプション** > **設定** > **ネットワーク** > **デフォルトアクセスポイント** の順に選択

地図のダウンロードには、サービスプロバイダのネットワーク上で、大容量データの転送が必要となる場合があります。海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをダウンロードし、メモリカードにコピーしておくことをおすすめします。海外で地図をダウンロードする場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

補足 : 無線 LAN を利用したり、Nokia Map Loader でインターネットを利用したりして、地図をダウンロードすることができます。(「Nokia Map Loader」P.242)

地図を利用する

地図の受信地域は、国ごとに異なります。



地図 を開くと、前回の接続時に保存された位置まで地図をズームインします。前回接続時に位置情報が保存されていなかった場合、**地図** アプリケーションは、本機がセルラーネットワークから受信した情報を基に、現在いる国や地域の主要な

都市へズームインします。同時に、その位置の地図をダウンロードします。ダウンロードした地図は、電話機メモリや互換性のあるメモリカード (挿入されている場合) に自動的に保存されます。

> **地図**

現在位置を確認する

1 オプション > 場所検索 > GPS 位置 [0] の順に選択

現在位置まで地図を移動します。

- 0 を押しても、現在位置まで移動できます。

地図の操作

キー操作

- 現在位置まで移動：0 を押す。
- ズームイン / アウト： * または # を押す。
- 地図上を移動：ナビゲーションキー 、 、 、 を使用する。

画面に表示されている地図の範囲を超えてブラウズする場合、例えば、他の国へ移動したりすると、新しい地図が自動的にダウンロードされます。**地図** でダウンロードした地図には料金がかかりませんが、サービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要になる場合があります。海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをダウンロードし、メモリカードにコピーしておくことをおすすめします。海外でパケット通信経由で地図をダウンロードする場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

ルートを組み立てる

地図上の位置を利用して、例えば近隣検索を出発地点としたり、ルートを組み立てたりするには、 を押し、オプションを選択します。(「ルート案内」P.245)

地図の詳細情報を表示する

詳細情報が表示可能な場合にのみ、**詳細表示** オプションが表示されます。

1 詳細情報を表示する場所へ移動 > を押す

2 詳細表示 を選択

- 現在位置に戻るには、0 を押す、または **オプション** > **場所検索** > **GPS 位置 [0]** の順に選択します。

地図にカテゴリのアイコンを表示する

地図に表示するアイコンを選択することができます。

1 オプション > 地図オプション > カテゴリ の順に選択

リストが表示されるので、地図上にアイコンで表示するカテゴリを選択します。

地図のスクリーンショットを撮影する

1 地図を表示し ◉ を押す > 保存 > 画像 を選択

- 撮影したスクリーンショットは **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。

その他の操作

1 オプション > 地図オプション を選択

次のオプションを選択することができます。

- **拡大 [* キー]** - 地図を拡大表示します。
- **縮小 [# キー]** - 地図を縮小表示します。
- **2D/3D** - 地図の表示を 2D/3D に切り替えることができます。
- **地図の色変更** - 地図の色を変更します。

衛星情報

地図を利用すると、本機の画面に GPS インジケータが表示されます。丸いアイコンは衛星を示しています。

黄色い○は、本機が衛星を見つけたことを示しています。緑色の○は、衛星からの信号を受信中であることを示しています。すべての○が緑色の場合、本機は現在位置の座標を測定するのに十分なデータを受信しています。

衛星情報の確認

地図 で本機が見つけた衛星の数や、衛星から信号を受信しているかどうかを確認することができます。(「衛星の状態」P.237)

1 オプション > 地図オプション > 衛星情報 の順に選択

地図をダウンロードする

画面上で地図を利用して、例えば外国をブラウズする場合、新しい地図が自動的にダウンロードされます。ダウンロードした地図には料金がかかりませんが、ダウンロードするにはサービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要な場合があります。海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをダウンロードし、メモリカードにコピーしておくことをおすすめします。海外でパケット通信経由で地図をダウンロードする場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

転送されたデータ量 (kB 単位) が本機の画面に表示されます。データ量は、オンラインで地図をブラウズしたり、ルートを設定したり、位置を検索した時のネットワーク使用量を表しています。

地図の更新状態を確認する

本機にダウンロードした地図が、更新されているかどうか確認することができます。

1 **オプション** > **設定** > **ネットワーク** > **オプション** > **地図の更新確認** の順に選択

■ 地図の設定

設定オプションから、ネットワーク、ルート検索などの設定を変更することができます。

オプション > **設定**

地図の保存領域を変更する

地図や音声ガイドファイルを保存するための、本機のメモリカードのサイズを設定することができます。このメニューは、互換性のあるメモリカードが本機に挿入されている場合にのみ使用することができます。メモリがいっぱいの場合には、メモリ不足のメッセージが表示されます。**ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ最大使用量** を変更するか、または保存済みの地図データを削除してください。地図データは、Nokia Map Loader PC アプリケーションを使用して削除することができます。

1 **ネットワーク** > **ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ最大使用量** を選択

地図を自動的にダウンロードする

1 **ネットワーク** > **ネットワークの使用** > **必要時** の順に選択

- 登録されているセルラーネットワーク圏外（海外）にいるときなどに、地図の自動ダウンロードを無効にするには、**使用しない** を選択します。海外でのご利用時にはパケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

新規ネットワークに登録する際に通知を受ける

登録されているセルラーネットワークの圏外で、他のネットワークに登録する場合、通知を受け取るよう設定することができます。

1 **ネットワーク** > **ローミング通知** > **オン** の順に選択

ルート検索方法を変更する

ルート検索で使用する交通手段などを設定することができます。(「ルート案内」P.245)

1 **ルート検索** を選択

一般設定を変更する

測定単位や音声ガイドの言語などを設定することができます。

1 **一般** を選択

Nokia Map Loader

Nokia Map Loader は PC ソフトウェアで、様々な国の地図をインターネットを利用して、本機にダウンロード、インストールすることができます。また音声ガイドによるナビゲーションをダウンロードすることもできます。

Nokia Map Loader を利用するには、まず最初に互換性のある PC に Nokia Map Loader をインストールします。ソフトウェアは同梱の DVD-ROM からインストールすることができます。画面の指示に従ってインストールしてください。

Nokia Map Loader を利用する前に、**地図** を使用する必要があります。Nokia Map Loader は、ダウンロード時のバージョン確認に地図の履歴情報を利用しています。

PC にソフトウェアをインストールした後に、地図をダウンロードするには、メモリカードを挿入した状態で次の操作をおこないます。

1 USB データケーブルを使用して、本機と PC を接続し、USB モードで データ転送 を選択

2 PC で Nokia Map Loader を開く

Nokia Map Loader がダウンロードする地図データのバージョンを確認します。

3 地図を選択し、本機にダウンロードし、インストールする

位置情報

位置情報を保存する

選択した場所の位置情報をランドマークとして保存することができます。(「ランドマーク」P.247)

1 マークをつける位置に移動 > [■] を押す

2 保存 > ランドマーク を選択

3 位置名を入力し、OK を選択

4 登録するカテゴリを選択 > [■] を押す

- 複数のカテゴリを選択することができます。

5 OK を選択

保存した位置情報を表示する

1 オプション > 場所検索 > ランドマーク の順に選択

保存したランドマークの一覧が表示されます。

2 表示するランドマーク > [■] > 地図に表示 を選択

保存した位置情報を送信する

互換性のある機器へ保存したランドマークを送信することができます。SMS で ランドマークを送信した場合、情報はテキスト形式に変換されます。

1 オプション > 場所検索 > ランドマーク の順に選択

2 **送信するランドマーク > [■] > 送信 > 送信方法を選択**

周辺情報を調べる

住所から検索する

1 **オプション > 場所検索 > 住所 の順に選択**

2 **検索する住所を入力 > オプション > 検索 の順に選択**

- 検索する住所はアルファベットで入力してください。
- 国と都市名を入力する必要があります。
- 電話帳に保存した住所を利用するには、**オプション** > **電話帳から選択** を選択します。

キーワードから検索する

1 **オプション > 場所検索 > キーワード検索 の順に選択**

- 任意のキーを押しても、キーワードを入力することができます。

2 **検索するキーワードを入力 > 検索 を選択**

- 検索するキーワードはアルファベットで入力してください。

周辺施設を検索する

現在位置、またはその他の場所の周辺施設などを検索することができます。

1 **オプション > 場所検索 > 周辺情報 の順に選択**

2 **検索するカテゴリを選択 > [■] を押す**

- 地図上に検索結果を表示するには、[■] > **地図に表示** を選択します。検索結果のリスト表示に戻るには、**戻る** を選択します。

補足 : 以前検索した場所のリストを表示するには、**オプション** > **場所検索** > **検索履歴** の順に選択します。

地図で利用できるサービス

地図 を利用して、様々な都市のシティガイドやトラベルガイドなど、様々なガイドを購入してダウンロードすることができます。また、音声ガイド付きのナビゲーションサービスを購入して、**地図** で利用することができます。

地図アプリケーションで利用できる地図、音声ガイド、トラベルガイド等は日本語に対応しておりません。英語または各母国語での提供となります。

ダウンロードしたガイドは、自動的に電話機メモリ、あるいは互換性のあるメモリカード (本機に挿入されている場合）に保存されます。

> **地図**

ナビゲーションガイド

音声ガイド付きのナビゲーションサービスを購入することができます。

1 **オプション > その他サービス > ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ追加 の順に選択**

いったん購入したナビゲーションガイドのアップグレードは、**地図** よりおこないます。購入したナビゲーションのライセンスは、本機固有のもので、他の機器に転送することはできません。

音声ガイドを利用してルート案内を開始する

地図 を利用してルート設定をした後に、目的地まで音声ガイド付きのナビゲーションを開始します。

1 **オプション > ナビゲーション開始 を選択**

- ルートの設定方法は「ルートを設定 / 表示する」(P.245) を参照してください。地図上で位置を指定したり、検索結果のリストを選択し、**ナビゲーション** を選択してナビゲーションを開始することもできます。

音声ガイドの言語を変更する

初めてナビゲーションを使用するときに、音声ガイダンスの言語を選択し、選択した言語の音声ガイダンスファイルをダウンロードする必要があります。設定した言語は後で変更することができます。Nokia Map Loader を使用して、音声ガイダンスファイルをダウンロードすることもできます。(「地図をダウンロードする」P.240)

1 **> 地図 を選択**

2 **オプション > 設定 > 一般 > 音声ガイド の順に選択**

設定したルートを変更する

いったん設定したルートを、他のルートに変更することができます。

1 **オプション > 別のルート を選択**

ルート探索画面の表示を変更する

地図を表示せず、画面に次の曲がり角の矢印のみ表示することができます。

1 **オプション > 地図オプション > 矢印モード の順に選択**

ルート探索を停止する

1 **オプション > ナビゲーション停止 を選択**

ガイド

オプション > その他サービス > ガイド

ガイド から、観光名所、レストラン、ホテルなどの地域情報を得ることができます。ガイドを利用するには、ダウンロードして購入する必要があります。

ガイドをダウンロードする

シティガイドやトラベルガイドなど、様々なガイドを購入してダウンロードすることができます。

1 新しいガイドをダウンロードするには、 を押して、周辺ガイド、または 全ガイド タブを選択

2 ガイドを選択し、OK を選択

ガイドを開く

1 マイ ガイド タブを選択

ダウンロードしたガイドと、その目次（利用できる場合）が表示されます。

2 開くガイド (目次) を選択し、 を押す

ガイドを購入する

1 ガイド > マイ ガイド タブを選択

2 購入するガイドを選択し、支払いについての詳細情報を入力

- お支払いはクレジットカードをご利用ください。

3 OK を 2 回選択

購入が確定されます。

- 購入したことを E-mail を受信して確認するには、氏名と E-mail アドレスを入力し、**OK** を選択します。

ルート案内

ルート案内では、家から会社までの行きかたを調べたりといった、目的地までのルート検索をおこなうことができます。ルート検索で使用する交通手段などを、設定することもできます。(「ルート検索方法を変更する」P.241)

 > **地図**

■ ルートを設定 / 表示する

1 地図上のスタート地点へスクロール > > ここからのルート を選択

出発地にスタート地点の情報が表示されます。

- **出発地** > **オプション** > **選択** の順に選択して、出発地をランドマークや地図、住所などから選択することもできます。

2 目的地 > オプション > 選択 > ランドマーク、検索履歴、地図から、住所、または ガイドから の順に選択

- 目的地をランドマークや地図、住所などから選択します。

3 オプション > ルート表示 を選択

ルート詳細 タブが開き、目的地までのルートを区切った経由地が表示されます。

- ルートは、ルート設定の内容に基づき、計算されます。

- ルート表示は、**ルート詳細** と **概要** の2つのタブで構成されています。 を押し、**概要** タブを開くと、目的地までの距離、所要時間、移動手段などが表示されます。

ルートの中間地点を表示する

1 ルート詳細 タブを開き、経由地を選択 > オプション > 地図に表示 を選択

地図上に選択した経由地が表示されます。

設定したルートをシミュレートする

設定したルートのシミュレーションをおこないます。

1 オプション > シミュレーション開始 を選択

設定したルートのナビゲーションを開始する

設定したルートの目的地までナビゲーションをおこないます。

1 オプション > ナビゲーション開始 を選択

操作オプション

シミュレーションやナビゲーション中に、**オプション** を選択し、次の操作をおこなうことができます。

- **送信** - 位置情報を送信します。
- **保存** - 表示されている場所を **ランドマーク** として保存したり、**画像** として保存したりすることができます。
- **別のルート** - 別のルートを検索します。
- **音声ガイド** - 音声ガイドがある場合、**コマンド再実行** を選択すると音声ガイドを繰り返します。**ボリューム**を選択すると、音声ガイドの音量を調節することができます。
- **シミュレーション停止** / **ナビゲーション停止**
- **地図オプション** - 地図の表示を変更することができます。

キー操作

ルートのシミュレーション / ナビゲーションではキーを使用して、次の操作をおこなうことができます。

- 1 - 地図の表示を 2D/3D に切り替えます。
- 2 - 地図の色を変更します。
- 3 - 現在位置を送信します。
- 4 - 音声ガイダンスを繰り返します。
- 5 - 別のルートを選択します。
- 6 - 衛星情報を表示します。
- 7 - 音をミュートします。



補足 : 地図 では、Bluetooth 接続が可能な互換性のある GPS 受信機を利用することができます。例えば、車中で外部 GPS 受信機を利用することで、衛星からの信号を適切に受信することができます。外部 GPS 受信機の使用を有効にするには、「位置情報機能」(P.203) を参照してください。

ランドマーク



ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ を利用すると、選択した場所の位置情報を本機に保存することができます。保存した位置情報をカテゴリごとに分類したり、住所や電話番号などの情報を追加することもできます。保存した位置情報は、**GPS データ** や **地図** などの互換性のあるアプリケーションで利用することができます。

ランドマークは、ランドマークとカテゴリの２種類のタブで構成されています。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

> **ツール** > **外部接続** > **ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ**

■ ランドマークを登録 / 編集する

位置情報をランドマークとして登録する

1 オプション > 新規ランドマーク を選択

次のオプションを選択することができます。
- **現在位置** - 現在地の座標を要求し、ランドマーク名などの位置情報を入力します。
- **地図から選択** - 地図上で位置を特定し、**オプション** > **選択** を選択し、ランドマーク名を入力します。
- **手動入力** - 位置情報を手動で入力します。

保存したランドマークを編集する

保存したランドマークに含まれる、住所などの位置情報を編集することができます。

1 編集するランドマークを選択し、オプション > 編集 を選択

ランドマークの編集画面が表示されます。

2 編集する項目を選択し、内容を入力 > 完了 を選択

ランドマークをカテゴリに分類する

ランドマークをカテゴリに分類して登録することができます。

1 ランドマークを選択し、オプション > カテゴリに追加 を選択

カテゴリの一覧が表示されます。

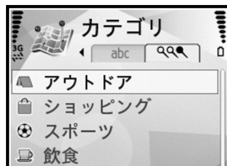
2 登録するカテゴリを選択し、 を押す
- 複数のカテゴリを選択することができます。

3 OK を選択
- を押しカテゴリタブを開くと、ランドマークが登録されているカテゴリの一覧が表示され

ます。カテゴリを選択すると、そのカテゴリに登録されているランドマークが表示されます。

新しいカテゴリを追加する

位置情報を分類するカテゴリの種類を増やすことができます。



1 を押しカテゴリタブを開く

2 オプション > カテゴリ編集 を選択

カテゴリの一覧が表示されます。

3 オプション > 新規カテゴリ を選択

入力フィールドが表示されます。

4 カテゴリ名を入力 > OK を選択

新しいカテゴリが、カテゴリリストに追加されます。

- **オプション** > **カテゴリアイコン** を選択して、カテゴリのアイコンを変更することもできます。

■ ランドマークを利用する

> **ツール** > **外部接続** > **ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ**

保存したランドマークを表示する

1 表示するランドマークを選択し、オプション > 地図に表示 を選択

ランドマークを送信する

1 送信するランドマーク > オプション > 送信 > 送信方法の順に選択

- 受信したランドマークは、**メール** の **受信メール** フォルダに保存されます。

ランドマークまでのルートを設定する

1 ランドマークを選択し、オプション > ルート表示 を選択

出発地と目的地が表示されます。

2 オプション > ルート表示 を選択

- 「ルートを設定 / 表示する」(P.245) を参照してください。

GPS データ

GPS データ では、現在位置の周辺情報を表示したり、設定した目的地までナビゲーションをおこなうルート案内、目的地までの距離や到着時間を含む旅行情報などを提供することができます。

GPS データは、3種類のメニューで構成されています。各メニューを開くと、それぞれのメニューがタブ

で表示されるので、[icon] と [icon] を利用してタブを移動することができます。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

GPS データ を利用するには、本機の GPS 受信機が、少なくとも３機の衛星からの信号を受信して、現在位置の座標を計算する必要があります。

[icon] > **ツール** > **外部接続** > **GPS データ**

■ GPS データ設定

GPS データを設定する

1 オプション > **設定** を選択

次のオプションを設定することができます。

- **測定単位** - **メートル**、または **ヤードポンド** から選択することができます。
- **標高補正** - 人工衛星から受信した高度を補正する場合は、補正値を入力します。

位置情報方式を設定する

位置情報方式を選択することができます。

1 オプション > **位置情報設定** を選択

詳細については、「位置情報機能」(P.203) を参照してください。

■ 衛星の状態

本機が見つけた衛星の数と、本機で衛星信号を受信しているかどうかを確認することができます。(「衛星の状態」P.237)

1 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ、**位置**、または **移動距離** を選択

2 オプション > **衛星状態** を選択

■ ナビゲーション

ナビゲーションは、屋外で利用してください。屋内だと、衛星から必要な情報を受信することができない場合があります。

ナビゲーションを利用すると、本機の画面に羅針盤が表示されます。目的地を設定すると赤いボールが羅針盤上に表示されます。赤いボールは、目的地への方向を示し、目的地への距離は、羅針盤の中に表示されます。

ルート案内は、目的地に一番近い道のりを直線距離で計測して表示します。ルート上にある、建物や自然の障害物などは、計測されません。高度差も距離の計測には含まれません。ルート案内は、本機を移動中の場合にのみ有効になります。

[icon] > **ツール** > **外部接続** > **GPS データ** > **ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ**

目的地を設定する

目的地の座標を入力するか、ランドマークに登録した位置情報から選択することもできます。

1 **オプション** > **目的地設定** を選択

次のオプションを選択することができます。

- **ランドマーク** - 保存したランドマークの一覧から、目的地に設定するランドマークを選択します。
- **座標** - 目的地の緯度と経度を入力します。

設定した目的地を削除する

1 **オプション** > **ナビゲーション停止** を選択

現在位置情報

現在地の緯度、経度、高度などの位置情報を表示することができます。

> **ツール** > **外部接続** > **GPS データ** > **位置**

現在位置を保存する

ランドマークとして、現在位置を保存することができます。ランドマークには、現在位置だけでなく、その周辺情報も含まれており、他の互換性のあるアプリケーションで利用したり、互換性のある機器間で転送したりすることができます。(「ランドマーク」P.247)

1 **オプション** > **位置保存** を選択

移動距離（トリップメーター）

移動距離を利用すると、実際に移動しながら目的地までの距離を計測することができます。精度の高いGPS 信号を受信するために、屋外で使用してください。

> **ツール** > **外部接続** > **GPS データ** > **移動距離**

目的地までの距離を計測する

1 **オプション** > **測定開始** を選択

- 距離の探索を停止するには、**オプション** > **測定停止** を選択します。探索を停止しても、計算結果は画面に表示されたままになります。探索を再開するには **オプション** > **測定再開** を選択します。

目的地までの距離をリセットする

目的地までの距離、時間、平均速度、最高速度をリセットして、再度計測を始めることができます。距離計と全時間はリセットされません。

1 **オプション** > **最新測定ﾃﾞｰﾀをﾘｾｯﾄ** を選択

すべてのデータをリセットする

測定中にすべてのデータをリセットし、再度計測を始めることができます。

1 **オプション** > **全ﾃﾞｰﾀをﾘｾｯﾄし再測定** を選択

- 測定停止後に、すべての測定データをリセットするには、**オプション** > **すべてのデータをクリア** を選択します。

トリップメーターの精度には限界があり、端数計算誤差が生じる場合があります。精度は、GPS 信号の可用性および質により影響されることもあります。

Nokia Nseries PC Suite

Nokia Nseries PC Suite は、本機とご使用いただけるように開発された PC アプリケーションセットです。

Nokia Nseries PC Suite のインストールとご使用には、Microsoft Windows XP または Vista がインストールされた PC と互換性のある USB データケーブル、Bluetooth 接続または赤外線通信が必要となります。Nokia Nseries PC Suite は、製品パッケージに同梱されている DVD-ROM から PC にインストールしてご使用ください。

ここでは Nokia Nseries PC Suite のアプリケーションの一部を紹介しています。

ファイルマネージャ - 本機と PC のコンテンツを表示し、本機と PC 間でファイルをコピーします。

接続ウィザード - 本機を互換性のある PC に接続します。

Nokia PC Sync - 電話帳、ノート、カレンダー、To-do を本機と PC 間で同期します。同期したアイテムは、Nokia Nseries PC Suite で確認できます。携帯電話の同期ログでは表示されない項目があります。

Connection Manager - 本機を互換性のある PC に接続します。

Content Copier - 本機のバックアップを互換性のある PC に作成します。デバイス間でデータを移動します。

Nokia Music Manager - CD をリッピングしてファイルサイズを最適化し、保護されていない音楽をデバイスに転送します。

Nokia Photos - マルチメディアアイテムを本機と互換性のある PC 間でコピー、整理します。マルチメディアダイアリーを自動生成します。また、ブログを表示、検索、編集したりデジタルコンテンツを送信します。

One Touch Access - 本機をモデムとして使用し、互換性のある PC をインターネットに接続します。

付録

メモリ容量

本機は共有メモリを使用しています。メモリ不足になったときは、本書「メモリ不足を解消する」(P.65) を参照してください。

主な仕様

質量	約 120g
連続通話時間	最大 約 160 分 (W-CDMA 網使用時) 最大 約 240 分 (GSM 網使用時)
連続待受時間	最大 約 200 時間 (W-CDMA 網使用時) 最大 約 225 時間 (GSM 網使用)
充電時間	約 90 分
サイズ (W × H × D)	約 53 ×約 99 ×約 21mm

連続通話時間および連続待受時間は、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な利用時間です。使用環境、利用場所の電波状態・機能の設定状況により、ご利用時間が半分以下になることがあります。

サポート情報

このたびはノキアの携帯電話をお買い上げいただきありがとうございます。

ノキアのウェブ·サポートサービスをぜひご活用ください。

■ 携帯電話の使い方を知りたい

チュートリアルでは携帯電話の特徴、ヒントや使用方法を紹介しています。
http://www.nokia.co.jp/N95/support

■ PC と携帯電話の同期方法は？

付属の DVD-ROM の Nokia Nseries PC suite を使ってカレンダーや電話帳などが同期できます。

■ よくある質問は？

携帯電話やその他のノキア製品についてのよくある質問は FAQ セクションでご覧いただけます。
http://www.nokia.co.jp/faq

ノキアの最新情報を知りたい

ニュースメールにご登録いただければ、携帯電話の最新ニュースを中心に、ノキアに関する情報をダイレクトにお届けします。メール会員様だけにお知らせするキャンペーン情報や、プレゼント情報などの特典もいっぱいです。

http://www.nokia.co.jp/top/newsmail.shtml

ソフトバンク取り扱いアクセサリ一覧

アクセサリ名	商品コード
電池パック	NKBAE1
急速充電器	NKCAE1
ミニ USB 接続ケーブル	NKDAE1
マイク付オーディオリモコン&ステレオイヤホン for Nokia	NKLAE1
シガーライター充電器	NKJAA1

注意：取扱説明書 (「Nokia 純正アクセサリ」P.265) には、上記以外のアクセサリについても記載されています。ソフトバンクでは X02NK 対応のアクセサリは上記以外お取り扱いしておりません。

電池について

充電と放電

本機は、充電可能な電池を電源としています。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間 (通話時間と待受時間) が通常より極端に短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。認定されていない電池または充電器を使用すると、発火、爆発、液もれなどの危険が生じる可能性があります。

電池を初めて使用する場合、または電池が長期間使用されていなかった場合は、充電を開始するのに、充電器を取り付けた後、いったん取り外してから再度取り付けなければならない場合があります。電池が完全に放電されている場合は、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または通話ができるようになるまで、数分かかる場合があります。

充電器を使用していないときは、電気プラグからプラグを抜き、本機からも取り外してください。過充電は、電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池は絶対に使用しないでください。電池は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

電池をショートさせないでください。金属物 (コイン、クリップ、またはペン) が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子 (電池の金属部分) に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります

電池は常に 15 ℃～ 25 ℃ (59° F ～ 77° F) の温度範囲で保管するようにしてください。この範囲を超えた温度環境では、電池の性能が低下し、電池の消耗が早くなります。高温または低温状態の電池を使用すると、本機が一時的に機能しなくなる場合があります。0 ℃以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池が損傷した場合も、爆発の恐れがあります。電池は、国内の規定に従って廃棄してください。可能な場合はリサイクルしてください。家庭の一般廃棄物として処分しないでください。

携帯電話や電池を、分解、切断、開口、圧壊、屈曲、変形、穿刺、または粉砕しないでください。電池の液体が漏れた場合、その液体が肌や目に触れないようにしてください。電池の液が肌または目に触れた場合、直ちに水で洗い流すか、医師の診察を受けてください。

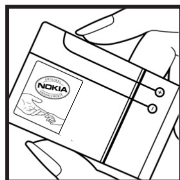
Nokia 純正電池の認証確認

安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア（0570-0-66542）にご相談ください。

認証ホログラムでの確認方法

1 電池に付いているホログラムのラベルを確認します。見る角度に応じて、2 つの手のイラストまたは Nokia Original Enhancements ロゴが映し出されます。



2 ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが 見えます。ドットは、ロゴの左側に 1 つ、右側に 2 つ、下に 3 つ、上に 4 つあります。



電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia 純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。製造者の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器の認証や保証が無効となる場合があります。

Nokia 純正電池について詳しくは、http://www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強力洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ (カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等) のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナの使用、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての法規制に違反する場合があります。
- 充電器は屋内で使用してください。
- 電話帳やカレンダーノートなどの保存しておきたいデータは必ずバックアップを取ってください。
- 最適な動作状態を保つために本機をリセットする場合は、本機の電源を切ってから電池を取り外してください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。正常に動作しない機器がある場合は、製品お買い上げ店にサービスを依頼してください。

廃棄



製品、資料、またはパッケージ上に記載されている、交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、すべての電気および電子機器、電池、蓄電池を、寿命が尽きたときに分別回収すべきことを示しています。この義務は、欧州連合および分別回収システムが導入されているその他の地域で適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。

製品を回収することによって、廃棄物投棄を抑制し、原料資源の再利用を促進することができます。詳細については、製品の販売店、お住まいの地域の廃棄物管理局、国の生産者責任組織、または最寄りの Nokia 販売代理店までお問い合わせください。製品のエコ宣言、または使用しなくなった製品の返却の手順については、http://www.nokia.com からお住まいの国の情報を参照してください。

安全についての追加情報

小さなお子様

本機やアクセサリには、小さな部品が使用されています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

操作環境

本機は、人体から最低 1.5cm 離した位置で使用された場合と、通常の耳元での操作位置で使用された場合に電波防護指針のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が身体から最低 1.5cm 離れたところに位置するようにしてください。

本機でデータファイルやメッセージを送信する場合、高品質のネットワーク接続が必要です。場合によっては、高品質のネットワーク接続が利用可能になるまで、データファイルやメッセージの送信が遅れることがあります。送信が完了するまで、本機が身体から 1.5cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の電波から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の電波に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

埋め込み医療機器

医療機器製造業者は、医療機器との干渉を回避するため、携帯電話をペースメーカーや除細動器などの埋め込み医療機器から 15.3cm 以上離すことを勧めています。このような医療機器を使用している方は、以下の点を心がける必要があります。

- 携帯電話の電源が入っている場合、その携帯電話を医療機器から常に 15.3cm 以上離してください。
- 携帯電話を胸ポケットに入れて持ち運ばないでください。

- 医療機器との干渉を最小限にするため、医療機器を装着している側の反対の耳で携帯電話をご使用ください。
- 医療機器との干渉が疑われる場合は、直ちに本機の電源を切ってください。
- 埋め込み医療機器製造業者が提示する指示を読み、その指示に従ってください。

埋め込み医療機器とともに本機を使用することに関して不明な点がある場合、医療機関にお問い合わせください。

補聴器
デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

乗り物

電波は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置 (電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など) に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機が適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内で保管したり、持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

爆発の起きる可能性のある環境

爆発の起きる可能性のある環境では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の起きる可能性のある環境とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような環境での火花は、怪我または死亡に至る爆発または火災を引き起こす可能性があります。ガ

ソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売所、化学工場、または爆破作業がおこなわれている場所では無線機の使用に関する規則に従ってください。爆発の起きる可能性のある環境は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所の例としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。液化石油ガス（プロパンまたはブタン等）を使用する自動車の近くでの本機使用の安全性については自動車製造メーカーにお問い合わせください。

緊急通報



重要：他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. **本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。機種に応じて、以下の操作が必要になることがあります。**
   - USIM カードを挿入する (USIM カードを使用する機種の場合)
   - 特定の通話制限を設定している場合は解除する
   - オフラインまたはフライトモードになっている場合はアクティブモードに切り替える
2. **必要な数だけ を押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。**
3. **現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。**
4. **を押して電話をかけます。**

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合

があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

証明情報 - 携帯電話機の比吸収率

このモデルの携帯電話は、電波防護指針に適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分は安全率を含んでいます。

携帯電話の電波防護指針には、SAR(比吸収率) という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg(ワット / キログラム) です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.58W/kg です。

デバイスアクセサリやアクセサリの使用は、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告用件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、http://www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

SoftBank X02NK 本体をお買い上げいただいた場合には保証書が付いております。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、ソフトバンクは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

「サポート情報」(P.252) を参照の上、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいたソフトバンク各地域の故障受付 (「お問い合わせ先一覧」右記）または、最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際にできるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間外の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

■ サービス、紛失、故障について

お問い合わせは、次の窓口までご連絡ください

ソフトバンクお客様センター
総合案内：
ソフトバンク携帯電話から 157(無料)
故障・故障受付：
ソフトバンク携帯電話から 113(無料)

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

- 北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、新潟県、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県

総合案内	0088-240-157（無料）
紛失・故障受付	0088-240-113（無料）

- 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

総合案内	0088-241-157（無料）
紛失・故障受付	0088-241-113（無料）

- 大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県

総合案内	0088-242-157（無料）
紛失・故障受付	0088-242-113（無料）

- 広島県、岡山県、山口県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

総合案内	0088-250-157（無料）
紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問合せおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491（有料）

ノキアコンタクトセンター

ソフトバンクで取り扱いのないアクセサリのお問い合わせは、ノキアコンタクトセンター「ハローノキア」までご相談ください。

ハローノキア
TEL: 0570-0-66542
メール：http://www.nokia.co.jp/asknokia



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

＊回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報 (電話帳・通信履歴・メール等) は事前に消去願います。

Nokia 純正アクセサリ



Nokia N95 対応アクセサリ

Nokia N95 でご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のコミュニケーションニーズに合ったアクセサリをお選びください。Nokia N95 に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

Nokia N95 対応のアクセサリリスト：

オーディオ

Music Headset	HS-45/AD-54/AD-52
Bluetooth Headset	BH-200
Bluetooth Headset	BH-700

車載キット

Mobile Charger	DC-4

電源

Travel Charger	AC-5U
Battery	BL-5F
Charger Adapter	CA-44

メッセージ

Digital Pen	SU-27W

アクセサリのご購入については、製品お買い上げ店に確認してください。アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

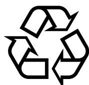
- お子様の手の届く所に置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際は、コードではなくてプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。

Nokia が認定した電池、充電器、およびアクセサリのみを使用してください。それ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、危険が及ぶ場合があります。

電池

タイプ	仕様	連続通話時間 #	連続待受時間 #
BL-5F	Li-Ion	最大約 160 分 (WCDMA) 最大約 240 分 (GSM)	最大約 200 時間 (WCDMA) 最大 225 時間 (GSM)

USIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。



Nokia Digital Pen SU-27W

デジタルペンでカラフルで個性的なメッセージを作成し、互換性のある電話機に Bluetooth テクノロジーで送信したり、MMS で転送したりできます。デジタルペンで書いた内容を互換性のある PC に保存することもできます。



Nokia Music Headset HS-45/AD-54/AD-52

高音質なサウンドをお楽しみいただける快適なヘッドセットです。音楽や電話の発着信をコントロールすることができます。標準的な 3.5mm ステレオミニプラグに対応しています。



Nokia Bluetooth Headset BH-200/BH-700

Nokia Bluetooth Headset を利用して、移動中やオフィスでもハンズフリー通話が可能です。電話着信時の応答や、通話の終了が片手で簡単におこなえます。



索引

S

T

U

W

Z